											ī
事務事業の概要(Plan)											
事務事業名	家畜排		担当部			長興部 地域営農課	電話	0826			
		音排せつ物処理施設管理運営事業 				作成者氏名 佐尺木 冥朗				(47)4021	
実施期間	16	3 月 ~ 平成	25 年 3	月		会計名	1	一般会計			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり		主な	款	6	農林水産業費			
総合計画	主要施策	産業の振興			関連 予算・	項	1	農業費			
(基本計画)	工女心水	1.注来07派共	生未0分級與				4	畜産振興費			
体系	施策	農業の振興(農業振興)		事業名	大事業	1	畜産振興に要する経費			事務事業	
		辰未の旅典(辰未派典)			中事業	2 畜産振興事業費					
市内の和牛飼育農家及び酪農家、堆肥を活用する業者。 対象 (誰のために)										容を考えら目的妥の評価をて下さい	
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	でいた。 とのようなは、 本語がピン物の適正な管理を失成する。また、 年能の仏域流通を唯立を図ることもに、 が音連携を中心とした地域負減は とのようなは、 活得型農業を実践する										
内 容	堆肥センタ-	-による家畜排せつ物の	適正な管理。								

					=	事務事業実	施にな	かかるコス	トと業績	(Do	o)					
				23	3年度				4年度				2	5年度		
_	コスト	コス	ト(千円			(千円)	コス	ン (ト (千円)		(千円)	コス	ト (千円)		(千円)	事業単位当たり コストなどに留
		直接事業費			国県補助金等	(113)	直接事業		国県補助金等	(115	,	直接事業費	(113)	国県補助金等	I	意しながら効率
化	ノプット	人件費			受益者負担		人件書	2,941	受益者負担			人件費		受益者負担		性の評価を行って下さい。
*		合計	16	,422	一般財源等	16,422	合計	11,939	一般財源等		11,939	合計	C	一般財源等	0	
必要	要人員			0.35		人	0.3		5		人				人	
時間外	ト 勤務手当	手当 75.00)	千円	<u> </u>	48.0	0		千円		-		千円	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
		指	標名	等		23年度		24年度	25年			計画値年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	†#	肥生産		単位	立計画値	7,200.00		7,200.00	8,000.	00						事務事業の目
				t	実績値	7,200.00		6,880.00	_			年度				的やその数値 目標である成
			前 年			_		95.56%	_							果指標などに
			ス	<u> </u>			円	円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当たりコスト① 単位 計画値			6,500.00	円	6,500.00	_	円						を行って下さ	
活	堆	堆肥販売量		t		6,500.00		6,556.00	_			年度				ų) ₀
動・		対前年比				-		100.86%	_			7/2				
結果			ス	-			円	円		円						·Ψ
果		単位当	立当たりコスト②				円円		_	円						
指標	堆肥セン	カー管	田未託料	単位	立計画値	5,577,000.00	0 5	5,577,000.00	5,577,00	0.00						
1234	上記とフ	у Б	生女0014	F.	実績値	実績値 5,577,000.00 55,77		5,770,000.00	_			年度				
/n						_		1000.00%	_							
アウト			ス	<u> </u>			円	円		円						
プット		里位当.	たりコス	_			円	円	_	円						
				単位	立 計画値 実績値				_			年度				
				単位								一尺				
					実績値				_			年度				
.	指標名		3		23年度		24年度	25年	变		票値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)		
成果				単位	立計画値											
指					実績値				_			年度				
標				単位	立計画値											
アウト					実績値				_			年度				
<i>ከ</i> ሬ	カム 指標化できない成果															

	事務事業の評価		rieck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	
	市民のニーズが適正に反映されている	0	
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	X	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	堆肥に混ぜ込む、副資材の高騰によって、製造原価が高くなっ
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	ているため、販売単価の妥当性を協議しなければならない。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	
	当初予定した実施項目が達成できた	0	
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
	専門性をもった人材を活用できている	×	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市民	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

		以音点やブ後の点	XVI組みの加出(AC	LIOI I)							
資源配分の方向性	優先的に継続する	● 継続する	縮小して継続する	主務課長氏名	猪掛の公詩						
貝塚癿力の力同日	他事業と統合する	休止、廃止をす	う 完了した	土物味区以石	4月14. 又 g						
	今年度までに実施した改善			解決できていない課題							
	センターの一元化を目標 る経営とするよう協議を		修 より実現できなかった	。 販売単価の妥	管を目指したが、改修工事等の遅れに 3当性を協議しなければならなかった						
		課題解決のため	の改善内容及び予算への反	映							
	改善項目		予算(大事業)名	算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容							
1											
2											
3											

											ı
事務事業の概要(Plan)											
事 務事業名	事務事業名 農地利用対策事業						担当部課 産業振興部 地域営農課			0826	
子奶子木口					作成者氏名 中川 友紀			友紀	電話	(42)4021	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	25 年 3	月		会計名	1	一般会計			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり		主な	款	6	農林水産業費			
総合計画	主要施策	1.産業の振興			関連	項	1	農業費			
(基本計画)	工文加尔	1./星术 ② 加兴		予算・ 事業名		3	農業振興費				
体系	施策	農業の振興(農業振興	休制の整備)		尹未口	大事業	1	農地対策に要する経費			事務事業
	·					中事業	1	農地利用対策事業費			的、対象
対 象	農業を営む	農業者、経営規模を拡大	こしようとする	農業	者。						容を考えら目的報
(誰のために)											の評価を
	おいて無字	と地域との須割八切によ	- フ囲地の冷工	本 面	とさいならり	た利田・	5 W Z				て下さい
また。											
(対象をどのような 状態にしたいか)											
	・ 加 ば <i>べ</i> る	みでの農用地保全と農地	利用の推進								1
t 5		かくの展用地は主く展址 地域整備計画の管理	別用の推進								
内 容	・安芸高田市	市農林業振興公社が行っ		有合理	理化事業	の運営	支援				1
	・農業委員会	会と連携した農地流動化	推進								1

				=	事務事業実	施にた	かるコス	トと業績	(Do)					
			22	3年度			2	4年度				2	5年度		
_	コスト	コスト(千F			(千円)	コフ	ト (千円)		(千円))	コフ	<u>く</u> ト (千円)		(千円)	事業単位当たりコストなどに留
		直接事業費	_	国県補助金等	(113)	直接事業費	T	国県補助金等	(113.)	直接事業費	1 (113)	国県補助金等		意しながら効率
ر ا	ノフ ゚ット	人件費		受益者負担		人件費	·	受益者負担			人件費		受益者負担		性の評価を行って下さい。
i!.			2,123	一般財源等	2,123	合計	· ·	一般財源等	1	10,785	合計	0	一般財源等	0	Chevi.
必要	要人員		0.25		人	0.90		0						人	
時間外	勤務手当		54.00)	千円		123.0	00		千円				千円	l 🔪
		指標名	等		23年度		24年度	25年	变		計画値	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	農業振興地	也域整備計画書変	变 単位	立計画値	3.00		3.00	3.00							事務事業の目
	更回数			実績値	3.00		3.00	_			年度				的やその数値 目標である成
			比		_		100.00%	_							目標である成 果指標などに
		コス	۲			円	円		円						留意しながら
		単位当たりコス	スト①			円	円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
活		也解消モデル事業			2.00		3.00	3.00							(1).
動	件数		件	実績値	2.00		2.00	_			年度				
•			比		_		100.00%	_							N .
結里		コス	<u> </u>			円	円		円						
果指		単位当たりコス	メトビ	立計画値		円	円	_	円						
標			半1	実績値				_			年度				
		対 前 年	H	大順但	_			_			十尺				
アウト			<u> </u>			円	円		円						
プット		単位当たりコス				円	円	_	円						
(<i>)</i>			単位	立計画値											1
				実績値				_			年度				
			単位	立計画値											1
				実績値				_			年度				
成		指標名	\$		23年度		24年度	25年	度		票値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
果指		1滑化事業による	る単位	立計画値											
指	利用権設定	E面積	ha		7.20		17.75	_			年度				l
標 			単位	立計画値											
アウト			ha	a 実績値				_			年度				
<i>ከ</i> ᠘		指標化できない	八成果												

	事務事業の評価	⊞ (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	24年12月末で農地保有合理化事業が終了し、相対での利用権
	市民のニーズが適正に反映されている	X	設定方式に統一された。今後は人・農地プランとの関係で所有
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	事務量が膨大でありどう処理していくのかが課題である。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	人・農地ブランに係る集積協力金の受給要件との関係で、23
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	積も増加していくと思われるが、書類の作成等の事務量が膨大
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	×	】になることから、いかに効率よく事務を進めていくのかが課題 ■である。
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	COO_{\circ}
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	×	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	通常の相対での利用権設定をしてしまうと集積協力金の受給要 仲から外れてしまうため、農業委員会との連絡を密にし、
	当初予定した実施項目が達成できた	×	14から外にてひようため、長来安良去との連絡を名にし、 チェック体制の強化を図る。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	X	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市民	市民への情報提供を行っている	0	
参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

改善点	や今後の取り	組みの方向性(Act	tion)						
資源配分の方向性 優先的に継続する ● 継続 他事業と統合する は 休山	売する 上、廃止をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	猪掛 公詩					
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題							
向原町で行なっていた農地保有合理化事業を中止し 利用権設定へ移行した。	、他町と同様の								
課	題解決のための改	対善内容及び予算への反	映						
改善項目	予	算(大事業)名	改善に	より予算要求額変更内容					
1									
2									
3									

事務事業の概要(Plan)										
事務事業名		米の需給調整事業	業	担当部		産業担 小櫻	辰興部 地域営農課 静樹	電話	0826 (47)4021	
実施期間	平成 16									
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	6	農林水産業費			
総合計画										
(基本計画)	工女肥米	1.连来07派英		予算・ 事業名	B	3	農業振興費			
体系	施策	農業の振興(農業振興	休制の敕借)	争未行	大事業	2	営農体制の整備に要する経	費		事務事業の目
		辰未07派共(辰未派共	体的の無備が		中事業	6	米の需給調整事業費			的、対象、内
市内の農業者。 対象 (誰のために)										
目 的 米の生産調整を通じて需要に即した米作りを行い、農家の経営を安定させる。 (対象をどのような 状態にしたいか)										
内 容 ①米の生産調整に係る方針を決定し、②農業推進班長を通じて各農業者に配分し、③作物ごとの生産面積を確認し、農政事務所に交付金支払い要件達成者を報告する。①において、県からの米の需要量に関する情報により市の配分基準反収を定め、生産数量目標、作付目標面積を定める。④市と農協、農業者団体、担い手農家で組織する安芸高田市水田農業推進協議会において、生産数量目標の決定・配分を行う。また、③の確認付事務を行う。										

会において、生産数量目標の決定・配分を行う。また、③の推認付事務を行う。																
事務事業実施にかかるコストと業績(Do)																
					Ę	事務事業実	他に	いかるコス	トと美額	i (Do)				1	
				23	年度									5年度		事業単位当たり
	スト	コスト	卜(千円			(千円)	コス	くト (千円)		(千円			ト (千円)		(千円)	コストなどに留意しながら効率
,		直接事業費			県補助金等	· ·		•	国県補助金等		•	直接事業費		国県補助金等		性の評価を行っ
イン	/フ [°] ット	人件費		_	受益者負担		人件書		受益者負担			人件費	_	受益者負担		て下さい。
	-	合計			一般財源等	245	合計	-			5,903	合計	0	一般財源等	. 0	
	要人員 勤務手当			1.05 26.00	١	人		0.70 96.0			人 千円				人	
时间刘	勤務士ヨ		2	20.00	,	千円		90.0				=1-7-1-	千円			
		指標	票名	等		23年度		24年度	25年	度		計画値	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	= 24 0 0		3¥h	単位	計画値	14.00		14.00					農業推進班			事務事業の目
	武均	会開催回	一		実績値	14.00		14.00				年度	な実施に向い 農業推進班	ナた説明会 ₹:440人	きを開催。	的やその数値
		対 前	1 年	比		-		100.00%	_				及本证是如	2.1107		目標である成 果指標などに
		コ	ス	7			円	円		円						留意しながら
		単位当た	こりコス		_		円	円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
活	生産	上産調整達成率		単位		100.00		100.00					生産調整達成 H19年未達			who
動	/		対前年比			95.87		96.61	_			年度	H20年未達	成 60戸/5,301戸成 185戸/5,232戸		
• %±							m	100.77%	_	m			H21年末達 H22年末達			Ţ
結果指			<u>ス ト</u> 立当たりコスト②			円円	円円	_	円円			H23年未達	成212戸	/5,134戸		
指		∓世 ⊐ /	こりコハ	単位	計画値		11	11		1			H24年未達	成172户	/5,081F	
標				712	実績値				_			年度				
		対 前	 年	比		_			_							
アウト		⊐	ス	-			円	円		円						
プット		単位当た	こりコス	1-3			円	円	_	円						
`				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
				単位												
					実績値				_			年度				
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度		票値 (年度)		備 考 計算方法、		
果	農業者戸別	削所得補值	賞制度加	単位	計画値	3,414.00		3,225.00					H23年度7	から本格実	€施	
果指標	入農業者数	又		人		3,225.00			_			年度				
/ ///////////////////////////////////				単位												
アウト					実績値				_			年度				
አ ለ		指標化で	できない	成果												

	事務事業の評価(Check)											
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)									
	市民のニーズを的確に把握している	0										
	市民のニーズが適正に反映されている	0										
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0										
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0										
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0										
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0										
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X										
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0										
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0										
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0										
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	各地域毎に農業推進班長を委嘱し、集落内の米の生産調整の取									
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	りまとめや交付金申請事務を行ってもらっている。 近年では高齢化や離農者の増加により、班長が不在となる集落									
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	は年では同動にで配展もの追加により、近天が下丘となる来る。									
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	X										
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X										
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0										
	単位あたりコストを削減することはできない	0										
	受益者負担を検証している	_										
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0										
	当初予定した実施項目が達成できた	0										
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X										
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_										
有	目標年度に目標を達成できそうである	_										
効性	目的が達成できるような事務事業の内容である	_										
1	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0										
	専門性をもった人材を活用できている	0										
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X										
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0										
市	市民への情報提供を行っている	0										
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_										
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_										
	(
	•											

	改善点	や今後の取り	組みの方向性(Act	tion)	
	的に継続する 継続 業と統合する 休止	する 、廃止をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	猪掛 公詩
今年度まで	でに実施した改善内容			解決できていた	まい課題
平成23年度において安芸高日 け皿と総合的な取り組みがで					行のことにより、多重事務が発生 3考慮しつつ、事務体制の見直し
	課品	夏解決のための 改	対善内容及び予算への反	映	
改善.	項目	予	算(大事業)名	改善に	より予算要求額変更内容
1					
2					
3					

事務事業の概要(Plan)												
事務事業名		有害鳥獣対策	車業		担当部	担当部課 産業振興部 地域営農課			電話	0826		
F 30 F X L		יאכנייאם פויים בו			作成者氏名 稲田 圭介 (4							
実施期間	平成 16	5 年 3 月 ~ 平原	女 25 年 3	月		会計名	1	一般会計				
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流	でのまちづくり		主な	款	6	農林水産業費			l b	
総合計画	主要施策	1.産業の振興			関連	項	1	農業費				
(基本計画)	工女儿近米	1./主来♥別級央		予算・ 事業名	目	3	農業振興費					
体系	施策	農業の振嗣(農業振	は は は は かま は かま は かま は かま は ま は ま は ま は		尹未石	大事業	1	農地対策に要する経費			事務事業の目	
	施・策・農業の振興(農業振興体制の整備) 中事業 4 有害鳥獣対策事業費										的、対象、内	
(誰のために)												
月的		林産物を有害鳥獣被害										
(対象をどのような	・クマの目]撃情報を市民に知らせ	は、汪怠喚起を図り	り , ネ	被害を未	然に防	<"。					
状態にしたいか)												
	0.24114							類の決定。・市内6捕獲班の編 護猟へ報告 ・クマレンジャー			,	
内 容	②地域営農課実施分…有害鳥獣防護柵の設置助成として、単市補助事業…資材費の助成を行う(補助率 集落的取組1/2、共同設置											
	1/5) ・国原	軍補助事業…鳥獣被害防.	止総合対策交付金事	業・	県費補助	事業…第	落ぐる	るみで取り組む鳥獣被害対策確立	事業		1	

					اً ا	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Dc)				_						
				23:	年度			2	4年度				25	5年度		事業単位当たり					
	スト	コス	ト(千円)			(千円)	コス	<u>ー</u> スト (千円)		(千円))	コス	ト(千円)		(千円)	コストなどに留					
		直接事業費	30,5	54 🖪	県補助金等	473	直接事業	61,173	国県補助金等		8,816	直接事業費		国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ					
イン	/フ [°] ット	人件費	3,7	75 🕏	受益者負担		人件費	7,983	受益者負担		504	人件費		受益者負担		て下さい。					
*********		合計	34,3	29 -	-般財源等	33,856	合計	69,156	一般財源等	5	59,836	合計	0	一般財源等	0						
<u> 必要人員</u>					人		0.9	-		人				人							
時間外	勤務手当		5:	1.00		千円		130.0	00		千円				千円						
		指标	票 名 等	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値年度)		備 考計算方法、							
	シ	シカ捕獲数		シカ捕獲数		シカ捕獲数		シカ捕獲数			2,410.00		2,410.00					年間計画に基		十画的に実施 こ対し,1頭	事務事業の目
	頭		実績値	2,321.00		2,366.00	_			年度	につき委託料			的やその数値 目標である成							
	対 前 年 比			_	1	101.94%	_				ている。 計画値の2,4	L10頭は類	非在过来	果指標などに							
		₩₩₩# □	ス	<u> </u>			円 1	16,562,000 円		円円			会で承認を得	导た上限捕	護頭数であ	留意しながら 有効性の評価					
		単位当たりコスト①				1.430.00	円	7,000.00 円 1.430.00	_	门			る。 年間計画に基	まづき. 🗈	+画的に実施	を行って下さ					
活	イノ	シシ捕獲	蒦数	頭	- D. — . —	1,437.00		1,168.00	_			年度	している。打	甫獲頭数に	対し, 1頭	UN.					
動・		対(前年上		- 10/10	_		81.28%	_			1/2	につさ委託	\$ 7,000F	円を支払って						
結		⊐	ス	 			円	8,176,000 円		円					前獲対策協議 ************************************	,					
果指		単位当たりコスト②					円	7,000.00 円	_	円			会で承認を得る。	号/こ上版排	用援助致であ						
括 標	防護柵設置	置補助金申請件数 単位 計画値			50.00		50.00					防護柵設置助成の申請件数。 (H23年度、単市70件、									
1.51	פאוניוויאַנוכען		制助金申請件数 千円		実績値	81.00	64.00		_			23,449千		9、国費9	件、						
······			前 年 比			_	79.01%		-			19,017千月 千円) 市と									
アウトプット			ス	<u> </u>			円	<u>円</u>		円			取組み等に								
() yr		单位当/	とりコスト	_	計画値		円	円	_	円			いる。								
	猟友ź	会メンバ	一数	単位人	実績値	145.00		142.00	_			年度									
				単位		1-13.00		172.00				一区									
					実績値		+		_			年度									
<u>_</u>	指標名			23年度		24年度	25年	变	目標		(指標の記	備考計算方法、	算式等)								
成果指	1 150	S		単位	計画値								西部共済組合より情 が、昨年度までの被								
指	1 / 2 / 2	イノシシ・シカ被害窓	1奴舌胡	千円	実績値	52,767.00		24,310.00	_			年度	よりすいて方法を変 較はできない	更する。その為、	、昨年度との単純比						
標 	防護柵の	力累計設	置延長	単位	計画値	100,000.00)	100,000.00					国費・県費・市 (H23年度、E								
アウト		防護柵の累計設置延長 n		m	実績値	121,335.00)	80,624.00	_			年度	4,630m、市劃								
指標化できない成果																					

	事務事業の評価	 (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	NO SHA CENTA-200
	市民のニーズを的確に把握している	0	有害鳥獣による農作物の被害は、農家にとって死活問題であ
	市民のニーズが適正に反映されている	0	り、このことにより、耕作放棄地の増加に繋がっていく、鳥獣 の個体数の管理及び防護により耕作意欲を上げていかなければ
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	ならない。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	×	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	×	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	有害鳥獣捕獲については、市の委託した有害鳥獣捕獲班のみがは接続した。ストス・ペケーの人は様だちゃくなっている。ペケーの人は様だちゃくなった。ストス
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	捕獲活動を行なっている。昨年、個人捕獲を認める動きをして みたが、強い抵抗があった。現在の捕獲班の実績を考慮する限
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	り、現体制で行なうのがベターであると考える。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある		防護柵の設置については、本市は、他の市町より率先して単市 での助成を行なってきており、ある程度、行き届いてきたと思
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	われるが、補助金要項等の見直しを図り、より一層の防護に努
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	めていかなければならない。
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	×	捕獲活動においては、県内の捕獲頭数の約半分を本市が占めて
	当初予定した実施項目が達成できた	0	いるにも関わらず、農作物の被害や有害鳥獣に対する住民不満 は、益々大きくなっている。また、防護柵を設置すれば、被害
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	が無くなると考えている面があるが、それだけでは、軽減には
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	なるが、根絶にはならない。鳥獣被害に強い集落作り等の啓発 をしていかなければならない。
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	20 (1/3/81)/1 118/8/3/8/16
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	_	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	市広報を通じての鳥獣被害スペシャリストのコメントを掲載し
市	市民への情報提供を行っている	0	て、鳥獣被害に強い集落作りの啓発を行なっている。
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

改善点や今後の取り組みの万向性(Action)											
資源配分の方向性● 優先的に継続する機続する機能がある機能がある株止、廃止	縮小して継続する上をする完了した	···· <mark>主務課長氏名</mark> 猪掛 公詩									
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題									
担当職員の鳥獣被害アドバイザーの取得。市民の方の鳥獣被害研修の参加への働きかけ。	市民に対する鳥獣被害	害の研修等による啓発。									
課題解決	のための改善内容及び予算への原	支 映									
改善項目	予算(大事業)名	改善により予算要求額変更内容									
1 平成25年度の捕獲頭数を増やした。	有害鳥獣対策事業費	シカ:2,000頭を2,620頭に:4,340千円増 イノシシ:1,400頭を1,680頭に:1,680千円増									
2											
3											

	事務事業の概要(Plan)												
基本方針	事務事業名	E	農業振興推	推進体制整	備事業					電話			
全球の	実施期間	平成	年	~			会計名	1	一般会計				
全要施策 主要施策 主要推荐 主要 主要推荐 主要推荐 主要推荐 主要 主要推荐 主要推荐 主要推荐 主要推荐 主要推荐 主要推荐 主要 主要 主要 主要 主要 主要 主要 主		基本方針	主産と交流の	まちづくり	主た	款	6	農林水産業費			1		
(基本計画) 体系	総合計画	主要施等	1 産業の期	三 嗣		関連	項	1	農業費				
施 策 農業の振興(農業振興体制の整備)	(基本計画)	工女儿吃來	1./生未♥ノラル	K yų		■ 予算・	目	2	農業総務費				
中事業 2 農業総務管理費	体糸	施等	農業の振り	剛(農業振嗣	休制の整備)	尹未口	大事業	1	農業総務の一般管理に要する	る経費		事務事業の	
対象 (誰のために) 目的 (対象をどのような 状態にしたいか) 一切修等への参加及び関係機関との会議・連絡調整を密にする。 市、JA広島北部、農業委員会、西部農業技術指導所等で構成する安芸高田市農業振興協議会を定期的に開催する。												的、対象、	
目的 (対象をどのような 状態にしたいか) 研修等への参加及び関係機関との会議・連絡調整を密にする。 市、JA広島北部、農業委員会、西部農業技術指導所等で構成する安芸高田市農業振興協議会を定期的に開催する。		<mark>象</mark> めに)											
由 ☆ 市、JA広島北部、農業委員会、西部農業技術指導所等で構成する安芸高田市農業振興協議会を定期的に開催する。	対象をどのような	担当職員が職務に必要な知識等を身につけ、市の農業振興の方向性を検討し、市民に理解してもらう。											
	内 容	。 市、JA広島北部、農業委員会、西部農業技術指導所等で構成する安芸高田市農業振興協議会を定期的に開催する。											

	事務事業実施にかかるコストと業績(Do)															
				22	年度				4年度				21	5年度		TWWW.
_	スト	77	ト(千円)			(千円)	77	<u>く</u> ト (千円)		(千円))	コスト(千円) 財源(千円)				事業単位当たり コストなどに留
		直接事業費		_	国県補助金等	(113)	直接事業費		国県補助金等	(113)	/	直接事業費	(113)	国県補助金等	(113)	意しながら効率
	/プット	人件費	8	349	受益者負担		人件費	2,941	受益者負担			人件費		受益者負担		性の評価を行って下さい。
·		合計	9	922 -	一般財源等	922	合計	3,008	一般財源等		3,008	合計	0	一般財源等	0	
必要	要人員 0.10				人		0.35	5		人				人		
時間外	勤務手当		2	2.00)	千円		48.0	0		千円				千円	1
		指標名等				23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値年度)		備 考 計算方法、		
	控≣	義会の開	佐	単位	立計画値	4.00		4.00					農業振興協	義会の開催	単回数	事務事業の目
	ם תמו	我女り用	I I E		実績値	2.00		1.00	_			年度	目標は、3た	カに1回	程度	的やその数値 目標である成
				七		_		50.00%	_							果指標などに
			ス	<u> </u>			円	円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当7	とりコス	_		22.00	円	円	_	円			各部会の開作	出(つ前合)	\	を行って下さ
活	協議会	各部会(の開催	単位		22.00		22.00 16.00	_			年度	担い手(*	12回):	実績9	<i>ل</i> اً)،
動		対前年比				20.00		80.00%	_			4.反	・野菜(6回・新産(4回・新産(4回)			
結結			<u> </u>	<u> </u>			円	円		円			田庄(午		₹•	T T
結果指			たりコス				円	円	_	円						
指標				単位	立 計画値											1
135					実績値				_			年度				
,		対(前年上	七					_							
アウト		⊐	ス	 			円	円		円						
プット	į	単位当	たりコス	_			円	円	_	円						
				単位												
				544 I-	実績値				_			年度				l
				単位	計画値実績値				_			年度				
					大順胆									備考		
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度	(目標	票値 年度)	(指標の語	計算方法、	算式等)	
果指				単位								h				
指標				単位	実績値				_			年度				-
1.T.				平11	計画値実績値				_			年度				
アウト					大順但							十汉				1
丛	1	指標化了	できない。													

	事務事業の評	価(C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	関係機関の連携や情報交換による意識統一を行うため、各部会
	市民のニーズが適正に反映されている	0	を開催するとともに、プロジェクト計画書の進行管理行った。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
羿	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	_	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	_	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	X	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	プロジェクト計画に基づいた関係機関の役割分担で取り組みを
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	行った。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	_	
	単位あたりコストを削減することはできない	_	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	県、JAなど専門技術や知識をもった職員との連携により効率
	当初予定した実施項目が達成できた	_	的な指導を行うことができる。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	様々な機会を利用し、市民への情報提供を行っている。
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている		
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	X	

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)											
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	<u></u>	する	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	猪掛 公詩					
	今年度までに実施した改善		解決できていない課題								
県・JAとの連携に トの進行管理を行っ	こより、野菜プロジェクト た。	^及び、畜産ブロジ	ェク								
		課題解決のた	めの改	種内容及び予算への反	映						
	改善項目		予	算(大事業)名	25	7. 善により予算要求額変更内容					
1											
2											
3											

事務事業の概要(Plan)											
電話 (47) 4004											
(47)4021	_										
	╛										
	事務事業の目										
事業費的、											
	容を考えなが										
	ら目的妥当性の評価を行っ										
かために) 											
目的 (対象をどのような 状態にしたいか)											
	_]										
	1										
説明会→集落内協議→認定申請→活動→補助金申請→請求→交付→実績報告 体制整備単価(取組内容による加算)											
Toaあたり:急傾斜(田21,000円、畑11,000円) 緩傾斜(田8,000円、畑3,500円)											
	0826 (47)4021										

					<u> </u>	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do	o)					
				22			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		4年度				21	5年度		
_	スト	771	~ (千円)		年度	(千円)		<u>く</u> スト (千円)		(千円	`	77	<u></u>	5年度	(千円)	事業単位当たり コストなどに留
_		直接事業費	() ()		別 // 別 /	231.736		()	別 <i>i</i> 国県補助金等		15.554			只 is 国県補助金等	244,652	意しながら効率
(/		人件費			受益者負担	231,730	人件	-	受益者負担	۷-	,	人件費	323,704	受益者負担	244,032	性の評価を行っ
[/フット 	合計	- '		一般財源等	105,910		7	一般財源等	:	87,135		325,704		81,052	て下さい。
ואו	要人員		,	0.85	D WILLY SE	人		0.70				人				
.	引外勤務手当 183.00)	<u> </u>		96.0			千円				千円		
5.57		指標名等				23年度		24年度	25年	度		計画値年度)	計画値 備考			
	協定が締結	きされた	豊地の面	単位	計画値	27,900.00		27,900.00	27,900	.00			データベース	スの農地を	計画値に使	事務事業の目
				実績値	24,584,819.0	00 2	24,665,282.00	_			年度	用			的やその数値	
	対 前 年 比					-		100.33%	_							目標である成 果指標などに
		⊐	スト				円 3	25,500,286 円		円						留意しながら
	!	単位当な	こり コス	h ①			円	13.20 円	_	円						有効性の評価
江	締結され	1た集落	協定数	単位	計画値	205.00		208.00	208.0	0			個別協定6協定 市内で稲作等をしている法人が対			を行って下さ い。
活動	WILLIAM C.1			件	実績値	208.00		209.00	_			年度	リリハ CMITF= 象	きせして	る法人が対	
•		対前	1 年 1	t		_		100.48%	_							W.
結	コスト						円 3	25,500,286 円		円						
果指	単位当たりコスト②					円 1	,557,417.64 円	_	円							
標	体制熱	整備単価協定			90.00		90.00	90.00				活動内容には				
				件実績値		89.00		91.00	_			年度	活動を進める	請単価の2種類がある。より集落 5動を進めるためには、体制整備		
<i>-</i>				t		_		102.25%	_				単価への移行が望まし		<i>√</i> √1.	
アウト			ス	<u> </u>			円	円		円						
プット		甲位当為	こり コス	_	L =1	4.000.00	円	円 4 000 00	-	円			北典史を会	カたスエ ベ エ	米九	
	協足	定参加者	数	単位		4,000.00		4,000.00	4,000.)()			非農家を含め	ひに延へ人	妥以	
				人	実績値	3,410.00	\perp	3,422.00	_			年度				
				単位			-		_			ケ中				
					実績値				_			年度		/# →		
成		指	標名		ı	23年度		24年度	25年			票値 年度)		備考 計算方法、	算式等)	
成果指	協定総	帝結済面	積数	単位		85.00		85.00	90.00)			協定面積/対(協定可能面		0.000m²	
指標				%		88.10	4	88.40	_			年度				
· 信 ,			単位		41.90		43.50	42.70)			体制整備単価を推進しているた				
アウト	1795年111日	引整備単価協定の割合 		%	実績値	42.70		43.50	_			年度				
<i>አ</i> ለ																

	事務事業の評価(Check)											
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック										
	市民のニーズを的確に把握している	0	●平地に比べ不利な状況である中山間地域等での、農業生産活動の状態が必要である。									
	市民のニーズが適正に反映されている	0	動の持続が必要である。 ●そのため、集落全体で農地を守っていくと同時に、担い手を									
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	育成することで									
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	●中山間地域の住民及び下流域の住民を守るために、農地の有 する水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能を維持する									
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	必要がある。									
妥当	国や県と重複のない事務事業である	_										
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0										
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0										
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0										
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0										
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	$\overline{}$	●中山間地域等は、高齢化の進展や平地に比べ自然的・経済 的・社会的条件が不利な地域である。そのため、担い手の減									
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	砂・社会的条件が不利な地域である。そのだめ、担い手の減 少、耕作放棄地の増加等により、多面的機能の低下が問題と									
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	なっている。									
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	→ このことに対し、集落全体で共同取組活動を行うことにより、耕作放棄地の防止や多面的機能を維持していく。									
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	り、新FIX未成の加工で多面の機能を推すしていて。									
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0										
	単位あたりコストを削減することはできない	0										
	受益者負担を検証している	X										
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	●協定を締結している集落では、共同取組活動が行われることで、耕作放棄地の増加を防止が図られている。									
	当初予定した実施項目が達成できた	0	で、新作成業地の追加を別止が図られている。									
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0										
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0										
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0										
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0										
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_										
	専門性をもった人材を活用できている	0										
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_										
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	●集落協定での活動は、集落での話し合いに基づいて実施され ている。									
市民	市民への情報提供を行っている	_	CVIO									
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_										
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_										
	(

	改善点や今後の取り組みの方向性(Action)												
資源配分の	方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	猪掛	公詩					
	S	3年度までに実施した改善	善内容			解決でき	ていない課題						
	及び今後	の中間年にあたることかの事業継続について、ヒを得た。			中山間事業管理シス	テムの図面整備	帯を実施する必要が	ある。					
課題解決のための改善内容及び予算への反映													
		改善項目		予	算(大事業)名	25	善により予算要求的	頁変更内容					
1													
2													
3													

事務事業の概要(Plan)											
事務事業名		農業経営体制整備	事業			旦当部課 成者氏名		長興部 地域営農課 友紀	電話	0826 (42)4021	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	25 年 3	月		会計名	1	一般会計	•		
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	à	主な	款	6	農林水産事業費			
総合計画	主要施策	1.産業の振興			関連	項	1	農業費			
(基本計画)	工女肥果	1.连来仍颁唤		予重	算・ 業名		3	農業振興費			
体系	施策	農業の振興(農業振興	休制の整備)	₽	未包	大事業	2	営農体制の整備に要する経	費		事務事業の目
					中事業	3	集落営農支援事業費			的、対象、内	
対 象 (誰のために)	地域営農集団 認定農業者等農業生産者 (4)										容を考えなから目的妥当性の評価を行って下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	担い手と集落の役割分担と持続可能な農業生産体制の整備										
内 容	集落等での四	限提供や農業推進班長の 至談会への出席 援事業(担い手農家・営賃		拡大のク	ための	機械導	入助原	艾、市単独費)			

				=	基務事業実 抗	施に	かかるコス	トと業績	(Do)					
						، ے ا ن				,					
				年度				4年度					5年度		事業単位当たり
	スト	コスト(千円	_		(千円)		スト(千円)	財源	(千円)	コス	ト (千円)	財源	(千円)	コストなどに留 意しながら効率
,				国県補助金等	5,104			国県補助金等		8,840			国県補助金等		性の評価を行っ
ん	/プット			受益者負担	1,139			受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
		合計 38	,	一般財源等	31,894	合計	,	一般財源等		19,483	合計	0	一般財源等	0	
	要人員		0.45		人		1.55			人				人	
時間外	勤務手当		97.00		千円		213.0	00		千円				千円	
		指標名	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	±41	械助成数	単位	1 計画値											事務事業の目
	1/3	STYNDUPK ØX	台	実績値	50.00		48.00	_			年度				的やその数値
		対 前 年	比		_		96.00%	-							目標である成 果指標などに
		コス	7			円	円		円						留意しながら
		単位当たりコス	スト①			円	円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
×			単位	計画値											N.
活動				実績値				_			年度				
•			比		_			_							y
結		コス	-			円	円		円						•
果指		単位当たりコス	スト②			円	円	_	円						
標			単位	<u>7</u> 計画値											
				実績値				_			年度				
/·\		対 前 年	比		_			_							
アウト		コス	-			円	円		円						
プット		単位当たりコス	スト③			円	円	_	円						
	三天	定農家数	単位		99.00		109.00	119.0	0						
	0.0		戸		75.00		80.00	_			年度				
	集	落法人数	単位		16.00		19.00	22.00)						
			組織	実績値	15.00		15.00	_			年度				
БŮ	指標名			23年度		24年度	25年	度		票値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)		
成果指	扣	ハ手集積率	単位		25.90		29.10	32.20)						
指	150	· · 3	%	実績値	20.70		24.75	_			年度				
標			単位	計画値											
アウト				実績値				_			年度				
_አ ለ		指標化できない	\成果												

	事務事業の評	価(C	heck)
ſ	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	農林、JA、指導所等の協力を得て行っているが、効率的かつ
	市民のニーズが適正に反映されている	0	迅速に対応していくためにさらなる連携が求められる。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	1
<u> </u>	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	1
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	1
	他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	認定農業者の認定にかなりの時間を要しているのが現状である
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	ため、関係機関と相談の上、より迅速に認定できる制度を考える必要がある。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	00000000
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	×	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	X	認定農家数は新規に認定を受ける方が多くいたものの、認定が
	当初予定した実施項目が達成できた	X	↑切れた方が更新しないケースも多く見受けられたため、増加数 ♪はあまり多くなかった。任期切れになる農家へのフォローアッ
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	プや聞き取り等を行い、更新しない理由を調査し、認定農家数
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	の増加に努める。
有効	目標年度に目標を達成できそうである	X	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	X	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)													
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		_をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	猪掛 公詩							
₹.	今年度までに実施した改善	善内容		解決できていない課題									
		課題解決	のための改	善内容及び予算への反	逆								
	改善項目		予	算(大事業)名	改	善により予算要求額変更内容							
1													
2													
3													

事務事業CD

事務事業の概要(Plan)												
事務事業名	農地	・水保全管理支払交付金事業		担当部		産業担	長興部 地域営農課 裕輝	電話	0826 (47)4021			
実施期間	平成 19	年 3 月 ~ 平成 25 年 3	3 月	_	会計名 1 一般会計							
	基本方針	№多彩な生産と交流のまちづくり		主な	款	6	農業水産業費					
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費					
(基本計画)	工女肥米	1. 连来♥が収典		予算・ 事業名		3	農業振興費					
体系	施策	農業の振興(農業振興体制の整備)		争耒石	大事業	2	営農体制の整備に要する経	費		事務事業の目		
		展案の <u>掀</u> 典(展案 派 典 体 向 の 定			中事業	5	農地·水·環境保全向上対策	事業		的、対象、内		
対 (誰のために)	農村地域の個	主民								容を考えなが ら目的妥当性 の評価を行っ て下さい。		
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	農地を守る。農業施設や農村環境保全。											
内容	地域ぐるみがし、交付が	での効果の高い共同活動に取り組む 金を加算。	組織(†	劦定)に対し	J、交f	可金を	交付。先進的な営農活動に取	り組み	活動組織に			

事務事業実施にかかるコストと業績(Do)																		
				23	年度			24	4年度				2	5年度		事業単位当たり		
	スト	コス	ト(千円))	財源	(千円)	コス	ト(千円)	財源(千円))	コス	ト(千円)		(千円)	コストなどに留		
		直接事業費	7,0	081	国県補助金等	405	直接事業費	6,365	国県補助金等		1,352	直接事業費		国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ		
イン	/プ [°] ット	人件費	8,0)66	受益者負担		人件費	4,622	受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。		
		合計	15,1		一般財源等	14,742	合計	10,987			9,635	合計	0	一般財源等				
	要人員).75		人		0.55			人				人			
時間外	勤務手当		13	9.00)	千円		75.0	0		千円				千円			
		指標名等			23年度		24年度	25年月	Ŧ	今後の記(計画:		度) (指標の計算方法、算式						
	協定締	協定締結要計団体数			協定締結要計団体数				15.00		15.00					共同活動協定 5年間活動を	協定締結後	事務事業の目
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			協定	定実績値	15.00		14.00	_			年度	〇十同心却で	ن کرانان نام		的やその数値 目標である成		
				七			m 1	93.33%	_	m						果指標などに		
		当	ス たりコス l	ト ト①				8,777,150 円	_	円円						留意しながら 有効性の評価		
	単位計画値		カー 計画値		7 20	D7,770.43 🗇		[]			H24年度よ	り第2期対	対策へ移行の	を行って下さ				
活	基礎支援対策面積(田)			а		47,910.00	47,910.00 46,556.00		_			年度	ため、協定	面積の見直	しを行っ	(n.		
動・		対(前年上	七				97.17%	_				た。 共同活動協	定面積総数				
結	コスト				円 3	3,777,150 円		円						"				
果指	<u>i</u>	単位当力	たりコス	\2			円	81.13 円	_	円								
標	先進的取	組団体	数(累計)	単位		3.00		3.00					H24年度(第2期対策	き)より廃止			
				_	実績値	3.00		0.00	_			年度						
			前 年 b ス	七		_	円	0.00%	_	m								
アウト・フット・			<u> </u>	<u>ト</u> ③			円	円円	_	円円								
				単位	計画値	1.00	1 1	1.00		1								
	向上活	動実施図	団体数	協具		1.00		2.00	_			年度						
				単位														
					実績値				_			年度						
c1;		指 標 名 23年				23年度		24年度	25年度	#	目標		(指標の	備 考 計算方法、	算式等)			
成果	新たな実践	単活動の	胡生全計	単位	計画値								不明					
果指	利には天場	ス/ロギル()	/ŦX□□61	件	実績値	265.00			_			年度						
標	共同作業参	加者人	数の延べ	単位														
アウト	数			人	実績値				_			年度						
<i>ከ</i> ム	1	指標化了	できない。	或果														

		事務事業の評	価(C	heck)
	۱	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
Г		市民のニーズを的確に把握している	0	中山間地域直接支払い事業の対象とならない地域における農業
		市民のニーズが適正に反映されている	0	施設の維持や共同活動に対する支援対策として一定の効果を得している。
ı		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	しかしながら。予算上の都合によりすべての要望に対して対応
ı		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	X	が出来ていないのが現状である。
ı	妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
	妥当	国や県と重複のない事務事業である	X	
ı	性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	_	
		他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
ı		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
		(
Γ		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	昨年度までで1期対策が終了し。今年度から2期対策に突入し
ı		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	た。 要綱等に改正があり、継続の地区において当初若干の混乱が
		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	あった。
	効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	
	率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	
	性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
		単位あたりコストを削減することはできない	X	
		受益者負担を検証している	_	
		(
Γ		事務事業の効果を適正に把握している	0	水利組合や地域振興会・子ども会・集落を越えた取組等,農業
		当初予定した実施項目が達成できた	_	者のみならず、地域住民を対象とした広がりがあり、農業施設・農村環境の維持保全に効果が期待される。
ı		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	・活動組織の中で、その地域に在住する市民が各々の専門性を
ı		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	活かして生態系保全や水質保全など新たな活動に積極的に参加
	有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	している
ı	性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
ı	_	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
ı		専門性をもった人材を活用できている	X	
ı		職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
		(
		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている		
	市	市民への情報提供を行っている	0	
	民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
	画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
L		()		
_				

		改善点や今	後の取り	組みの方向性((Action)		
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	• ******** ******************	Lをする	縮小して継続 完了した	する 主務課長	氏名 猪掛	公詩
4	今年度までに実施した改	善内容			解決	できていない課題	
				事務が煩雑化する	が傾向にあり、	地元の負担が増加して	いる 。
		課題解決	のための改	(善内容及び予算へ	の反映		
	改善項目		予	算(大事業)名		改善により予算要求	額変更内容
1							
2							
3							

事務事業の概要(Plan)											
事務事業名		担い手育成事業			担当部		産業担	辰興部 地域営農課	電話	0826 (47)4021	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	25 年 3	月		会計名	1		1		
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり		主な	款	6	農林水産業費]
総合計画	主要施策	1.産業の振興			関連	項	1	農業費			
(基本計画)	工女肥果	1. 庄未の派典			予算・ 事業名		3	農業振興費			
体系	施策	農業の振興(農業振興体制の整備)			尹未石	大事業	2	営農体制の整備に要する経	費		事務事業の
	100				中事業	8	担い手育成事業費			的、対象、	
対 象 (誰のために)	認定農業者等担い手農家。 農業振興資金利用農家。 農業後継者育成支援事業対象者等。										
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	職業として自立できる農家の育成。 農業者・法人の系改善計画の認定。 意欲的な農業者の育成。										
内容		報提供。 利子補給助成。 ♡農業後継者育成支援事	業対象者の支	援							

						530 5 ** 5	+1-	かかフラフ	الاسا اا	(0	`					
事務事業実施にかかるコストと業績(Do)																
				23	年度			2	4年度				25	5年度		事業単位当たり
=	スト	コスト	~ (千円)	_		(千円)		スト(千円)		(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留 意しながら効率
,		直接事業費			国県補助金等	4,045		-	国県補助金等		6,430			国県補助金等		性の評価を行っ
化	ノプット	人件費		_	受益者負担	22,668		_	受益者負担					受益者負担		て下さい。
		合計	•		一般財源等	▲ 12,041	合計	•	一般財源等	1	15,794	合計	0	一般財源等	0	
	要人員			0.50		人		0.55			人				人 千円	,
時间外	勤務手当		10	08.00)	千円		75.0	0		千円					
					23年度		24年度	25年	度		計画値 (年度) (指標の計算方法、算式等)					
	認及	定農業者	数	単位		99.00		109.00	119.0	0	129		地域プロジ:	ェクト目標	標値	事務事業の目
	0.0.7			戸	実績値	75.00		80.00	_		H26	年度				的やその数値 目標である成
				七		_		106.67%	_							果指標などに
		<u> </u>	ス	<u> </u>			円	円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当だ	E りコス	_		1.00	円	円	-	円			まませつこう	- h L ロ#	5.法	を行って下さ
活	新	規就農者	ž	単位	0. —	1.00		5.00	5.00		5.0		地域プロジ:	エクト日特	利 坦	۷)。
動		55 S	立年	人	実績値	1.00		3.00			H26	年度				V
結結		対前	」 <u>ヰ レ</u> ス	<u>ь</u>			円	300.00%	_	円						W.
和果指			<u> </u>				円	円								
指		+1237	ニジコス	単位	7 計画値		1 1	11		11						
標				712	実績値				_			年度				
		対 前	立 年 上	七		_			_							
アウト			ス	<u></u>			円	円		円						
プット		単位当た	こりコス	K 3			円	円	_	円						
\/				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標		(指標の語	備 考 計算方法、	算式等)	
果	農業後継者	皆育成支持	爰事業対	単位	計画値	3.00		3.00	3.00				事業対象者数	数		
指	象者			人	実績値	1.00		4.00	_			年度				
標				単位										_		
アウト					実績値				_			年度				
አ ለ	: !															

	事務事業の評	価(C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	・集落営農推進のため、意欲ある農業者の育成が必要である。
	市民のニーズが適正に反映されている	0	・新規就農者の経営安定のため、就学助成、研修制度の充実、 就農給付金の制度活用など支援が必要である。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	農協等と連携を深めることにより、生産の技術指導から販売ま
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	での一貫した効率的な推進が可能となる。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	X	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	認定農業者数が増加しており、事業は有効である。
	当初予定した実施項目が達成できた	0	
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(
	•		

● 優先的に継続する 継続する 縮小して継続する _{主務課長氏名} 猪掛 公詩 他事業と統合する 休止、廃止をする 完了した 第決できていない課題 就農計画の承認、給付金の交付。	
就農計画の承認、給付金の交付。	
課題解決のための改善内容及び予算への反映	
改善項目 予算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容	ĵ
<u>3</u>	

												1	
事務事業の概要(Plan)													
事務事業名		地産地消推進事	攀			担当部	『課	産業担	辰興部 地域営農課	電話	0826	ĺ	
子奶子来口			~* 			作成者	氏名	黒田真	美一	€□□	(47)4021		
実施期間	24	24 3 月 ~ 25 3 月 会計 1 一般会計									ı		
	基本方針	 										ĺ	
総合計画	主要施策	1.産業の振興				関連	項	1	農業費			ı	
(基本計画)	工女儿也永	1.连来♥別成央				予算・	B	3	農業振興費			ı	
体系 第業名 大事業 3 地産地消の推進に要する経費												<u></u>	巨彩
施 策 農業の振興(農業振興体制の整備)												的、	
対 象 (誰のために)	・市民、農 ・市、JA	業者 広島北部、地域振興事	業団、給泊	食センタ	ター	、農業委	員会、!	県の関	係機関や担当職員			i.	容をらいて下
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか) 地産地消の取組みにより、市内農産物の魅力を再発見していただき、「農産物をもっと購入したい」「農産物をつくりた では、い」という意欲をもてるような環境整備の推進。													
	JA広島北	部、地域振興事業団、	給食セン	ター等	関係	機関と連	携し、	S種 事	業を展開する。				
内 容												ı	
												ı	

									1 1 NIV 6-		,					ı
					틜	事務事業実 	施に	かかるコス	トと業績	(Do)				T T	
				23	3年度			2	4年度				2	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円))	財源	(千円)	コフ	スト(千円)	財源	(千円)	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	50,4	432	国県補助金等	15,729	直接事業	<u>†</u> 112,478	国県補助金等	6	55,978	直接事業費		国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
ん	ノプット	人件費	14,0	009	受益者負担	1,140	人件費	費 9,664	受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
		合計	•		一般財源等	47,572	合計	,	一般財源等 56,164		合計	0	一般財源等	0		
	要人員			1.65		人		1.15			人					
時間外	勤務手当		35	56.00	0	千円	<u> </u>	158.0	00		千円				千円	
		指标	標名	等		23年度		24年度	25年	度		計画値年度)		備 考 計算方法、		
	給食センタ					30.00		30.00	30.00)	30.		給食センタ・ 総使用率/1			事務事業の目
	物(對	孫文)供		%	実績値	24.10		26.00	_		H26	年度	心区用学/」	也场封木区	СЛ Т	的やその数値 目標である成
			前年」			_		107.88%	_							果指標などに
			ス	<u> </u>			円	円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当次	たりコス	_	+ -,	7100	円	円	_	円	100	0.0	「ちきたかけ	ヒのたかご	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を行って下さ
活	あきたた	かたブラ	ランド数	単位	_ 0	54.00		90.00	100.0	0	100		かさにが ランド」の		5」「三矢ブ な	۷)。
動		対	前年」	比比	実績値	82.00		89.00 108.54%	_		H26	年 及				
結結		T L	<u> </u>	<u></u> Ь			円	円	円							W.
果指			ーク たりコス				円	円 1.1	_	— 円						
指				単位	立 計画値	7.00	1 3	9.00	12.00	1 4	15.	00	はぶ草の作	寸面積		
標	えびす	茶の作	付面積	h	a 実績値	6.40		7.56	_		H26	年度				
		対	前年」	比		_		118.13%	_							
アウト		⊐	ス	+			円	円		円						
プット	<u>!</u>	単位当初	たりコス	K 3			円	円	_	円						
`				単位	立計画値											
				L	実績値		\perp		_			年度				
				単位							239					
				<u> </u>	実績値				_			年度				
成		指標名			23年度		24年度	25年	度	目標	票値 年度)		備 考計算方法、			
果指	ふるさと	応援の領	会会員数	単位		1,000.00		2,500.00					ふるさと応	援の会会員	製	
指標				人	`	1,726.00		2,226.00	_			年度	佐乳/たかた立:	古本 ハイル	子言 心の間	
· 信 	特區	全品販売	額	単位		658,000.00		658,000.00					施設(たかた産産)			
ፖ ሳ ኑ <i>አ</i> ፊ				ラ 天績値	547,258.00		549,746.00	_			年度	での販売額				

		事務事業の評	価(C	heck)
	١	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
		市民のニーズを的確に把握している	0	安芸高田市内農畜産物の販売促進・生産振興を図り農家所得の
		市民のニーズが適正に反映されている	0	向上、地場産農畜産物の理解を通じた食農食育活動の推進が必要不可欠である。
		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	21 37(19)30
		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
7	₩	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
	妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
1	生	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
		他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
		(
		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	給食センター、JA、地域振興事業団との連携により関係機関
		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	の共通認識の醸成、役割分担に基づいた取組みが行われた。
		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
7	効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
2	率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
1	生	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
		単位あたりコストを削減することはできない	0	
		受益者負担を検証している	0	
		(
		事務事業の効果を適正に把握している	0	関係機関、団体の連携により効率的な取り組みができた。
		当初予定した実施項目が達成できた	0	成果目標を達成していないが,「ふるさと応援の会」会員数は 順調に増加している。また,特産品販売額は微増ではあるが,
		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	認証商品数の増加等商品品質の向上に向けた取り組みを行っ
		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	た。
1	有	目標年度に目標を達成できそうである	0	
	効 性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
ĺ	_	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
		専門性をもった人材を活用できている	X	
		職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
		(
		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	広報等により、市民への情報提供を行っている。
	市	市民への情報提供を行っている	0	
	民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
	画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
		()		

	以音点でラ後の取り組みの月回往(ACION)												
資源配分の方向性	優先的に継続する	● 継続する	縮小して継続する	主務課長氏名	猪掛 公詩								
貝派癿刀切刀凹住	他事業と統合する	休止、廃止をする	完了した	王物味及以台	拍掛 公司								
	今年度までに実施した改善			解決できていない課題									
	推進事業補助金」の見直	しを行い。事業の廃		ンド化事業の	展開,商品開発,起業への計画的移								
を行った。			行の検討。										
		課題解決のため	の改善内容及び予算への反	映									
	改善項目		予算(大事業)名	改善	善により予算要求額変更内容								
1													
9													
2													
3													

事務事業の概要(Plan)											
事務事業名		畜産振興事業			当部課 成者氏名		業振 々木	興部 地域営農課 覚朗	電話	0826 47-4021	
実施期間	平成 16										
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	<u></u> 主な	な 点	(6	農林水産業費			
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	連 項	•	1	農業費			
(基本計画)	工女儿也来	1.注来の派突		予算 事業		4	4	畜産振興費 			
体系	施策	農業の振嗣(農業振嗣	休制の整備)	尹未	大事	業	1	畜産振興に要する経費			事務事業の
中事業 1 畜産振興施設管理運営費											
対 象 (誰のために)	市内の和牛飼	詞養・肥育農家及び酪農	家、養豚、鶏、	畜産公 署	害協定等(の参加	旧者、	畜産施設の近隣住民。			容を考えな。 ら目的妥当 の評価を行 て下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	農家の利益や経営安定のため、和牛及び乳牛等の産地維持拡大を図る。 対象をどのような										
家畜防疫と畜産公害の監視活動。 各種補助事業の実施。 共進会の開催。										<u> </u>	

						事務事業実	施にな	かかるコス	トと業績	(Do)				_	
				231	王度			2	4年度				25	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円)			(千円)	コス	(ト (千円)		(千円))	コス	ト (千円)		(千円)	コストなどに留
		直接事業費	8,4	08 🗉	県補助金等		直接事業費	7,896	国県補助金等			直接事業費		国県補助金等		意しながら効率
イン	/プット	人件費	5,5	519 5	益者負担		人件費	2,521	受益者負担			人件費		受益者負担		性の評価を行って下さい。
************		合計	13,9	27 –	般財源等	11,582	合計	10,417	一般財源等 10,417		合計	0	一般財源等	0		
必要	要人員		0	.65		人		0.30)		人				人	
時間外	勤務手当		14	0.00		千円		41.0	0		千円				千円	
		指标	票 名 等	手		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画		(指標の記	備 考計算方法、	算式等)	
				単位	計画値											事務事業の目
				頭	実績値				_			年度				的やその数値 目標である成
			前年上	_		_			_							果指標などに
		<u> </u>	ス	<u> </u>			円	円		円						留意しながら
	<u>!</u>	単位当為	たりコス	_	1		円	円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
活				単位					_			左曲				ل _د ا،
動		対	前年上	頭	実績値	_			_			年度				
· 結		۱ ۱۳۸	<u> </u>	<u> </u>			円	円		円						1
果指			<u>- ハ</u> たりコス I				円	円	_	円						
指標				単位	計画値		1 4	1.4		, ,						
尓					実績値				_			年度				
, <u>,</u>		対能	前年上	է		_			_							
アウト		⊐	ス	1			円	円		円						
プット	<u>!</u>	単位当為	たりコス	-3			円	円	_	円						
***********	自給粗飼料	斗の集積	面積の拡	単位		100.00		120.00					耕畜連携の持	隹進。		
	大			ha		90.00		100.00				年度	英山の原チ+	3世上 レコ	10、毛井	
	採卵事業	による	卵の確保	単位		10.00		10.00				左在	管内の優秀な を掛け合わせる。			
				個	実績値	0.00		12.00				年度	<u> ද</u>			
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標			備考計算方法、		
果	肉用牛	経営規模	莫拡大	単位		10.00		12.00					繁殖雌牛の (全体頭数/)推進。	
指標				頭	実績値	8.70		7.50	_			年度	格農業のさら		みル奴当 の	
· ···································	乳用牛	経営規模	莫拡大	単位	0	60.00		60.00				— —	推進。搾乳牛	の多頭飼育		
ፖ ሳ ኑ	1	指標化	できない原	頭	実績値	53.60		48.80	_			年度	(全体頭数/所	三数)		

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		事務事業の評価	置 (C	heck)
市民のニーズが適正に反映されている			チェック	備考欄(留意事項)
新急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である の中心表別を施えている。 国や他市と比較し、事務事業である やはの事務事業と統合できない事務事業である 社会環境の変化に対応しているが実施内容の検証をしている 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている (規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている のストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 処理を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 必 他の団体等を活用すると公平性や手検義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や手検義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や手検義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や手検義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や手検表務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や手検表務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や手検表務に問題がある の場がまずるといって、大人性養を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない の要括者負担を検証している 当初予定した実施項目が違成できた 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 成果指標の実験値が前年度と比較して向上した 目標年度に目標を達成できそうである 日間が達成できるような事務事業の内容である 専門性をもった人材を活用できている 融員の能力開発のための対策は十分になされている 「 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている 融員の能力開発のための対策は十分になされている 「 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている 融員の能力開発のための対策は十分になされている 「 ・ 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている		市民のニーズを的確に把握している	0	
利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 国や他市と比較し、事務事業である ○ 国や県と重複のない事務事業である ・ 他の事務事業と続合できない事務事業である ・ 社会環境の変化に対応しているが実施内容の検証をしている ・ 他の自治体を考にし、実施内容の検証をしている ・ 規則や要縛等に基づいて、適正に業務の処理ができている ・ コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である ・ 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である ・ 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である ・ のの団体等を活用すると公平性や守砂義務に問題がある ・ 性の団体等を活用してもメリットが大きくならない ・ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ・ 単位あたりコストを削減することはできない ・ 単位あたりコストを削減することはできない ・ 単位あたりコストを削減することはできない ・ ・ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		市民のニーズが適正に反映されている	0	
国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 国や県工事類のない事務事業である 市以外が実施主体になりえない事務事業である ・ 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている ・ 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている ・ 人規則や要網等に基づいて、適正に業務の処理ができている ・ 人規則や要網等に基づいて、適正に業務の処理ができている ・ 人規則や要網等に基づいて、適正に業務の処理ができている ・ コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である ・ 数果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である ・ 他の団体等を活用するとと単性や守め義務に問題がある ・ 中心の団体等を活用してもメリットが大きくならない ・ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ・ 単位あたりコストを削減することはできない ・ 受益者負担を検証している ・ 当初予定した実施項目が達成できた ・ 成果指標について当初設定した計画値が達成できた ・ 成果指標の実験値が卸年度と比較して向上した ・ 目標年度に目標を達成できるような事務事業の内容である ・ 目的が達成できるような事務事業の内容である ・ 自物・理像とは較して向上した ・ 自標・理像に目標を達成できている ・ 専門性をもった人材を活用できている ・ 専門性をもった人材を活用できている ・ 専門性をもった人材を活用できている ・ 専門性をもった人材を活用できている ・ 専門性をもった人材を活用できている ・ 電景の能力開発のための対策は十分になされている ・ (緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
国・中央と重複のない事務事業である		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
世	妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
他の事務事業と励るできない事務事業である 本社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている ①		国や県と重複のない事務事業である	0	
社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている ○ 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている ○ 別別や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている ○ コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である ※ 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある ○ 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない ※ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ○ 単位あたりコストを削減することはできない ○ 受益者負担を検証している ○ ○ (性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている (他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である ※ 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である ※ 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない ※ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ● 単位あたりコストを削減することはできない ● 単位あたりコストを削減することはできない ● 受益者負担を検証している ○ 「「事務事業の効果を適正に把握している ○ 当初予定した実施項目が達成できた ○ 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した ※ 目標年度に目標を達成できそうである ○ 目的が達成できるような事務事業の内容である ○ 目的が達成できるような事務事業の内容である ○ 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ○ 専門性をもった人材を活用できている □ 職員の能力開発のための対策は十分になされている () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている ○ 古まざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である		(
対象を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である × 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある ○ 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない × 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ○ 単位あたりコストを削減することはできない ○ 受益者負担を検証している ○ ()		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	
他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
他の団体等を活用してもメリットが大きくならない X		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
大円貴を削減りでも、コストを削減することはできない	率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
受益者負担を検証している ○ 事務事業の効果を適正に把握している ○ 当初予定した実施項目が達成できた ○ 成果指標について当初設定した計画値が達成できた × 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した × 目標年度に目標を達成できそうである ○ 目的が達成できるような事務事業の内容である ○ 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ○ 専門性をもった人材を活用できている 一 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ー 市民への情報提供を行っている ー さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ー	性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
事務事業の効果を適正に把握している		単位あたりコストを削減することはできない	0	
当初予定した実施項目が達成できた		受益者負担を検証している	0	
当初予定した実施項目が達成できた		(
成果指標について当初設定した計画値が達成できた X 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した X 目標年度に目標を達成できそうである O 目的が達成できるような事務事業の内容である O 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている O 専門性をもった人材を活用できている 一 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ー		事務事業の効果を適正に把握している	0	
有効性性 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した X 目標年度に目標を達成できそうである O 目的が達成できるような事務事業の内容である O 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている O 専門性をもった人材を活用できている 一 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ー		当初予定した実施項目が達成できた	0	
目標年度に目標を達成できそうである		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
対性 目的が達成できるような事務事業の内容である		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
性 目的が達成できるような事務事業の内容である 〇 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 〇 専門性をもった人材を活用できている 一 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一		目標年度に目標を達成できそうである	0	
専門性をもった人材を活用できている 一 職員の能力開発のための対策は十分になされている 一 () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一		目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
職員の能力開発のための対策は十分になされている — () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている — 市民への情報提供を行っている — さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている —		事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
() 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一		専門性をもった人材を活用できている	_	
事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一		職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
市民への情報提供を行っている - さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている -		(
民 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ―		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている		
参		市民への情報提供を行っている	_	
	氏参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
		市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
		(

	以普点やラ後の取り組みの方向性(Action)												
資	源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	猪掛 公詩							
	9	3年度までに実施した改善	善内容		解決できていない課題								
		ンジブラン2020を作成ち上げにより、自家産の				和牛、乳牛とも増頭が進まなかっる組みを確立したい。							
			課題解決のため	の改善内容及び予算への反	映								
		改善項目		予算(大事業)名	改善	により予算要求額変更内容							
1													
2													
3													

											•
事務事業の概要(Plan)											
事務事業名	;	資源循環型農業経営	*重業		担当部	『課	産業排	長興部 地域営農課	電話	0826	
争切争未口		具	i 尹未 		作成者	氏名	佐々れ	大党朗	电。	47-4021]
実施期間	17	4 月 ~ 平成	25 年 3	月		会計名	1	一般会計			
_	基本方針 Ⅳ多彩な生産と交流のまちづくり <u>主な</u> 款 6 農林水産業費										
総合計画	主要施策	 1.産業の振興			関連	項	1	農業費			
(基本計画)	工文加入	1./生术67版共			予算・ 事業名	B	3	農業振興費			
体系	施策	農業の振興(農業振興	体制の整備)		子术口	大事業	3	地産地消の推進に要する経済	費		事務事業の
						中事業	1	地産地消推進事業費			的、対象、
対 象	堆肥を活用し	ンようとする市内農家 、	広島北部農協	、耕	・ 畜連携に	取組む	農業者				容を考えなら目的妥当
(誰のために)											の評価を行
	70 F (F TEI II)	5 曲坐ナササナフ									て下さい。
		D農業を推進する。 畜産農家の連携を推進す	る.								
(対象をどのような 状態にしたいか)	が旧主及ぶこと	品生成なりた別で記述り	3 °								
	井町江田へに										1
	堆肥活用のF 補助事業の写										
内容	110-20-3-2-2000	\nu_0									
] }

						± 20 ± 14 ch	+- ı	<i>5,5,2,</i>	1 1 . AUG //=	. (5	`					ı \
					Ę	事務事業実	他に	かかるコス	トと業績	i (Do)				7	
				23	年度			2	4年度				2	5年度		事業単位当たり
=	コスト	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コス	スト(千円)	財源	(千円))	コスト(千円)		財源	(千円)	コストなどに留
,		直接事業費	11,0	036	国県補助金等		直接事業	3,667	国県補助金等			直接事業費		国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
1	ンプット	人件費	:	849	受益者負担		人件費		受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
		合計			一般財源等	11,885	合計	,	一般財源等		5,768	合計	0	一般財源等	0	
	要人員	0.10 人		0.25 人							人					
時間外	▶勤務手当		2	2.00)	千円		34.0	0		千円				千円	
		指	標名	等		23年度		24年度	25年	度		計画値年度)		備 考 計算方法、	算式等)	
	循環型農業		践事業補	単位	立計画値	200.00		200.00	210.0	00			対象者…農家	家		事務事業の目
	助金申請件	‡数		戸	実績値	181.00		202.00	_			年度				的やその数値 目標である成
		対「		比		_		111.60%	_							果指標などに
			ス					3,665,850 円		円						留意しながら
		単位当	たりコス	_			円	18,147.77 円		円			0 1111 - 10	W 000tt 3		有効性の評価 を行って下さ
活	?	浦助金額	1	単位		2,900.00		2,900.00	3,500.	00			2t以上の祖は 健肥堆肥2,0		OOH/t、	(1).
動				₹F	9 実績値	3,180.00		3,665.00	_			年度	10 t 以上の		000円/ t	
•				比.		_		115.25%								W.
結果			ス	<u> </u>			円	<u>円</u>		円						
果指		单似 当	たりコス	_	+ 1 = 1 = 1 = 1 = 1		円	円	_	円						
標				単位	計画値実績値				_			年度				
		र्ग ह	前年	 - -	天禎但				_			4.皮				
アウト			<u> </u>	<u>ь</u>			円	円		円						
プット			たりコス				円	円	_	円						
()		TIE		単位	立 計画値		1 3	1,1		1 3						
				1 12	実績値				_			年度				
				単位	立計画値											
					実績値				_			年度				
成		指標名		23年度		24年度	25年	度	目標	票値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)			
果	補助金申請	青1件あ	たりの単	単位	立計画値	16,000.00		20,000.00	20,000	.00			補助金額/申		てかずル)	
指	価			円	実績値	17,600.00		18,143.00	_			年度	(一括申請の			
標	堆肥購入卜	- ン数(剤	朝金対	単位	立 計画値	4,000.00		4,000.00	40,000	.00					業の対象と	
アウト	象)			1	ン実績値	3,389.00		4,320.00	_			年度	なった堆肥数	以里		
ル		指標化	できない	成果												

	事務事業の評	価(C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	
	市民のニーズが適正に反映されている	0	
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	
	当初予定した実施項目が達成できた	0	
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0	
	専門性をもった人材を活用できている	_	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市民	市民への情報提供を行っている	_	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)											
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	· 1	とをする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	猪掛 公詩					
4	今年度までに実施した改	善内容			解決でき	ていない課題					
		課題解決	のための改	善内容及び予算への反	映						
	改善項目		予	算(大事業)名	라	対善により予算要求額変更内容					
1											
2											
3											

			事務事業の	の概	要(Pla	an)					
事務事業名	生后	農業振興施設管理運営	営事業		担当部			長興部 地域営農課	電話	0826	
実施期間	平成 24	年 4 月 ~ 平成	25 年 3	月	作成者	比名 会計名	谷川清	^前 │一般会計		(47)4021	
关心别问	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の		H	> ±	款	6	農林水産業費			ł
総合計画					主な 関連	項	1	農業費			
(基本計画)	主要施策	1.産業の振興			予算・ 事業名	B	3	農業振興費			
体系	施策	農業の振興(農業振興	体制の整備)		尹未行	大事業	3	地産地消の推進に要する経	費		事務事業の
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		11 103 - 2 <u>11 1</u> 007			中事業	4	農業振興施設管理運営費			的、対象、
		する市民(農業者等) 流施設利用者。									容を考えな。 ら目的妥当 の評価を行 て下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	農村振興施語	役の維持管理を行い、特	産品の振興と	都市原	農村交流	こよる	農家経	済の安定を図る			
内 容		役の適正な管理。 エ・販売施設の管理運営	i								

				=	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do)					
			23	3年度			2	4年度				2	5年度		事業単位当たり
	コスト	コスト(千円)	財源	(千円)	コス	スト(千円)	財源(千円)	コス	ト (千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	30,426	国県補助金等		直接事業	21,065	国県補助金等			直接事業費		国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
イン	ノフ [°] ット	人件費	4,670	受益者負担	224	人件費	9,243	受益者負担		260	人件費		受益者負担		て下さい。
		合計	,	一般財源等	34,872	合計	-	一般財源等	3	30,048	合計	0	一般財源等	0	
	要人員		0.55	-	人		1.10			人				人	
時間外	ト勤務手当 		119.0	00	千円		151.0)()		千円				千円	
		指標	名 等		23年度		24年度	25年月	Ŧ	今後の (計画	計画値年度)		備 考計算方法、		
	指短	定管理施設		位計画値	8.00		9.00					(指定管理が ゆず加工施調		の庄、川根の森店の	事務事業の目
				設実績値	5.00		4.00	_			年度	原農村交流的	Ė		的やその数値 目標である成
		対 前 ³ コ ス				m	80.00%	_	m			(指定外施語) おさと産品が			果指標などに
		<u>」 </u>	<u>ト</u>			円円	円円	_	円円			イスセンタ・	-、市民農	園、レイン	留意しながら 有効性の評価
		半世当たり		位計画値	_	门		_	门			ボーファー <i>。</i> 向原農村交流			を行って下さ
活	向原	農村交流館		人実績値	492,930.00)	551,420.00	_			年度	1 3/3 (12 13) (1			41°
動・		対 前	年比				111.87%	_							V
		コス	 			円	円		円						"
結果指	!	単位当たり	コスト②			円	円	_	円						
標			単	位計画値											
				実績値				_			年度				
/\			年 比.		_			_							
アウトプット		コス	ト			円	円	_	円						
		単位当たり		位計画値		円	円	_	円						
			#	実績値				_			年度				
			単	位計画値							1/2				
				実績値				_			年度				
_+		指標	名		23年度		24年度	25年度	Ŧ	目標		(指標の	備 考計算方法、	算式等)	
成果	敷地面積1	m ³ 当たり直接	妾事 単	位 計画値								コスト計/延	床面積		
果指	業費			円実績値	4.31		3.62	_			年度				
標			単	位計画値											
アウト				実績値				_			年度				
_አ	:	指標化でき	ない成果	₹											

		事務事業の評価	Ш (С	heck)
	ı	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック	備考欄(留意事項)
		市民のニーズを的確に把握している	0	特産品の振興を図ることで農家経営の安定及び地域特産品開発
		市民のニーズが適正に反映されている	0	による地域振興を図っている。
		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
77	ž	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	×	
妥当	í	国や県と重複のない事務事業である	0	
性		市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
		他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
		(
		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	・指定管理者による、差を適正化するとともに、販売活動を促
		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	進し 自立運営を促す。
		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	
效	1	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	×	
率	3	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
性		人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
		単位あたりコストを削減することはできない	0	
		受益者負担を検証している	0	
		(
		事務事業の効果を適正に把握している	0	
		当初予定した実施項目が達成できた	0	
		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有		目標年度に目標を達成できそうである	0	
対性		目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
		事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
		専門性をもった人材を活用できている	0	
		職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
		(
		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市		市民への情報提供を行っている	0	
民参		さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画		市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
		(
-				

			以音点やラ俊	の取り	組みの方向性(Act	ion)	
資	源配分の方向性	優先的に継続する	継続する		● 縮小して継続する	主務課長氏名	猪掛 公詩
-		他事業と統合する		する	完了した		
		年度までに実施した改善	野内容				ていない課題
複数		を行うことが出来た。 できていなかった施設と	:複数年管理(3	年)を	施設の整理・統廃合方し。	針の策定,「	所管部署の見直し,指定管理料の見直
			課題解決の	ための改	善内容及び予算への反	映	
		改善項目		予	算(大事業)名	갖	対善により予算要求額変更内容
1							
2							
3							

			事務事業の	の概要	更(Pla	an)					
事務事業名		野菜等生産条件整備	事業		担当部作成者		産業扱	長興部 地域営農課	電話	0826 (47)4021	
実施期間	平成 24	年 4 月 ~ 平成	25 年 3	月	11771	会計名	1	一般会計			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり		主な	款	6	農林水産業費			
総合計画	主要施策	1.産業の振興	_		関連	項	1	農業費			
(基本計画)	工女肥果	1.庄未♡加兴			予算・ 事業名		3	農業振興費			
体系	施策	農業の振興(農業振興	休制の整備)	=	尹未口	大事業	3	地産地消の推進に要する経費	貴		事務事業の目
	,,,,		中間の元間			中事業	2	生産条件整備事業			的、対象、内
対 象 (誰のために)	野菜等の農産	産物の生産者。									容を考えなが ら目的妥当性 の評価を行っ て下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)		の生産者の拡大による生 拡大による周年生産面積									
内 容	パイプハウ		100㎡以上、補	助率3	30%、	補助金	の上限	付拡大など。 1,500千円、ミニハウスは5 (暗渠排水)に係る助成(事			

					<u> </u>	事務事業実	施にな	かかるコス	トと業績	(Do	o)					
				23	年度				4年度				25	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円)			(千円)	コス	<u>し</u> スト (千円)		(千円))	コス	ト(千円)		(千円)	サ末単位当たりコストなどに留
		直接事業費		_	国県補助金等	_	直接事業費		国県補助金等			直接事業費		国県補助金等	1	意しながら効率
ん	ノプット	人件費		— <u>5</u>	受益者負担	_	人件費	5,042	受益者負担			人件費		受益者負担		性の評価を行って下さい。
·	i	合計		0 -	一般財源等	#VALUE!	合計	10,462	一般財源等	1	10,462	合計	7,000	一般財源等	7,000	
必要	要人員			_	·	人		0.60)		人				人	
時間外	勤務手当			_		千円		82.0	0		千円				千円	
		指标	票名	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値年度)		備考計算方法、		
	パイプル	ハウス助	成件数	単位		13.00		15.00	15.0	0			パイプハウス 申請者数	ス等整備に	[係る補助金	事務事業の目
	, . , , ,			件	実績値	8.00		10.00	_			年度	中間日 数			的やその数値 目標である成
				比		_		125.00%	_							果指標などに
			ス	<u> </u>			円	円		円						留意しながら 有効性の評価
		单位当7	こりコス	_	L =1	4.000.00	円	円	-	円			施設の整備回	石 種		を行って下さ
活	パイプル	\ウス整	備面積	単位		4,000.00		4,000.00	4,000.	00		年度	心設の発伸し	即傾		UN.
動		対能	前年」	r 比	実績値	4,190.00		2,822.50 67.36%				平 及				
結結		ZJ E	<u>リーコ</u>	<u>ь</u>			円	円		円						,
果指			<u>へ</u> こりコス				日	H	_	円						
指				単位	対計画値	4.00	1 3	4.00	4.00				暗渠排水整例	前に係る補	助金申請者	
標	暗渠排為	k事業助	成件数	件	実績値	3.00		6.00	_			年度	数			
,		対(前年」	比		_		200.00%	_							
アウト		⊐	ス	+			円	円		円						
プット		単位当力	こり コス	K 3			円	円	_	円						
`				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
				単位												
				<u> </u>	実績値				_			年度				
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標			備 考計算方法、		
成果指	農協盟	野菜等販	売額	単位	_ 0	1,167.90		1,308.60					農協における野 ラガス、青ネギ、	、白ネギ、朝	(弱野菜) の出	
指標		///		百万		1,000.20		1,015.30	_			年度	荷額。(計画値は	は、農協の営	農振興計画)	
/宗 /···································				単位								+ *				
ፖሳኑ				<u> </u>	実績値				_			年度				
加		指標化了	できないが	成果												

		事務事業の評	置 (C	heck)
ľ	ı	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
ſ		市民のニーズを的確に把握している	0	・農協、県等の関係機関と協力し、野菜プロジェクトを策定し
ı		市民のニーズが適正に反映されている	X	各種事業の推進を行っている。 ・特にパイプハウス等施設化の推進による野菜等の周年栽培体
ı		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	系の確立、圃場の排水対策が野菜の生産拡大への課題である。
ı		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	・ハウス助成は新規就農者の参入促進、小規模農家の農業所得 確保対策として事業の効率的実施を図っている。
ı	妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
ı	妥当	国や県と重複のない事務事業である	_	
l	性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
		他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
ı		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
ı		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
L		(
ſ		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	
ı		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
ı		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	
ı	効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	X	
ı	率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
ı	性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
ı		単位あたりコストを削減することはできない	0	
ı		受益者負担を検証している	0	
		(
		事務事業の効果を適正に把握している	0	・施設整備に対する補助制度により、野菜等の栽培面積拡大及
ı		当初予定した実施項目が達成できた	0	び生産量・販売額の増加につながっている。 ・農業技術指導員及び農協指導員を中心に就農塾を開催、安定
ı		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	栽培・周年生産体系の推進を図る施設整備、農業経営改善のた
ı		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	めの複式簿記講座の開催をし農業生産者の育成・確保を図っている。
ı	有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	V 100
ı	性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
ı		事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
ı		専門性をもった人材を活用できている	_	
		職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
		(
1		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	ホームページに補助事業の案内掲載
ı	市	市民への情報提供を行っている	0	
	民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
	画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
L		(

		改善点や今後の	取り組みの方向性	(Action)						
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		● 縮小して継んる 完了した	売する。 主務課長氏名	8 猪掛 公詩					
	今年度までに実施した改善		解決できていない課題							
施設化を行い野菜	(アスパラガス) の生産扱	な大を図った。	要綱等の見直し	。(ミニハウスB	助成の廃止の検討)					
		課題解決のため	めの改善内容及び予算	への反映						
	改善項目		予算(大事業)名		改善により予算要求額変更内容					
1										
2										
3										

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率 性の評価を行っ て下さい。

事務事業の目的やその数値目標である成果指標などに

			事務事業の)概要(Pi	an)							
事務事業名		ほ場整備事業		担当			辰興部 農林水産課 ・廣田・末長	電話	0826 (42)4022			
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	27 年 3	月	会計名	1	一般会計		(12,112			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	<u></u> 主な	款	6	農林水産事業費					
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費					
(基本計画)	工女肥米	1. 庄未の派典		予算・事業名		6	農村整備費					
体系	施策	農業の振興(農業基盤	の整備)	尹未行	大事業	5	土地改良に要する経費			事務事業の目		
					中事業	3	は場整備事業費			的、対象、内		
対 象 (誰のために)	は場整備実施	施予定地域受益者。また	なおし(単市補)的一一一						容を考えなが ら目的妥当性 の評価を行っ て下さい。		
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	生産性の高い	ハ農業を振興し、担い手	-の確保・育成を	図る								
内 容	説明。	日は場整備事業継続地区の事業実施。 〇新規地区の事業の地域説明会の実施。 〇地区界の決定。 〇換地・評価業務のは明。 〇新規地区の援助。 〇各種団体への負担金・会費納入。 〇まちなおし事業の単市補助事業業務。 〇県営事業の分担金の徴集及び納付。 〇土地改良区等は場整備等償還助成の支出。										

								–							
					Ę	事務事業実	施に	こかかるコス	トと業績	(Do)				
			2	23年	度			2	4年度				25	5年度	
	スト	コスト	(千円)		財源	(千円)		スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)
		直接事業費	292,37	8 国県	具補助金等	201,353	直接事	311,713	国県補助金等	19	99,049	直接事業費	134,071	国県補助金等	88,608
ん	ノフット	人件費	14,34	5 受持	益者負担	42,660	人作	‡費 17,060	受益者負担	4	47,918	人件費		受益者負担	18,900
*		合計	306,72	3 —	般財源等	62,710	合	計 328,773	一般財源等	1	81,806	合計	134,071	一般財源等	26,563
必要	要人員	Ì	1.7	71		人		2.05	5		人				人
時間外	勤務手当		195	.00		千円		115.0	00		千円				千円
		指標	名 等			23年度		24年度			今後の (計画	計画値存度)	備 考 (指標の計算方法、)		算式等)
	旧兴市	**中华地区	<u>È</u>	単位	計画値	1.00		1.00	0.00)			H23年度	-	
	宗呂事	業実施地区	致	件	実績値	1.00		1.00	_			年度	小原Ⅱ期地図 H24年度	×	
		対 前	年 比			_		100.00%	_				小原Ⅱ期地図	\overline{x}	
		コース	ζ	 		1,390,000	円	690,000 円		円			H25年度 県営事業無し		
		単位当たり)コスト	1		1,390,000.00	円	690,000.00 円	-	円				,	
活	団体学	事業実施地区	マ 数 📙	単位	計画値	3.00		3.00	2.00)			H23年度	 	下甲立地区
動	2 F-C -			件 実績(3.00		3.00	_			年度	H24年度	往地区、	下中立地区
•		対 前	年 比			_		100.00%	_					桂地区、	下甲立地区
結果指標		コスト			290,668,034	1 4	310,522,969 円		円			H25年度	下甲立地区		
未 指		単位当たり		_		96,889,344.67			_	— 円					
標	単市社	甫助実施件数	≝ ⁄7 ■	単位	計画値	5.00		1.00					H23年度 まちなおし	, 5件	
		11 34		件	実績値	5.00		1.00	_			年度	H24年度		
		対前	年 比			1 (20,000		20.00%	_				まちなおし	ノ 1件	
アウトフット		コース		<u> </u>		1,639,000	1 4	500,000 円		円					
		単位当たり		_	=1:=:#	327,800.00	円	500,000.00 円	_	円					
				単位	計画値実績値							年度			
			È	単位	計画値							牛皮			
				∓ IU	実績値				_			年度			
		指標	票名		人順但	23年度		24年度	25年	度	目標	票値	(指標の)	備考計算方法、	(発力)
成			4	当位	計画値	95.00		95.50					整備面積/要		7,2407
果	B	場整備率		<u>≠ш</u> %	実績値	95.10		95.60	_			年度	(3,057,0/	3,196,6	ha)
果指標				単位	計画値	75.10		75.00				T/X			
/*****			F		実績値				_			年度			
アウト カム		指標化できない成果													

	事務事業の評	価(C	Check)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	〇地域要望の事業という点においては、市民のニーズを的確に
	市民のニーズが適正に反映されている	X	把握していると言えるが、補助事業においては、非補助部の要
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	市補助事業においては、予算内での執行という事もあり、市民
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	×	】ニーズに対応できていない。 - ○農地の区画整理、道水路、暗渠排水等総合的整備を行う事に
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	ると、世界のは、世界のは、世界が、中間の世界をはいる。との、一般の一般には、世界の一般の一般には、世界の一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	めるが、事業要件である法人の経営の安定化を図る必要があ
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	_	ే.
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	〇補助事業においては、計画から事業認可までの時間がかかる
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	「ため、即効性には欠ける。 ○単市、まちなおしについては、個人的な事業となるため地域
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	全体としての取り組みにはならない。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	○採択要件に、法人の設立があるため地域事情により法人設立
	当初予定した実施項目が達成できた	X	が難しく事業実施が困難な地域もある。また、事業実施に時間 がかかり、事業年は4~5年程度となる事から事業完了までの
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	期間が長い。
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	_	
1	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	X	
	専門性をもった人材を活用できている	_	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X]
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	同上
市	市民への情報提供を行っている	0	1
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	1
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_]
	(1
			•

			改善点や今	後の取り	組みの方向性(Act	tion)						
7	資源配分の方向性	● 優先的に継続する	継続する		縮小して継続する	主務課長氏名	ſ	t Q	木	靖		
	, (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	他事業と統合する	休止、廃」	とをする	完了Uた C C C C C C C C C C C C C C C C C C C							
L		年度までに実施した改善			解決できていない課題							
异	現在実施している 記了するよう事業推	吉田町桂地区。甲田町7 進をしている。	下甲立地区のほ	場整備を	〇農業生産法人設立のする場合がある。 〇単市補助事業におい 〇要整備面積はあるがまで農業経営をする地	ては、財源確 、農業経営者	保が困難で で で で で で で で で で で で で で で り で り で り	· ある。				
			課題解決	のための改	双善内容及び予算への反	映						
		改善項目		予	算(大事業)名	改	善により予	算要求	額変更	巨内容		
(1		改善項目 法人経営を含めた地域 地域営農課との連携が必		予	算(大事業)名 一	人件費のみの						
(2	必要となる。(対	法人経営を含めた地域		予	算 <mark>(大事業)名</mark> 一							

		事	務事業の概	既要(Pla	an)					
事務事業名		ため池整備事業		担当部作成者		産業担 五島	辰興部 農林水産課	電話	0826 (42)4022	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 27	年 3 月		会計名	1	一般会計			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流のまちて	づくり	主な	款	6	農林水産業費			
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費			
(基本計画)	工女肥米	1.连来の派典		予算・ 事業名		6	農村整備費			
体系	施策	農業の振興(農業基盤の整備	書)	尹未位	大事業	5	土地改良事業に要する経費			事務事業の目
	,,,,		ĦĴ		中事業	6	水利施設整備事業費			的、対象、内
対 象 (誰のために)	農業用ため流	也受益者等								容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)		農業用ため池を改修し、災害勢の生命財産を守る。	発生の未然防	〕止を図り.	、安定的	的な農	業用水の確保と維持管理労力]の軽洞	に資すると	
内 容	ため池受益。 業実施計画な	者等からの改修要望により, E	見地調査をし	,採択可	能か事	業実施			納付。 〇 県事業の事	

		土いた	.砂心釜哺	尹未	学 切。											1
					-	575 *	+/ 1	ーかかフラフ	I		`					
					Ę	事務事業実	他に	かかるコス	トと美績	(Do)				T T	
				23	年度			2	4年度				2	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円)	_		(千円)	⊐	スト(千円)		(千円)	コス	ト (千円)	財源	(千円)	コストなどに留意しながら効率
,		直接事業費			国県補助金等		直接事		国県補助金等		0	直接事業費	0	国県補助金等	-	性の評価を行っ
ん	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費		_	受益者負担		人件		受益者負担		0	人件費		受益者負担		て下さい。
3.1-		合計			一般財源等	3,937	合	-	一般財源等		1,664	合計	0	一般財源等		
	要人員).18 1.00		人		0.20			人				人	
時间外	勤務手当		۷	1.00		千円		11.0	U		千円				千円	
		指标	票 名 等	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値年度)		備 考 計算方法、		
	単県・団体	本学事業	宇施件数	単位		1.00		0.00	0.00	1			単県・団体第 H23年度			事務事業の目
				件	実績値	1.00		0.00	_			年度	(H.22繰越	<u>()</u>	<u> </u>	的やその数値 目標である成
				七		_		0.00%	_				H.24年度	予定なし		果指標などに
			ス	<u> </u>		3,033,000	_	0 円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当7	たりコス	_		3,033,000.00	円	#DIV/0! 円	_	円						を行って下さ
活				単位								左曲				ل _د ا،
動		対	前年上	レ	実績値				_			年度				
・ 幺 生			<u> </u>	<u>ا</u>			円	円	_	円						T.
結果指標			<u>^</u> たりコス				円	円	_	円						
指	,	+123/	こりコス	単位	立 計画値		1 1	11		1						
憬				-	実績値				_			年度				
		対前	前年上	七		_			_							
アウト		⊐	ス	-			円	円		円						
プット		単位当為	たりコス	- 3			円	円	-	円						
\/				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
E#;		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標	票値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
成果				単位	計画値											
果指標					実績値				_			年度				
標				単位	_											
アウト					実績値				_			年度				ĺ
<u>አ</u> ፈ		指標化	できない。	成果												

		事務事業の評価	ਜ਼ (C	heck)
	[チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック	備考欄(留意事項)
		市民のニーズを的確に把握している	0	〇地域要望の事業という点においては、市民のニーズを的確に
		市民のニーズが適正に反映されている	X	把握していると言える。また、単市補助事業においては、予算 内での執行という事もあり、市民ニーズに対応できていない。
		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
2	7	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
지 장	É	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	ŧ	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
		他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	X	
		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
		(
		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	○補助事業においては、計画から事業認可までの時間がかかり
		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	<u> </u>	即効性には欠けるため、老朽ため池整備等危険ため池の整備 は、落水管理等の管理が必要となる。
		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	は、石が日廷子の日廷の必及である。
交	h	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	
互	<u> </u>	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	ŧ	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
		単位あたりコストを削減することはできない	0	
		受益者負担を検証している	0	
		(
		事務事業の効果を適正に把握している	0	○採択要件に、法人の設立があるため地域事情により法人設立
		当初予定した実施項目が達成できた	_	が難しく事業実施が困難な地域もある。また、事業実施に時間 がかかり、事業年は2年程度となる事から事業完了までの期間
		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	が長い。
		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有交		目標年度に目標を達成できそうである	_	
	±	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
		事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
		専門性をもった人材を活用できている	X	
		職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
		(
		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
1		市民への情報提供を行っている	0	
巨		さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
Ī		市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
		(

			改善点や今	後の取り	組みの方向性(A	ction)				
2	資源配分の方向性	優先的に継続する			縮小して継続する	5 主務課長氏名	Į.	生 々	木	靖
		他事業と統合する	休止、廃」	とをする	完了した					
		今年度までに実施した改	善内容			解決でき	ていない課	題		
		で県がため池調査を実施地確認をし、地元説明を		なため池	○平成24年度から、 池緊急整備事業がう とも地元負担金が、 ○市単独事業では、 ○平成22・23年度 いては、県と現地確 で事業実施できてい	運用されて、) 必要となるため 財源確保が困難で県がため池記 認をし、地元記	去人要件は紛め事業化がで が事業化がで 難である。 調査を実施し	観れされ ごきてい 人、特に	nたが、 Nない。 □危険7	、改修・廃止 なため池につ
			課題解決	のための改	(善内容及び予算への	反映				
		改善項目		予	算(大事業)名	2	対善により予	算要求	額変更	内容
1		ハての地元認識を高めて 元負担金の調整をお願い			_	人件費のみ	の増減による	るもの ⁻	で予算	額の変更なし
2)									
3)									

											-
			事務事業の概	既要(Pla	an)						
事務事業名		水利施設等整備事	業	担当部		産業担	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	水産課	電話	0826 (47)4022	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	27 年 3 月		会計名	1	一般会計	- 里丁		(17) 1022	
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	6	農林水産事	業費			l h
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費				l
(基本計画)	土安旭宋	1. 生未の振興		予算・ 事業名		6	農村整備費				
体系	施策	農業の振興(農業基盤	の敕借)	争未行	大事業	5	土地改良事	業に要する経費			事務事業の日
			の定備)		中事業	2	水利施設等	整備事業費	1 1 臨時	持交付金事業	的、対象、内
対 象 (誰のために)	かんがい排え	水事業受益者等									容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)		排水の整備を実施するこ 設を効率よく整備するこ				の生産	性の向上を図	ଅିର.			
内容		の事業実施。 〇かんか 事業・単県事業の事業実 排水事業事務。	い排水受益者等力 施計画をたてる。								

					=	事務事業実施	施に	かかるコス	トと業績	(Do)					
				232	拝度			2	4年度				25	5年度		事業単位当たり
⊐	スト	コス	ト(千円))	財源	(千円)	<u>ار</u>	スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	16,1	158 🗏	県補助金等	854	直接事業	22,850	国県補助金等		3,600	直接事業費	1,134	国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
イン	ノプット	人件費	5,8	372 曼	益者負担	1,290	人件	費 4,993	受益者負担		2,170	人件費		受益者負担		て下さい。
		合計	•		般財源等	19,886	合計	-		2	2,073	合計	1,134	一般財源等	1,134	
	要人員			0.70		人		0.60	-		人				人	
時間外	勤務手当		80	0.00		千円		34.0	0		千円				千円	, '
		指标	漂 名 等	等		23年度		24年度	25年	安	今後の (計画		(指標の記	備 考計算方法、	算式等)	
	単県・団体	木学事業	宝施供数	単位	計画値	1.00		2.00	0.00				単県・団体語 H23年度		件数	事務事業の目
	十八四	エロチ ル		件	実績値	1.00		2.00	_			年度	「というな」			的やその数値 目標である成
			前年上			_		200.00%	_				H24年度 農業体質強化			果指標などに
			ス	<u> </u>		5,470,000	1.4	7,236,600 円		円			辰未冲貝短1 H24上小原	L		留意しながら 有効性の評価
		単位当為	たりコス	_		/ /	円 3	3,618,300.00 円	_	円				左/ 上 坐左		有効性の評価 を行って下さ
活	県営	営事業件	数	単位	0. —.—	1.00		2.00	0.00				県営事業実施 H23年度			ψ)。
動		ಕರ ಕ	** 左	件	実績値	1.00		2.00	_			年度	H24年度	2件(桂	用水ポン	
結結		T L	前 年 b ス	北 <u></u>		3,442,000	Ш	8,470,000 円	_	円			プ)			Ţ
果指			<u>^</u> たりコス			, ,	1.4	4,235,000.00 円	_	田						
指				単位	計画値	30.00	11	30.00	20.00	1.1			単市補助事業	美実施件数	ζ	
標	単市補助	助事業申	請件数	件	実績値	13.00		24.00	_			年度	H23年度 H24年度			
		対	前年上	七	ı	_		184.62%	_				口乙44段	Z41 +		
アウト		⊐	ス	-		7,246,000	円	7,144,000 円		円						
プット	į	単位当	たりコス	K 3		557,384.62	円:	297,666.67 円	_	円						
` <i>\</i>				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
				単位	計画値		T									
					実績値				_			年度				
成		指	標名			23年度		24年度	25年	安	目標			備 考計算方法、	算式等)	
果	かんがい掛	非水施設	改修箇所	単位	計画値	1.00		1.00					単県事業の第	4.12.4		
指	数			件	実績値	1.00		1.00	_			年度	上小原地区			
標	かんがい排	非水施設	改修箇所	単位	0. —.—	0.00							団体営事業の	D実績		
アウト	数			箇所	実績値	0.00			_			年度				
加	1	指標化	できない。	成果												

	事務事業の評価	m (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	地区の要望を取りまとめ、事業計画の採択をし、事業実施と
	市民のニーズが適正に反映されている	0	なるため、地元住民のニーズ等は的確に反映される。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
74	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当		0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	_	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	()		
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	県営・団体営事業については、事業実施までに長い年月がか
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	かる。 老朽化により改修の必要な箇所はあるが、地元負担金が負担
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	できないなどの理由で実施できない場合もある。
玅	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	単県事業では、法人の設立、又、経営地域であることなど事
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	業要件が厳しく、地域の事情により営農体制に差があり、地元の取りまとめが必要であり、地元要望に答えられないことがあ
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	ි
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	×	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	地区の要望を取りまとめ、事業計画の採択をし、事業実施と
	当初予定した実施項目が達成できた	0	なるため、地元住民のニーズ等は的確に反映される。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有效	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性		0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市		0	
天 参	さんさんな場面ではたに対して参加の機式が促出されている	0	
画		_	
	(

	改善点や今	後の取り	組みの方向性(Act	ion)	
	資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する休止、廃」	上をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐尺木 靖
	今年度までに実施した改善内容			解決でき	ていない課題
				差があり、カ	ることなど事業要件が厳しく、地域の 也元の取りまとめが必要であり、地元
	課題解決	のための改	善内容及び予算への反	映	
	改善項目	予	算(大事業)名	改	善により予算要求額変更内容
(1	集落において法人化を含めた営農体制の確立を推進する。			人件費のみの	の対応によるため予算は増減しない。
2	単独補助事業による未改修箇所の整備	土地改良事	事業に要する経費	単独補助事	業により単年度整備費
	3)				

												I
			事務事業の	既要(Pla	an)							
事務事業名		農道整備事業		担当部				農林水產		電話	0826	
0 000 000		элешия эт		作成者	氏名	岡山	一則	末長	量平		(47)4022	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	27 年 3 月	3	会計名	1	一般会	計				
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	6	農林水	産業]
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費					1
(基本計画)	工女爬來	1, 庄耒の旅典		予算・	目	5	農村整	備費				
体系	施策	毎米の行命(毎米甘鈴	の軟件)	事業名	大事業	5	土地改	良事業に	こ要する経費			事務事業の目
	施策	農業の振興(農業基盤	の発哺)		中事業	5	農道整	備事業費	B			的、対象、内
対 象	農道整備事	業受益者等										容を考えながら目的妥当性
(誰のために)												の評価を行って下さい。
- "	農業生産に	おける流通合理化、農産	物荷傷み防止、空	上活環境改	善及び	地域活	性化を図	図る。				C revi
目 的 (対象をどのような												
状態にしたいか)												
	県営農道整備	扁継続地区の事業実施。	県営事業負担会	金の納付。	地元	からの	改修要望	望により	、現地調査	を行い、	採択可能か	1
			業・単県事業の	事業実施計	画を立	てる。	設計	委託・エ	事発注・エ	事監督・	地元分担金	1
. 9	の徴収等の	事務。 単市農道舗装事	業。農道台帳	怪備事務。								
												i 🔪

											,					ı
						事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do)					
				23	年度			2	4年度				2	5年度		事業単位当たり
⊐	スト	コスト	· (千円))	財源	(千円)	コス	(十円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	49,4	185	国県補助金等	28,900	直接事業費	53,552	国県補助金等		4,000	直接事業費	23,270	国県補助金等	6,050	意しながら効率 性の評価を行っ
イン	プット	人件費	8,1	137 5	受益者負担	0	人件費	4,161	受益者負担		0	人件費		受益者負担		て下さい。
		合計	57,6	522 -	一般財源等	28,722	合計	57,713	一般財源等	Ę	53,713	合計	23,270	一般財源等	17,220	
	要人員).97		人		0.50			人				人	V V
時間外	勤務手当		11	0.00)	千円		28.0	0		千円				千円	"
		指標	名(等		23年度		24年度	25年	度	今後の記 (計画 ⁴		(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)	
	県 党事	業実施地	区数	単位	計画値	1.00		1.00					県営事業実施 平成23年		HA HA	事務事業の目
	Ж П	* / ////		地区	実績値	1.00		1.00	_			年度	平成23年原			的やその数値 目標である成
			年上			_		100.00%	_							果指標などに
			ス	<u> </u>		, ,	1.4	8,000,000 円		円						留意しながら
	<u> </u>	単位当た	りコス	_	_	20,000,000.00	円 18	,,	_	円				****	-+W-C-7 #h	有効性の評価 を行って下さ
活	単県・団体 数	大学事業実	『施地区	単位		6.00		2.00				ter atr	単県・団体第 平成23年原			ų).
動	2 X	++ > 4	: /= L	地区	実績値	6.00		2.00	_			年度	平成24年	度 2地区	<u> </u>	
• %±		<u>対前</u> コ	i 年 i ス			24.802.000	m	33.33% 7.992.000 ⊞	_	m						W.
結果		<u>」</u> 単位当た	-	<u>ト</u>		4,133,666.67	1 4	. , ,	_	円円						
果指	-	半世当に	.ワコス	単代	_	62.00	7 3,	30.00		[]			単市農道舗装			
標	単市社	補助事業件	‡数	件		62.00		34.00	_			年度	平成23年	度 舗装	[7件	
		前 校	i 年 上		ے ایکرانے	_		54.84%	_			1/2	地域密着型器 平成23年			
アウト			<u></u>	<u> </u>		25,000,000	円 2	5,563,250 円		円			平成24年	隻 30	件	
プット	į	単位当た	りコス	<u>-</u>		403,225.81	円 7	51,860.29 円	_	円			葬祭場関連	単市舗装	4件	
\/	** /-	ct-ct-+/-7:T	=	単位	計画値	20,665.00							単県・団体語	営事業累計	-	
	単年	度実施延	技	m	実績値	20,665.00			_			年度				
				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標(目標)		(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)	
果指				単位	計画値	-										
指					実績値				_			年度				
標 				単位	0. —.											
アウト					実績値				_			年度				
<u></u> አለ	1	指標化で	きない。	或果												

	事務事業の評	⊞ (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	地区の要望を取りまとめ、事業計画の採択をし、事業実施と
	市民のニーズが適正に反映されている	0	なるため、地元住民のニーズ等は的確に反映される。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	X	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	_	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	県営・団体営事業については、実施までに長い年月がかかる。
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	│ 地元負担率は、実施当初のものを引き継ぐため、中途での変 │更はできない。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	新規で行う場合は、市で定める負担基準によるが、国・県の
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	補助率、又公共性など状況に応じて見直しをする必要がある。
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	単県事業では、法人の設立、又、経営地域であることなど事
	当初予定した実施項目が達成できた	X	業要件が厳しく、地域の事情により営農体制に差があり、地元 の取りまとめが必要であり、地元要望に答えられないことがあ
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	る。
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	X	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	()		

	改善点や今	後の取り	組みの方向性(Act	ion)	
資	優先的に継続する ● 継続する 他事業と統合する 休止、廃」	上をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐々木 靖
	今年度までに実施した改善内容			解決でき	ていない課題
			択要件になっている。 地域事情により、営 される。	農体制に差か	学生産法人の経営地域であることが採があり、要件をクリアする地域が限定合った財源確保が困難である。
	課題解決	のための改	善内容及び予算への反	映	
	課題解決 改善項目		善内容及び予算への反算(大事業)名		善により予算要求額変更内容
1				改	善により予算要求額変更内容 の対応によるため予算は増減しない。
1	改善項目 集落において法人化を含めた営農体制の確立を推進す	予算		人件費のみの	
1 2 3	改善項目 集落において法人化を含めた営農体制の確立を推進す る。	予算	算(大事業)名 —	人件費のみの	の対応によるため予算は増減しない。

事務事業の概要(Plan)										
事務事業名	t	いんがい排水維持管理事業	担当		産業技	長興部 農林水産課 量平 岡山 一則	電話	0826 (47)4022		
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 27 年 3	月	会計名	1	一般会計				
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流のまちづくり	主な	款	6	農林水産業費				
総合計画	主要施策	1.産業の振興	関連	項	1	農業費				
(基本計画)	工文元次	1. 注采 • 万瓜六	予算・ 事業名		6	農村整備費				
体系	施策	農業の振興(農業基盤の整備)	尹禾山	大事業	2	農業用施設の維持管理に要	する経済	費	事務事業の目	
対 象 (誰のために)	かんかい辞え	水維持管理受益者等							容を考えなから目的妥当性の評価を行って下さい。	
かんがい排水施設維持のため必要な経費の支払をするとともに、施設の管理団体へ助成することにより農業生産基盤の適正 対象をどのような 状態にしたいか) 大総にしたいか)										
短います。										

																l 🗼
					=	事務事業実	施に	こかかるコス	トと業績	(Do	o)					
				234	丰度			2	4年度				2	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円))	財源	(千円)		スト(千円)	財源	(千円)	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	12,8	307 ቜ	県補助金等		直接事	業費 15,818	国県補助金等			直接事業費	10,886	国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
イン	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費			益者負担		人件		受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
		合計	15,1		-般財源等	,	合語				18,731	合計	10,886	一般財源等	•	
_	要人員).28		人		0.3			人				人	, ,
時間外	勤務手当		3	2.00		千円	Ц	20.0	10		千円				千円	
		指标	票名	等		23年度		24年度	25年	度		計画値 i年度)	(指標の語	備 考 計算方法、	算式等)	
	簸川かん			単位	計画値	1.00		1.00	1.00				簸川かんぱい	1		事務事業の目
	((八千代)		件	実績値	1.00		1.00	_			年度				的やその数値 目標である成
			前年上			_		100.00%	_							果指標などに
		<u> </u>	ス	<u> </u>		10,514,122		13,088,000 円		円						留意しながら
		単位当	たりコス				円:	13,088,000.00 円	_	円			+13 H1 / TH1 - T-1	イル业		有効性の評価 を行って下さ
活	ħ	通門件数	Į.	単位		4.00		4.00	4.00				樋門管理委託 山手・福原		長屋	u <mark>).</mark>
動		<u> </u>	노 /= L	件	実績値	4.00		4.00	_			年度	1			
• %±		対削	前 年 b ス	<u>ر</u> ۲		266,046	Ш	100.00%	_	m						V
結果			<u> </u>			66,511.50	1 4	266,046 円 66,511.50 円	_	円円						
果指		半世3/	こりコス	単位	計画値	2.00	门	2.00	0.00	门			H23 簸川	かんぱい	バルブ修繕	
標	緊急網	総合経済	対策	件	実績値	2.00		1.00	0.00			年度		減圧槽フロ		
		対前	前年上	<u>'''</u> 七	人顺但	_		50.00%	_			十汉				
アウト			ス	<u> </u>		1,627,000	Д	2,464,350 円		円						
プット		単位当力	たりコス	<u>-</u>				2,464,350.00 円	_	円						
\ <i>!</i>				単位	計画値											1
					実績値				_			年度				
				単位	計画値											1
					実績値				_			年度				
†		指	標名			23年度		24年度	25年	度		票値 年度)	(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)	
成果				単位	計画値											
果指標					実績値	_			_			年度				
				単位	計画値											
アウト					実績値				_			年度				
カム		指標化了	できない。	或果												

	事務事業の評価	面 (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	農業生産の基盤となる農業用施設の維持管理、特にかんがい
	市民のニーズが適正に反映されている	×	排水施設の維持管理について、地元負担により適正な維持管理 をする必要がある。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	X	29 02 Q N U U U
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	×	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	×	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	かんがい排水施設の維持管理について、簸川かんばい施設等
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	八千代町のかんがい排水施設については、受益者による管理が
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	負担が続いている。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	×	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	×	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	×	
	受益者負担を検証している	×	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	市内の樋門の管理については、農業生産基盤を守ることか
	当初予定した実施項目が達成できた	0	ら、引き続き続けていく必要がある。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	×	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	×	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	X	
市民	市民への情報提供を行っている	X	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	X	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	X	
	(

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)											
資源配分の方向	優先的に継続する 他事業と統合する		● 縮小して継続する完了した	主務課長氏名	佐々木 靖						
	今年度までに実施した改善	善内容	解決できていない課題								
	設等八千代町のかんがい持 れての理解を得る。	⊧水施設の維持管理費Φ	簸川かんぱい施設の	ついては、受益	益者負担を徴収すること並びに現状 推持管理費用の軽減を図る必要があ						
		課題解決のための	改善内容及び予算への反	映							
	改善項目	:	予算(大事業)名	改善	により予算要求額変更内容						
① 適正な維持管	理形態の検討、受益者負担	の徴収		受益者負担が得 なる。	られれば、維持管理費の市負担分は減と						

			'										ī
事務事業の概要(Plan)													
事務事業名		農道維持管理事	業 業		担当的			長興部	農林水産課	.1	電話	0826	1
					作成者		末長		岡山 一貝	IJ		(47)4022	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	27 年 3	月		会計名	1	一般会	計				1
	基本方針	方針 Ⅳ多彩な生産と交流のまちづくり				款	6	農林才	〈産業費				
総合計画	主要施策	1.産業の振興			主な 関連	項	1	農業費					
(基本計画)	工女儿以外	1.注来♥別級與			予算・ 事業名		6	農村塾	Y 備費				
体系	施策	農業の振興(農業基盤		争未行	大事業	2	農業用	施設の維持管	理に要	する経費	費	事務事業の目	
		辰未り派典(辰未至益	(の発開)			中事業	1	農道網	持管理費	11	臨時多	交付金事業	的、対象、内
	農道維持管理	理受益者等											容を考えなが
対 (誰のために)													ら目的妥当性 の評価を行っ
(82-3/2-3/0)													て下さい。
目 的	農業生産基盤	盤の適正な維持管理を行	い受益者の利	便性	の向上を	図る。	•			•	•		
(対象をどのような													
状態にしたいか)													
		善・維持工事の発注及で 第四に係る対象は関係と											
内 容	○辰追維持領	管理に係る補修材料の供	、										
													k.
													•

																l 🗼
					Ę	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do)					
				234	年度			2	4年度				2	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト (千円)	_		(千円)	コス	(十円)		(千円)	コス	ト(千円)		(千円)	コストなどに留 意しながら効率
·		直接事業費	,		県補助金等		直接事業		国県補助金等			直接事業費	1,594	国県補助金等		性の評価を行っ
(1)	/フ [°] ット	人件費 合計			是益者負担 -般財源等	2,093	人件費 合計	-	受益者負担 一般財源等		4,205	人件費 合計	1 504	受益者負担	1,594	て下さい。
ואו	要人員		,	0.08	政別原守	人		0.3!			人	5 合計 1,594 一般財源等 1,594 人				
	勤務手当			0.00		<u> </u>		20.0			千円		千円			, I
		指	標名等	等		23年度		24年度	25年	度	今後の	計画値年度)	(指標の	備 考計算方法、		
	典冶纵体	一述 (文)	工事件数	単位	計画値	0.00		0.00	1.00				農道の維持神)発注件数	事務事業の目
	辰坦維打	· 多(明)	工事计数	件	実績値	2.00		1.00	_			年度		1件 2件		的やその数値 目標である成
			前年上	七		_		50.00%	_					1件		果指標などに
		<u> </u>	ス	<u> </u>		413,700		388,500 円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当	たりコス	単位	計画値	206,850.00 0.00	円 3	88,500.00 円	1.00	円			農道維持管I	甲に伴う雑	修材料の仕	を行って下さ
活	維持補何	修材料供	共給件数	件	実績値	1.00		2.00	1.00			年度	給件数		819101440JK	y).
動・		拉	前年上		NIQ IE	-		200.00%	_			一大区		4件 1件		
結			ス	<u>-</u>		30,450	円	228,900 円		円			H.24年度			η
果指	!	単位当	たりコス	\2		30,450.00	円 1	14,450.00 円	_	円						
拒 標	単市社	補助事業	兰 (牛类)	単位	計画値	9.00		0.00	1.00				単市補助事業	業のうち、	農道舗装件	
,	+151			件	実績値	9.00		0.00	_			年度	数 H.22年度	〇件		
·			前 年 5	_		-	_	0.00%	_					9件 0件		
アウトフット		₩₩₩.	ス たりコス	<u>ト</u>		2,451,000		円円	_	円田			11,274/2	OII		
L		半四三	にりコス	単位	計画値	217,500.00	円	门	_	门						
				+111	実績値				_			年度				
				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度		票値 年度)	(指標の記	備 考計算方法、	算式等)	
果				単位	計画値											
果指揮					実績値				_			年度				
標 ;·······.				単位								F.~				
アウト					実績値	市が管理して	ている	農道について	<u>-</u> アスフュ	2 JI, F:	等に よ	年度 の路面		とにより		
<u></u> አለ		指標化	できない。	 成果				につながって		701	41CQ	·ノルロ出	IIII CII JC			

	事務事業の評価	Ш (С	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	農道の補修等については、安芸高田市農道維持管理規則に基
	市民のニーズが適正に反映されている	×	づき実施しており、舗装の補修及び砕石による補修が主な内容 である。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	地元からは、その他の補修等の要望もあり、ニーズについて
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	×	は相違が生じる場合がある。
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	×	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	×	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	地元からの要望に対応するためには予算の確保が必要であるが、現場では、予算の管理である。
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	が、現状では、予算の範囲での補修の対応しか出来ていない。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	_	限られた予算の範囲での補修を対応しているため、応急的で
	当初予定した実施項目が達成できた	0	あり根本的な補修になっていない面がある。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	受益者との役割分担を含め、検討する必要がある。
市	市民への情報提供を行っている	X	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	X	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	X	
	(

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)												
次	資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		とをする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐々木	靖				
	Ş	5年度までに実施した改	J善内容		解決できていない課題							
					維持補修内容と住民 農道台帳の整備が出 い箇所が把握できてい	来ていないは	目違への対応。 也区が有り、全体の整	備ができていな				
			課題解決	のための改	は善内容及び予算への反	映						
		改善項目		予	算(大事業)名	也	(善により予算要求額)	变更内容				
1	住民ニーズに応し	じた維持管理内容の検討	र्ष	農業用施設 経費	役の維持管理に要する		よることで経費が節減 こするには、予算額の増					
			ĺ	委託料			整備にかかる委託料約	り60キロ分の調査				
2	農道台帳の整備			3 004		が必要とな	り、予算額の増が必要	更となる。				

事務事業の概要(Plan)												
事務事業名		公園等維持管理事業		担当部		産業排森田		林水産	法子	電話	0826 (47)4022	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 27 4	年 3 月		会計名	1	一般会計					
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流のまちづく	くり	主な	款	6	農林水産	業費				
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費					1
(基本計画)	工女儿也来	1./主宋 0.7]成兴		予算・ 事業名	B	6	農村整備	費				
体系	施策	農業の振興(農業基盤の整備))	尹未口	大事業				寺管理に要	する経費	貴	事務事業の目
	,,,,				中事業	3	公園等維持	持管理費	貴			的、対象、内
対 象 (誰のために)	農村公園維持	守管埋団体										容を考えながら目的妥当性 の評価を行って下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	目 的 対象をどのような											
農村公園の指定管理委託、丸山公園の水道代・下水使用料・電気料の支出、ふるさと河原公園・尾原親水公園除草委託、八 十代シャクナゲ園・香六ダム公園借地料、												

					事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do	o)					
			2	3年度			2	4年度				21	5年度		***********
	スト	コスト((千円)		<u></u> スト(千円)		(千円)	コス	ト (千円)		(千円)	事業単位当たりコストなどに留
		直接事業費		国県補助金領	_	直接事業		国県補助金等			直接事業費		国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
イン	_' プット	人件費	1,510	受益者負担	1	人件		受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
*******		合計		一般財源等	2,769	合計	-	一般財源等		2,852	合計	1,287	一般財源等	1,287	
	要人員		0.18		人		0.18							人	
時間外	勤務手当		21.0	0	千円		10.0	0		千円			H+ ++/	千円	
		指標	名 等		23年度		24年度	25年	度		計画値 i年度)	(指標の語	備 考計算方法、	算式等)	
	農村	公園箇所数		位 計画値			13.00	13.0	0			市が設置し		園を維持管	事務事業の目
	בואמו		籄	所 実績値	13.00		13.00	_			年度	水・根野農村	寸・勝田農	村・末石農	的やその数値 目標である成
			年 比		_		100.00%	_				村・四季の5			果指標などに
		<u>コ ス</u> 単位当たり	•			円	円円	_	円円			狩山砂防・			留意しながら 有効性の評価
		半世ヨたり		位 計画値	1	円	円		门						を行って下さ
活				実績値				_			年度				41.
動・		対 前	年 比		_			_							
		コス	. ト	•		円	円		円						η
結果指		単位当たり	コスト②	2)		円	円	_	円						
標			単	位 計画値											
			-	実績個				_			年度				
(T)		対 前 コ ス	年 比		_	ш	m	_	m						
アウト		<u>」 </u>				円円	円円	_	円円						
		+世当たり		位 計画値		1 1	1.1		1						
				実績値				_			年度				
			単	位 計画値											
				実績値	<u> </u>			_			年度				
جہے		指標	名		23年度		24年度	25年	 度		票値 年度)	(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)	
成果			単	位 計画値											
果指標				実績値				_			年度				
· 標			単	位計画個											
アウト				実績値				_			年度				
ከ Δ		指標化でき	ない成果												

	事務事業の評	価(C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	農村公園の建設当時には、県営・団体営の事業により実施し
	市民のニーズが適正に反映されている	0	ており、地域の要望により実施しているもので、住民ニーズ等 は的確に反映されている。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	X	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	X	
羿	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	X	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	X	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	これまでの様々な経緯の中で造られた施設であり、中途での
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	廃止は考えられないが、社会情勢等を考慮しながら見直しを行 う必要がある。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	525X 00 00
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	X	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	X	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	X	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	現在の維持管理状況を確認しながら、地域住民とともに管理の
	当初予定した実施項目が達成できた	0	方法の見直しを行う必要がある。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	X	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	X	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	X	
市	市民への情報提供を行っている	X	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	×	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	X	
	(

	改善点や今後の取り組みの方向性(Action)											
資源配	分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐尺木 靖					
	4	6年度までに実施した改	善内容		解決できていない課題							
					が、指定管理を行って を行う必要がある。	いない施設もが設置されて	管理を行っているものも大多数である 5あるので、一貫性を持った維持管理 こいるものもあり、維持管理(修繕を なる。					
			課題解決	のための改	(善内容及び予算への反	映						
		改善項目		予	算(大事業)名	改	善により予算要求額変更内容					
1												
2												
3												

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

て下さい。

事務事業の目的やその数値

目標である成果指標などに

留意しながら 有効性の評価

を行って下さ

			事務事業の	の概要	更(Pla	an)					
事務事業名	農地	也・農業用施設災害	復旧事業		担当音	1 0-1-		長興部 農林水産課	電話	0826	
				作成者	氏名	 天長	・廣田		(47)4022		
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	27 年 3	月		会計名	1	一般会計			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり		主な	款	11	災害復旧費 6農林水産業	養		
総合計画	主要施策	1.産業の振興			関連	項	1	農林水産施設災害復旧費	1農業費	Briv	
(基本計画)	土安肥宋	1. 生未り派典			予算・	目	1.2	農地災害復旧費・農業用施設災害	復旧費	6農村整備費	
体系	施策	毎米の行命(毎米甘泉	の軟件)	=	事業名	大事業	1.1	農地災害復旧費・農業用施設災害復旧費 2農業	業用施設の維	詳特管理に要する経費	事務事業の目
	ル 東	農業の振興(農業基盤	100釜浦)			中事業	1•1	農地災害復旧費・農業用施設災害復旧費 5歳	農業用施設等	等維持活動支援事業	的、対象、内
対 (誰のために)	梅雨前線やお	台風災害により,農地・	農業用施設に災	災害を	受けた	各受益	者等				容を考えなから目的妥当性 の評価を行って下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)		台風災害により,農地・ 复旧工事を実施し,各受						らの申請により,国庫補助事	業・単	作補助事業	
内 容	工事監督・村		事務を行う。国					るか判断し,設計委託・災害 場合,単市補助による災害復			

				<u> </u>	事務事業実	施に	こかかるコス	トと業績	(Do)				
			23	年度			2	4年度				2	5年度	
	スト	コスト(千円	3)	財源	(千円)	-	スト(千円)		(千円))	コス	ト (千円)		(千円)
		直接事業費 78	3,810 ᠍	県補助金等	65,320	直接事	25,065	国県補助金等	1	19,304	直接事業費	0	国県補助金等	(
化	ノフット	人件費 7	',718 §	受益者負担	3,106	人作	‡費 3,329	受益者負担		2,068	人件費		受益者負担	(
٠	⁶	合計 86	,528 -	-般財源等	18,102	合	計 28,394	一般財源等		7,022	合計	0	一般財源等	(
必要	要人員	·	0.92		人		0.40)		人				人
時間外	勤務手当	1	.05.00		千円		22.0	0		千円				千円
		指標名	等		23年度	24年度				今後の計画値 (計画年度)		(指標の	備 考 計算方法、	算式等)
	曲州巛雪	書復旧事業件数	単位	計画値	31.00	00 9.0		0.00	00				事業(国庫	補助)の件
	辰地火	古怪旧争未计划	件	実績値	22.00		9.00				年度	数 H23年度:		
		対 前 年 比			_		40.91%	-				H24年度 H24年は5		【23年災)
					25,791,150	円	15,876,250 円		円			112 44169	(B/A U	
	!	単位当たりコスト①			1,172,325.00	円	1,764,027.78 円	_	円					
活		農業用施設災害復旧事業件 単位 計画		計画値	26.00		5.00	0.00				農業用施設災 助)の件数	害復旧事業	. (国庫補
動	数		件	実績値	21.00		5.00	_			年度	H23年度		
•		対 前 年	比		_		23.81%	_				H24年度 H24年は災		(23年災)
結果		コス	<u> </u>		53,018,700	1 4	7,607,250 円		円					
岩		単位当たりコス			2,524,700.00	円		-	円				い巛宝怎に	古光件料
標	小災害単同数 数	5補助事業申請件			20.00		6.00	6.00			/	市単独での/ H23年度	小火音後に	争耒什奴
	&A	対 前 年	比比	実績値	16.00		11.00 68.75%	_			年度	農地 12	2件 施設	4件
			<u>ы</u> -		2,397,000	Ш	1,582,000 円		円			H24年度 農地 (6件 施設	5件
アウトプット		<u> </u>			149,812.50		, , , , ,	_	円					
L)		十四コにジョン	単位	計画値	149,012.50	l J	143,010.10]		1.1					
				実績値				_			年度			
			単位	計画値										
				実績値				_			年度			
成		指標を	,		23年度		24年度	25年	度	目標		(指標の	備 考計算方法、	算式等)
果指	農地巛雪	書復旧事業件数	単位	計画値	31.00		9.00					災害発生状況	兄により変	動
指	及地外已	コダロチ木IT奴	箇所	実績値	22.00		9.00	_			年度			<u> </u>
標		8災害復旧事業件			26.00		5.00					災害発生状況	兄により変	動
アウト	数		箇所	実績値	21.00	- E	5.00		-1)	/// 	年度		+ ^>-/-/-	+/= \cdot
_{カム}		指標化できない				なり、予測でき の機能は果たさ			災害復	旧個所	についてはす	いて復旧	を行い農	

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 市民のニーズを的確に把握している ○○災害発生後に早急な対応が求められている。 ○地元対応でなどでどうしても人員は必要である。 市民のニーズが適正に反映されている 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 0 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 0 他の事務事業と統合できない事務事業である 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている 〇昨年度のように災害のない年もあるが、大きな災害のあった 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 年には緊急な人員対応をせねばならない状況が発生する。発生 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である してはじめて査定準備や地元対応などの事務量の増が発生する 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 ことから一概に効率性を求めた人員配置では対応に限度があ 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 0 0 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 0 単位あたりコストを削減することはできない 0 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している ○国庫補助事業では補助率が高いことから受益者の負担が大幅 こ軽減されるため有効である。 0 当初予定した実施項目が達成できた 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 0 0 目標年度に目標を達成できそうである 0 目的が達成できるような事務事業の内容である 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 0 専門性をもった人材を活用できている 0 職員の能力開発のための対策は十分になされている 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 市民への情報提供を行っている 0 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている

改善点や今	後の取り	組みの方向性(Act	ion)							
資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する休止、廃止	上をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐々木 靖						
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題								
		事業の対象外となっ 復旧計画から再災害								
課題解決	のための改	暦内容及び予算への反	映							
改善項目	予	算(大事業)名	な	は善により予算要求額変更内容						
① 構造上、欠陥箇所への改善対策		の維持管理に要する経費 業に要する経費	市民要望により変動							
②構造上、欠陥箇所への改善対策	土地改良事	事業に要する経費	県営工事を	含めて、予算規模が増額する。						
3										

										•
			事務事業の	概要(Pl	an)					
事務事業名		土地改良区運営助成	事業	担当		産業技	電話	0826		
				作成者	_	岩見			(47)4022	
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成		月	会計名		一般会計			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	6	農林水産業費			
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費			
(基本計画)	工女儿也来	1.注来の派共		予算・ 事業名	目	5	農村整備費			
体系	施策	農業の振興(農業基盤	の敕借)	尹未行	大事業	1	農村整備に要する経費			事務事業の目
		辰未の旅祭(辰未至监	の発伸を		中事業	2	土地改良区等運営事業費			的、対象、内
対 (誰のために)	安芸高田市	土地改良協議会・甲田町	小原土地改良区	・吉田町土	地改良	区・高	田郡簸川土地改良区・向原田	打土地改	(良区	容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	吉田町土地で	土地改良協議会・甲田町 牧良区・高田郡簸川土地				惜入償	還金助成			C PGVI.
内 容	補助金により	O助成								

					3	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do	o)					
				00/									0	5年度		
_	コスト	77	ト(千円)	231		(千円)	+	<u></u> スト (千円)	4年度	(千円)	77	ト (千円)		(千円)	事業単位当たり コストなどに留
	171,	直接事業費		_	県補助金等	(111)	直接事		国県補助金等	(111))	直接事業費	25,866		(111)	意しながら効率
·····································	ノプット	人件費	- /-		A		人件	.,	受益者負担			人件費		受益者負担		性の評価を行っ て下さい。
\		合計	40,3	37 -	-般財源等	40,337	7 合語	36,945	一般財源等	;	36,945	合計	25,866	一般財源等	25,866	CT CVI
必要	要人員		1	.00		人		0.90)		人			•	人	
時間外	勤務手当		11	4.00		千円		50.0	0		千円				千円	\ '
		指	標名	等		23年度		24年度	25年	度		計画値 注度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	B力F		- 迷り	単位	計画値	5.00		5.00	5.00	1						事務事業の目
	14,11:			件	実績値	5.00		5.00	_			年度				的やその数値 目標である成
			前年上			_		100.00%	_							果指標などに
			ス	<u> </u>		39,762,853		29,455,494 円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当	たりコスト	ト(1) 単位	計画値	7,952,570.60) 円:	5,891,098.80 円	_	円						を行って下さ
活				半四	実績値				_			年度				u).
動・		対i	前年上	<u>'</u> '.	入顺尼	_			_			一大汉				V
結			<u> ス</u>	<u> </u>			円	円		円						ir ir
果指		単位当	たりコスト	\ 2			円	円	_	円						
指標				単位	計画値											
1234					実績値				_			年度				
<i>-</i>			前年上	_		_			_							
アウト プット		<u> </u>	ス	<u> </u>			円	円		円						
7 %		単位当	たりコスト	単位	計画値		円	円	_	円						
				半四	実績値				_			年度				
				単位								711				
					実績値				_			年度				
را ب		指	標名			23年度		24年度	25年	度		票値 (年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
成果				単位	計画値											
指					実績値				_			年度				
標				単位												
アウト					実績値				_			年度				
<u></u>		指標化	できない原	成果												

	事務事業の評	価 (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	_	協議会及び改良区への助成により団体の健全な運営を図る。
	市民のニーズが適正に反映されている	_	当助成により改良区組合員の負担の軽減となっている。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	_	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	
	当初予定した実施項目が達成できた	0	
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市民	市民への情報提供を行っている	_	
参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

改善点や今後	改善点や今後の取り組みの方向性(Action)												
資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する休止、廃止	縮小して継続する 上をする 完了した	· <mark>主務課長氏名</mark> 佐 々 木 靖											
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題											
土地改良区の合併のついて検討してきたが、様々な課題するのは困難との判断をし、平成20年度から7土地改良区として事務委託を受け運営を行っている。													
課題解決	のための改善内容及び予算への反	映											
改善項目	予算(大事業)名	改善により予算要求額変更内容											
1													
2													
3													

			事務事業の	の概要(F	Plan)							
事務事業名		森林普及振興事	業		担当部課 産業振興部 農林水産課 作成者氏名 森田 修				0826 (47)4022			
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	25 年 3	月	会計名	1	一般会計	(11,112	i			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	うまちづくり		款	6	農林水産業費					
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	2	林業費					
(基本計画)	工女肥米	1. 连来の派典		予算・事業名	, 🗏	1	林業総務費					
体系	施策	林業の振興		尹未亡	大事業	1	林業総務管理に要する経費			事務事業の		
	,,,,				中事業	2	林業総務管理費			的、対象、 容を考えな		
対 象 (誰のために)	中事業 2 林業総務管理費											
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)							•					
内容	林業関係機関、ボランティア団体への負担金、会費、助成金等の支払い。											

					=	事務事業実	態に	かかるコス	トと業績	(Do	0)					
				22	左庄			0	1年度				01	左在		
_	コスト	77	ト(千円		年度	(千円)	 _ -	<u>∠</u> スト(千円)	4年度	(千円	`	77	<u></u>	5年度 _{84%}	(千円)	事業単位当たり コストなどに留
_		直接事業費		_	別 // 以 国県補助金等	(TH)	直接事業	_	只 is 国 景補助金等	(TI))	直接事業費	I	国県補助金等	ı	意しながら効率
	ノプット	人件費			受益者負担		人件		受益者負担			人件費	-,, -0	受益者負担		性の評価を行っ
		合計			一般財源等	1.68					2,948	合計	1,716	一般財源等		て下さい。
必	要人員			0.10		人		0.25	5		人		,		人	
時間外	小勤務手当		1	11.00		千円	ī	14.0	0		千円				千円	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
		指	標名	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	A1005+	+/ = *++		単位	立計画値	10.00		10.00	10.0)			林業関係団体	本への負担	金	事務事業の目
	貝担金を文	払つ綵M	関係団体数	団位	本 実績値	10.00		10.00	_			年度				的やその数値
		対i	前年	比		_		100.00%	_							目標である成 果指標などに
		\supset	ス	1			円	円		円						留意しながら
		単位当	たりコス				円	円	_	円			/3 a di #50			有効性の評価 を行って下さ
活	森林ボラ	ンティ	ア団体数	単位	- 0	1.00		1.00	1.00				緑の少年団			u).
動		कंत :		団体	本 実績値	1.00		1.00	_			年度				
· 結			<u>前 年</u> ス	比 ト			円	100.00%	_	円						₩.
果指			たりコス				円	円	_	円						
指標		1 12 2	, , , ,	単位	立計画値		1 3	1.7		1.3						
尓					実績値				_			年度				
,		対i	前年	比	•	_			_							
アウト		⊐	ス	7			円	円		円						
プット		単位当	たりコス				円	円	_	円						
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				単位												
				云 1-	実績値				_			年度				
				単位	計画値実績値				_			年度				
					大視厄						D+i			備考		
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度	(目標	票値 年度)	(指標の語	計算方法、	算式等)	
成果指				単位					_			左在				
指標				単化	実績値計画値				_			年度				
121				+1	実績値				_			年度				
アウトカム		指標化	できない	成果	2 SHARIE							1 13				

			heck)
Γ	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	_	林業関係団体への負担金を拠出することにより、森林・林業事
	市民のニーズが適正に反映されている	_	業への発展へ寄与するため実施する必要がある。また、みどり の少年団へ補助を行うことにより、森林への関心を高め普及啓
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	X	発を図る。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	X	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	X	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	×	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	X	
[他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	X	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	_	林業関係団体への負担金を拠出することにより、森林・林業
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	事業への発展へ寄与している。 みどりの少年団へ補助を行うことにより、森林への関心を高
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	め普及啓発を図っている。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	X	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	X	林業関係団体への負担金を拠出することにより、森林・林業
	当初予定した実施項目が達成できた	0	事業への発展へ寄与している。 みどりの少年団へ補助を行うことにより、森林への関心を高
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	め普及啓発を図っている。
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	_	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	X	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
1	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている		対象団体のみへ情報提供を行っている。
	市民への情報提供を行っている	_	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている		
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	()		

	以普只	やう後の取り	組みの刀向性(ACI	tion)		
資源配分の方向性	優先的に継続する ● 継続 他事業と統合する 休止	する 、廃止をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐々木	靖
4	年度までに実施した改善内容			解決できていた	ない課題	
	課題	運解決のための ご	女善内容及び予算への反	映		
	改善項目	予	算(大事業)名	改善に	より予算要求額変更	巨内容
1						
2						
3						
Ŭ						

			事務事業の)概要(Pla	an)					
事務事業名	森林	整備地域活動支援交	電話	0826 (47)4022						
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成	25 年 3	月	会計名	1	一般会計			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	6	農林水産業費			
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	2	林業費			
(基本計画)	工女肥米	1.座来♡加典		予算・事業名	B	2	林業振興費			
体系	施策	林業の振興		争未行	大事業	1	林業普及振興事業に関する	経費		事務事業の目
	旭水	柳来♥別級興			中事業	3	森林整備地域活動支援交付	金事業費	曹	的、対象、内
		所有者 域活動支援交付金⇒支援 理事業⇒(利用対象者			有者・	森林組	合)			容を考えなから目的妥当性 の評価を行って下さい。
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	森林経営計画益的機能の発		ごすることにより)、効率的な	木材流	通体制	の強化と安定的な木材生産量	- の増加]、森林の公	
内 容	②施業集約(③作業路網(計画作成に係る情報収集 化の促進のための森林調 の点検、改良。 を実施された事業体に交	查、境界調查、				・施業界の確認、合意形成等	÷.		

					<u>=</u>	事務事業実	施にな	かかるコス	トと業績	(Do	o)					
				23	年度			2	4年度				25	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円)			(千円)	コス	ト (千円)		(千円))	コス	ト (千円)		(千円)	コストなどに留
,,,,,,,,		直接事業費	7,	019	国県補助金等	5,263	直接事業費		国県補助金等		1,725	直接事業費	1,900	国県補助金等	1,425	意しながら効率 性の評価を行っ
イン	/フ [°] ット	人件費	,		受益者負担		人件費	·	受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
\ / =		合計	•		一般財源等	3,014	合計	,	一般財源等		3,488	合計	1,900	一般財源等	475	
	要人員 勤務手当			0.15 7.00		人 千円		0.3 ¹			人 千円				人 千円	
미되티기	初初于当	指:	標名			23年度		24年度	25年	度	今後の	計画値	(指標の)	備考計算方法、		
				畄仏	立計画値	27.00		27.00			(iiie	17/2/	森林整備地域			東路東業の日
	協定	締結団	体数		本実績値	27.00		16.00	_			年度	の協定締結	団体数(平	成19年度 成19年度	事務事業の目的やその数値
		対i	前年」	比		_		59.26%	_				~平成24年 27団体のう	ち、11回	団体を統合。	目標である成 果指標などに
		⊐	ス	1			円	円		円			(27団体→	·16団体)		留意しながら
		単位当	たりコス	_			円	円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
活	協力	定締結面	積	単位		2.015.04		2.015.04	_			年度	森林整備地域の協定締結。		受付金事業	4).
動		ŻŪ i	前年」	ha H:	実績値	3,015.94		3,015.94	_			平及				
· 結			<u>。</u> フ	<u> </u>			円	円		円						ग
果指		単位当	たりコス	\2			円	円	_	円						
指標				単位	立計画値											
1/31					実績値				_			年度				
/******``````			前 年 」			_		_	_							
アウトプット		出	ス	<u> </u>			円	円	_	円						
		半 位3.	たりコス	単位	立 計画値		円	円	_	円						
				+12	実績値				_			年度				
				単位												
					実績値				_			年度				
#		指	標名			23年度		24年度	25年	度		票値 年度)	(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)	
成果				単位	立 計画値											
果指揮					実績値				_			年度				
標 .·······.				単位					_			H				
アウト				<u> </u>	実績値				_			年度				
_λ Δ		指標化	できない	成果												

	事務事業の評価		neck)
ı	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	森林整備地域活動支援交付金事業により、森林経営計画の作
	市民のニーズが適正に反映されている	0	成促進を図り、施業の集約化の促進、作業路網の改良活動を実施する。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	الله عن الله ع
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
<u> 77</u>	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当性	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	_	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	協定締結者(安芸北森林組合)が中心となり、森林所有者の
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	説明会を開催し、森林経営計画の作成、施業の集約化、作業路 網の改良活動を行う。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	_	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	_	
	単位あたりコストを削減することはできない	_	
	受益者負担を検証している	X	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	協定締結者(安芸北森林組合)が中心となり、森林所有者の
	当初予定した実施項目が達成できた	0	説明会を開催し、森林経営計画の作成、施業の集約化、作業路網の改良活動を行う。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	X	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	0	
	(

		改善点や今後	後の取り	組みの方向性(A	Action)				
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する			● 縮小して継続す完了した	主務課長氏名	佐	々 木	靖	
₹.	今年度までに実施した改	善内容			解決でき	ていない課題			
		課題解決	のための改	善内容及び予算への	-				
	改善項目		予算	算(大事業)名	改	善により予算	要求額	变更内容	
1									
2									
3									

的、対象、内

容を考えなが

ら目的妥当性

の評価を行っ

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

て下さい。

事務事業の目的やその数値

目標である成果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

		事務事業の構	既要(Pla	an)				
事務事業名		ひろしまの森づくり事業	担当部	1 0-11	産業排	長興部 農林水産課 修	電話	0826 (47)4022
実施期間	平成 19	年 1 月 ~ 平成 25 年 3 月		会計名	1	一般会計		
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流のまちづくり	主な	款	6	農林水産業費		
総合計画	主要施策	1.産業の振興	関連	項	2	林業費		
(基本計画)	土安心尔	1. 生未の振興	予算・		2	林業振興費		
体系	施策	林業の振興	事業名	大事業	1	林業普及振興事業に要する	経費	
	旭米	が来りが英		中事業	5	ひろしまの森づくり事業費		
対 (誰のために)	森林所有者	森林利用者						
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)		おける環境・鳥獣害対策、森林への関心を 人工林の再生、里山林の整備、森林・林業 守り育てる)						
内 容	度より5年間 【環境貢献権	ら始まった「ひろしまの森づくり県民税」 間延長) 林整備事業】森林所有者への意向調査、事 D森づくり(交付金事業)】事業要望整備	業要望照	会。整	備計画	書の審査。補助金申請受付~		

				_											
					lini	事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	i (Do	o)				
				23	3年度			2	4年度				2	5年度	
	コスト	コスト	ト (千円)			(千円)	コス	スト (千円)	財源	(千円))	コス	(ト (千円)	1	(千円)
		直接事業費	35,€	546 F	国県補助金等	35,600	直接事業	35,518	国県補助金等	:	34,600	直接事業費	29,910	国県補助金等	29,600
ん	ンプット	人件費	3,3	356	受益者負担		人件費	4,993	受益者負担			人件費		受益者負担	
		合計	39,0)02 -	一般財源等	3,402	合計	+ 40,511	一般財源等		5,911	合計	29,910	一般財源等	310
	要人員			0.40		人		0.60			人				人
時間外	卜勤務手当		4/	6.00	Ī	千円		34.0	<u>/O</u>		千円				千円
		指標	票 名 等	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	D計画値 画年度)	度)(指標の計算方法、算式等		
	環境酮	貢献利整備	着面積	単位	立計画値	44.00	\Box	44.00	44.00	0			環境貢献林野		
	<u></u>	(単年)		ha	実績値	38.50		36.37	_	'		年度	】整備囬稹。5 ■交林への誘導		こよる針広混 等を実施す
		対 前		比		_		94.47%	_				る。	3	C/
			ス	۲			円	円		円			1		
		単位当た	こりコス	_			円	円		円				· · · · - ·	
活	里山	主山怀在阴山惊 (光左)				16.90		18.00		18.00		!	里山林整備等 面積(天然		3里山林整備
動	<u> </u>	1.121			a 実績値	23.60	_	16.50	_	'		年度	住民団体や	NPO等のE	自らの企
•		対前		比		_	_	69.92%	_				画・立案・E 林・林業体験		
結果		出	ス	<u>۲</u>			円	円		円				次/白玉が、いっ	八次で い
果指		単位当に	こりコスト	_	- この広		円	円	_	円					
標	1		ļ	単位	立 計画値 実績値	 	-		_	!		年度	1		
		対 前	前年上	L 比	大順心		_					牛皮	1		
アウト			<u>リート</u> ス	<u>и</u> -		 	円	円		円			1		
プット			<u>^</u> こりコス l				円	円		円			4		
()		+ :	- 7	単位	立計画値		13			-					
	1		ļ		実績値		+		_	—		年度			
				単位	立計画値		$\overline{}$	-		—		$\overline{}$			
	1		!		実績値				_			年度			
БŮ		指	標名			23年度		24年度	25年	度		標値 標年度)		備 考計算方法、	
成果指	理情言南	試林累積整	攻備而積	単位	立計画値	222.61		262.61	302.6	302.61 環境貢献林整備事業によ整備面積		よる人工林			
指	坏vuseiw	パヤオマンスエ	的	ha		217.80		254.17	_	- 「中没 」					
標	里山木	木累積整備	黄面積	単位		93.80		113.80	面積 (王然林友対免)			里山林整備			
アウト	ha <mark>実績値</mark> 95.50 112.00 - 年度 田頂 (スカボイル とろう)						1-1-2-1-7 - 1-								
カム	住民団体やNPO等の目らの企画・立案・取組みへの支援や森林・林業体験活動への支援を行っ)支援を行つ							

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 ○ 本事業は「ひろしまの森づくり県民税」を財源に平成19年度 市民のニーズを的確に把握している から5ヵ年の事業であり、平成24年度より5ヵ年間の継続が 市民のニーズが適正に反映されている 0 決定している。 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている X 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である 性 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 0 他の事務事業と統合できない事務事業である 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている X 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 0 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある \times 0 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 0 単位あたりコストを削減することはできない X 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している 地域振興会等が事業主体となり、地域活動の一環として森林整 0 備を行うことにより、事業の効果とともに地域振興に寄与して 0 当初予定した実施項目が達成できた ハる。 0 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した X 目標年度に目標を達成できそうである 目的が達成できるような事務事業の内容である 0 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている \times 職員の能力開発のための対策は十分になされている X 里山林整備については、住民団体やNPO等自らの企画・立 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 案・取組みへの支援や森林・林業体験活動への支援を行ってい 市民への情報提供を行っている 0 る。事業の周知ができていない面もあるので、PR活動を積極 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている X 的に行う必要がある。 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている 0

		改善点や今後	後の取り	組みの方向性(Ac	ction)				
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	● 継続する 休止、廃」	をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐	マ オ	片 靖	
Ş	6年度までに実施した改善	善内容			解決できてい	ない課題			
		課題解決	のための改	善内容及び予算への反	支映				
	改善項目		予	算(大事業)名	改善は	こより予算	要求額	変更内容	
1									
2									
3		-							

的、対象、内

容を考えなが

ら目的妥当性 の評価を行っ て下さい。

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率 性の評価を行っ て下さい。

事務事業の目 的やその数値 目標である成 果指標などに 留意しながら 有効性の評価 を行って下さ

内

容

					事	務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Do)				
				23	年度			24	4年度				2	5年度	
	コスト	コス	ト(千円))	財源	(千円)	コフ	スト (千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)
		直接事業費	1,8	869 E	国県補助金等		直接事業	1,525	国県補助金等			直接事業費	1,501	国県補助金等	
イン	ノプット	人件費	1,5	510 5	受益者負担		人件費	1,581	受益者負担			人件費		受益者負担	
		合計	•		一般財源等	3,379	合計	,	一般財源等		3,106	合計	1,501	一般財源等	1,501
	要人員).18		人		0.19			人				人
時間外	勤務手当		2	1.00		千円		11.00	0		千円				千円
		指机	票名等	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値年度)		備 考計算方法、	
	林学	振興施設	企 数	単位	立計画値	2.00		2.00	2.00)			エコヴィレ		1、面山森林
	1117-	:JJX 		箇列) 実績値	2.00		2.00	_			年度	公園の施設管	含理程質	
			前年上			_		100.00%	_						
			ス	<u> </u>			円	円		円					
		単位当為	こりコス				円	円	_	円					
活				単位											
動		승규 술	前年上		実績値				_			年度			
· 結		対削	前 年 b ス	七 ト			円	円	_	円					
果指			<u>^</u> こりコス				円	円	_	円					
指		+12-7	こうコスト	単位	方 計画値		1 1	1.1		1 1					
標				, ,_	実績値				_			年度			
		対前	前年上	t		_			_						
アウト		⊐	ス	+			円	円		円					
プット		単位当為	こりコス	- 3			円	円	_	円					
`				単位	立 計画値										
					実績値				_			年度			
				単位											
					実績値				_			年度			
成.		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標		(指標の記	備考 計算方法、	算式等)
成果指		利用人数		単位											
指揮	(エコヴ	ィレツシ	いれりり	人		150.00			_			年度			
·標 ·············		利用人数 山森林公		単位		50.00	\perp					F 05			
アウト	(田)	ᆚᆥᄼ	·전1/	人	実績値	50.00			_			年度			
加		指標化了	できない。	 成果											

	事務事業の評	Ш (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	地元の行事や、地元と都市部との交流に利用されているが、利
	市民のニーズが適正に反映されている	0	用者数が限られている。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	X	
翌	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	X	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	X	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	X	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	X	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	施設の老朽化が進んでおり、毎年何らかの修繕を行っている。
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	費用対効果を検証して今後の方針を決定していく時期にきてい る。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	0.
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	X	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	X	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	X	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	
	当初予定した実施項目が達成できた	0	
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	X	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	X	
市	市民への情報提供を行っている	X	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	X	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	X	
	(

		改善点や今後	後の取り	組みの方向性(Ac	tion)			
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐人	? 木	靖
4	テ年度までに実施した改 ではまでに実施した改	善内容			解決できてい	ない課題		
				両施設は、合併以前 修繕が頻繁に発生して 費用対効果を検証し	いる。			
		課題解決	のための改	(善内容及び予算への反	映			
	改善項目		予	算(大事業)名	改善に	より予算要認	求額変更	内容
1								
2								
3								

事務事業の概要(Plan)													
事務事業名		造林事業 担当部課 産業振興部 農林水産課 0826 作成者氏名 森田 修											
実施期間	平成 16	THE POLICE OF TH											
7 (100) (31)	基本方針 IV 多彩な生産と交流のまちづくり 款 6 農林水産業費												
総合計画	主要施策	1.産業の	が作品			関連	項	2	林業費				
(基本計画)	土女心宋	1.庄耒0.	が発			予算・ 事業名		2	林業振興費				
体系	施策	林業の揺	三品			争未行	大事業	2	造林事業に要する経費				
	א טוו						中事業	1	分収造林事業費(2)流域公益	保全林	整備事業		
対 象 (誰のために)	分収契約関係	系者。 茅	森林所有者で柔	系林整備事業実	施老	fi。 安芸i	高田市	民。					
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	・林林別有有で林林登開事業夫配有に中年独での補助を行い、 東担の軽減を図る。												
内 容	・分収林の施業を業務委託により実施する。(下刈、間伐、除伐、枝打など) ・業務委託設計、発注、調査、検査の業務。 ・森林整備事業実施者への単市補助事務。造林関係団体への負担金の支出。												

的、対象、内

容を考えなが

ら目的妥当性

の評価を行っ

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

事務事業の目的やその数値

目標である成果指標などに

留意しながら 有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

て下さい。

						事務事業実施	施にな	かかるコス	トと業績	(Do	o)				
				234	年度			2	4年度				2	5年度	
⊐	スト	コスト(干円) 財源(干 ^{直溶手実費} 28,896 国県補助金等				(千円)	コス	ト (千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)
		直接事業費	28,8	96 🖪	県補助金等	25,950	直接事業費	28,004	国県補助金等	i	27,160	直接事業費	34,388	国県補助金等	32,114
イン	/プット	人件費	5,0	33 🕏	受益者負担		人件費	4,577	受益者負担			人件費		受益者負担	
		合計	33,9	29 -	-般財源等	7,979	合計	,	一般財源等		5,421	合計	34,388	一般財源等	2,274
	要人員			0.60		人		0.55			人				人
時間外	勤務手当		68	8.00		千円	Ц,	31.0	0		千円				千円
		指標	票 名 等	等		23年度		24年度	25年	度		計画値年度)	(指標の語	備 考計算方法、	算式等)
	公瓜	林整備面	語	単位	計画値	10.70		4.35	4.15	5			公的分収林の		
	7,47			ha	実績値	10.70		4.35	_			年度	(分収林とは 成13年まで		
		対 育		t		_		40.65%	_				度の契約をし	している。	6対4、7
			ス	<u> </u>			円	円		円			対3程度の対成林に向け、		
	<u>!</u>	単位当た	E りコスト				円	円	_	円			ために適切な	な施業を行	っている。
活	市有	林整備面	磧	単位		0.00		0.00	5.00	1			市有林の森村	M 整備 他 美	田 頼
動			 -	ha	実績値	0.00		0.00	_			年度			
• 4+		対前	が 年 b ス				m	#DIV/0!	_	ш					
結果		当	<u>ス</u> 5りコス l	<u>ト</u>			円円	円	_	円円					
指		半四当人	_りコス	単位	計画値	30.67	门	30.67	0.00	-			森林所有者	で、森林整	猫事業の実
標	造林補即	助事業対	象面積	≠ <u>iii</u> ha		30.67		30.67	0.00	'		年度	施者に対し		
		対 前	1 年 上		NIA IC	_		100.00%	_			一人			
アウト			ス	<u> </u>			円	円		円					
プット	j	単位当た	こりコスト	<u>.</u> -(3)			円	円	_	円					
\ <i>\</i>				単位	計画値										
					実績値				_			年度			
				単位	計画値										
					実績値				_			年度			
ct;		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標	票値 年度)	(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)
成果				単位	計画値										
指					実績値				_			年度			
標 				単位	- U										
アウト					実績値				_			年度			
加厶	1	指標化で	ごきない原	成果											

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 ・分収林については、森林所有者と市が分収契約をし、森林整 市民のニーズを的確に把握している **備を実施していることから、他団体が実施主体になれないので** 市民のニーズが適正に反映されている 担当課で行う必要がある。 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である ・市有林についても同様である。関心が薄くなっている民有林 の森林所有者で、森林整備事業実施者に単市補助を交付し、民 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 有林の森林整備を促進している。 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である 性 0 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 0 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている X 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている ・山の状況により適期適施業を行うため、国等の補助を活用し 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている 0 効率的に実施している。 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している 分収林・市有林整備とも適期適施業をすることにより、森林 0 の価値を上げ公益的機能を発揮させている。 X 当初予定した実施項目が達成できた 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した X 目標年度に目標を達成できそうである 目的が達成できるような事務事業の内容である 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている X 専門性をもった人材を活用できている \times \times 職員の能力開発のための対策は十分になされている 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 市民への情報提供を行っている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている

	改善点や今後の取り組みの方向性(Action)											
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する)	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	佐々木 靖						
≦.	今年度までに実施した改善	善内容			解決でき	ていない課題						
			0 13	D参入により、今後に	おいても木材	まざまな対策を講じているが輸入外材 対価格の改善の見込みが今現在も無い がら施業を継続していくか検討する必						
		課題解決のため	の改善	善内容及び予算への反	映							
	改善項目		予算	(大事業)名	27	対善により予算要求額変更内容						
1												
2												
3												

的、対象、内

容を考えなが

ら目的妥当性

の評価を行っ

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

て下さい。

事務事業の目 的やその数値

目標である成 果指標などに

留意しながら 有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

事務事業の概要(Plan)															
事務事業名		林道整備事業		担当普	『課	産業扱	長興部 農林水産課	電話	0826						
子奶子木口		祁 尼正備学术		作成者	氏名	川森博	專継	400	(47)4022						
実施期間	平成 16														
	基本方針 №多彩な生産と交流のまちづくり														
総合計画	・ 主要施策 1 産業の振興 関連 関連 2 林業費														
(基本計画)	主要施策 1.産業の振興 予算・ 日 2 林業振興費														
体系	事業名 大事業 3 林道整備に要する経費														
	虎 宋	施 株業の振興 内事業 1 本 本 大事業 3 本 本 大事業 1 本 本 大事業 1 本 2 本 3 よ 3 <tr< td=""></tr<>													
対 (誰のために)	○林道開設事 ○林道維持管	事業受益者及び林道沿線住民。 管理受益者。													
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)		D交通の利便性を図り,生活理 D維持管理に対し助成をし, k			管理費	の低減	を図る。								
内 容	〇継続地区林道天王山線の林道開設事業実施。 〇工事発注・工事監督等の事務。 〇既設林道の林道維持管理受益者のできない維持工事の発注・監督・支払事務。 〇生活関連林道の除草業務委託。 〇林道維持管理受益者へ維持補修材料の支給及び機械借上料の助成。														

															•
						事務事業実施	施に	かかるコス	トと業績	(Do)				
			2	23年	度			2	4年度				25	5年度	
	スト	コスト	(千円)	T		(千円)		スト (千円)		(千円))	コス	ト (千円)		(千円)
		直接事業費	39,298	3 国県	具補助金等	22,366	直接事	* 118,385	国県補助金等	6	6,828	直接事業費	146,861	国県補助金等	90,636
イン	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費	4,614	4 受	益者負担		人件	- 費 7,490	受益者負担			人件費		受益者負担	
***************************************		合計	43,912	2 - 1	般財源等	21,546	合語	125,875	一般財源等	5	9,047	合計	146,861	一般財源等	56,225
	要人員		0.5			人		0.90							人
時間外	勤務手当		63.0	00		千円	Щ	50.0	0		千円				千円
		指標	名 等			23年度		24年度	25年	度	今後の (計画		備 考 (指標の計算方法、算式等		
	**	首開設延長	È	単位	計画値	100.00		1,833.00	39,720.00				林道天王山約		
	1717	旦州政延及	E	各線	実績値	67.90		1,670.00	_			年度	L=971m 林道入江戸!	L=33m 急線 (H.2)	
		対 前	年 比			_		2459.50%	_				L=5,017m		
		コ ス ト 単位当たりコスト①				19,429,200		112,641,972 円		円			小谷亀谷線 L=2,535m		
						286,144.33	円	67,450.28 円	_	円					
活	林道	首維持路線	_		計画値	119.00		119.00	119.0	0			総延長 TSU, 全路線管理/		
動	林道維持路線 m		実績値	119.00		119.00	_			年度	コストの差に		合い。		
· 結		対 前 年 比		<u>r</u> -				100.00% 5,743,460 円	_	円					
果指		<u>」</u> 単位当たり	•			, ,	円	48,264.37 円	_	円					
指		+123/01		単位	計画値	30,440.71	1 1	40,204.37		1					
標					実績値				_			年度			
		対 前	年 比			_			_						
アウト			スト	`			円	円		円					
プット		単位当たり	クコスト	3			円	円	_	円					
\/			È	単位	計画値										
					実績値				_			年度			
			È	単位	計画値										
					実績値				_			年度			
ь¢		指標名			23年度		24年度	25年	度	目標	年度)		備考 計算方法、	算式等)	
成果指	林	林道整備事業			計画値	5,988.00		8,523.00					計画・実績に	は累計	
指揮	777.	m <mark>実績値</mark>		938.60		2,608.60	_			年度					
標 	林道で発生した事故数 単位 計画値 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			0.00											
アウト						値 0.00					7				
ከ ᠘		指標化でき	きない成績	果			よ維持	可官埋により、	事成も発生	EUC	かり g*:	、利用	有の女王を聞	重味してい	ි

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 ○【林道開設】旧町時代からの継続事業である、林道天王山線 市民のニーズを的確に把握している (H.24完了) 新市建設計画路線である林道入江戸島線である 市民のニーズが適正に反映されている X ため継続する必要がある。 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 【林業専用道】林業の推進を図るため、幹線道路網の整備を行 い、この路線から作業道を出す事により伐採木の搬出が容易に 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 【林道維持】安全な運行を 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 図るため林道の維持修繕を行う。 0 国や県と重複のない事務事業である 性 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 0 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている X 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている 政策的な林道開設であるため、完了時には市道の代替えとして 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている の効用が発揮できる。また、林業専用道については、搬出時期 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 を見越した開設であり、搬出に子かをっ発揮できる。 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 0 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 0 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している 0 同上 0 当初予定した実施項目が達成できた 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 0 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 0 0 目標年度に目標を達成できそうである 0 目的が達成できるような事務事業の内容である 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている \times 専門性をもった人材を活用できている \times \times 職員の能力開発のための対策は十分になされている 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 市民への情報提供を行っている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)	
資源配分の方向性 優先的に継続する ● 継続する 縮小して継続する _{主務課長氏名} 佐 々 木 貸 他事業と統合する は 休止、廃止をする 完了した	主自
今年度までに実施した改善内容 解決できていない課題	
課題解決のための改善内容及び予算への反映	
改善項目 予算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容	容
3	

的、対象、内

容を考えなが

ら目的妥当性

の評価を行っ

事業単位当たり

コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

事務事業の目

的やその数値

目標である成 果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

て下さい。

		事務事業の)概	要(Pla	an)				
事務事業名		治山事業		担当部	朙課	産業扱	長興部 農林水産課	電話	0826
子切子未口		// // // // // // // // // // // // //		作成者	氏名	川森	博継	电回	(47)4022
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 27 年 3 人	月		会計名	1	一般会計		
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流のまちづくり		主な	款	6	農林水産業費		
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	2	林業費		
(基本計画)	工女心尔	1. 注来の旅典		予算・ 事業名		5	治山事業費		
体系	施策	林業の振興		争耒石	大事業	1	治山事業に要する経費		
	ル 宋	林来の旅典			中事業	1	小規模崩壊地復旧事業費		
対 (誰のために)	被害を受ける	る恐れのある関係受益者。							
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	人家裏等の人の生命財産を	小規模な崩壊地の復旧, 又は崩壊の恐れ を守る。	のま	ある箇所の	の予防	をする	ために山腹及び渓流の崩壊隊	方止工事	を行い市民
内容	行い復旧工 【県営治山】	事・崩壊防止工事を行う。(県補助1/2	、5 の!j	受益者1/ 見地確認	4負担を行い,) ,採択		要望を行	う。県は要

		主団/バッルに応じ		(24.1					~					共三(なり)
					事務事業実	施に	かかるコス	トと業績	(Dc)				_
			23年	F使			2	4年度				21	5年度	
_	スト	コスト(千円)			(千円)	٦.	スト (千円)		(千円))	コフ	ト(千円)		(千円)
_	~ 1			県補助金等	7,715			国県補助金等	(113.		直接事業費		国県補助金等	15,000
- A			_	益者負担	2,392		· ·	受益者負担			人件費	30,704	受益者負担	4.850
1	7 71	合計 22,2		·般財源等	12.110		·	一般財源等		11.074		30.764		10,914
心	要人員		.55		人		0.70			人	20.	50,70		人
	勤務手当	6:	3.00		千円		39.0	0		千円				千円
										今後の計画値			備考	
		指標名等	手		23年度		24年度	25年			年度)	(指標の語	計算方法、	算式等)
	小規模崩壞	要 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	単位	計画値	8.00		8.00	8.00				小規模崩壊均	也復旧事業	の施工箇所
	施個所数		箇所	実績値	7.00		4.00	_			年度	数。 計画値は単 ²	ま 使で の 日	標。(県要
		対 前 年 比	Ł		_		57.14%	_				望箇所数)	+皮 (の日	示。(宗安
	コ ス ト 単位当たりコスト①			h 16,934,00			15,213,809 円		円					
	<u>!</u>	単位当たりコスト	-1		2,419,142.86	円 3	3,803,452.25 円	_	円					
\ <i>T</i>			単位	計画値	21.00		17.00	3.00	0			県営治山事業		
活動	宗名心山	争未关№回別数	箇所	実績値	4.00			_			年度	査・所有者語 損失補償契約		
•	対 前 年		t –				1	-				ための人件費	きを要する	0
結		コス	7		0	円	0 円		円			計画値は、 新規要望箇所		業箇所数十
果指	į	単位当たりコスト	-2		0.00	円	円	_	円			机机女主回点	/150	
標	生活語谱	呆全林整備箇所数	単位	計画値	2.00		2.00	2.00				吉田久保山地区の生還林の		
1.3.	工心球玩	水土/水 <u>走</u> 隔色/// 数	箇所	実績値	2.00		2.00	_		年度		区の土壌州の	り飛行官珪	固別奴。
·			t		_		100.00%	_						
アウト		コス	-		668,850	円	668,850 円		円					
プット	į	単位当たりコスト			334,425.00	円	334,425.00 円	_	円			=1	- ÷0	
		節所数・概略調査	単位		2.00		2.00					計画:新規引		
	個所数		箇所			_		_			年度	> < 1154 · 1271 W L U	ا/ات کے د	
	詳細	調査箇所数	単位		1.00									
			箇所	実績値				_			年度			
成	指標名			23年度		24年度	25年	变	目標	票値 年度)		備考 計算方法、		
果	施行笛	所数(単年)	単位	計画値	4.00		2.00	3.00				詳細調査後は 事業箇所数	こ実際に施 (単年)	エした県営
果指	ا دا ی		箇所		4.00		1.00	_			年度			
標	施行筒	所数(累積)	単位	_	11.00		13.00	13.00				合併以降(H 業累積施工		の県営事
アウト			箇所	実績値	70.00		70.00	_			年度	未希恨肥上國	⊒ <i>1</i> 71	
ከ Δ	'h													

チェック項目【「はい(改善の必要なし)」ならO、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 市民のニーズを的確に把握している 0 市民のニーズが適正に反映されている 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 0 0 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 0 国や県と重複のない事務事業である 性 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である \circ 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 0 0 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 0 単位あたりコストを削減することはできない 0 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している \bigcirc 0 当初予定した実施項目が達成できた 0 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 0 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 目標年度に目標を達成できそうである 0 目的が達成できるような事務事業の内容である 性 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている X 専門性をもった人材を活用できている 0 0 職員の能力開発のための対策は十分になされている 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている \bigcirc 市民への情報提供を行っている 0 0 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている

備考欄(留意事項) ○ 【小規模崩壊地復旧事業】 被害受益者の事業実施要望は多いが、県の予算の都合もあり 順番待ちの状態である。市としては要望箇所については迅速に 調査し、できる限りの対応を行う必要がある。 ・危険度の高い順に、毎年実施していく計画の必要がある。 【県営治山事業】 ・市が森林所有者調査・地元調整・施工同意・補償契約等の事 務を行わなければ事業実施できない。 ・県営の生活環境保全林整備事業の採択にあたり、広島県と維 **恃管理に関する覚書を交わしており、作業道の維持及び除伐・** 枯損木の処理等実施する必要がある。 【小規模崩壊地復旧事業】 現在は受益者負担を25%としているが、通常受益者は1名で100万 円以上の分担金を徴収している場合が多く、これ以上多いと取り組み こくい状況が生まれてくる。そのため、予算の範囲内で実施箇所数を 絞らざるを得ない状況である。 【県営治山事業】 県営治山事業を実施する場合、山林を保安林指定する必要があるた り、山林所有者の同意が得にくいところがあり、事業実施に至ってい ない箇所がある。防災面から説明を行っても理解が得られない。 保安林指定の場合、権利者全員の同意が必要で、相続ができていな N山林も多く同意が取れずに事業実施に至っていない箇所もある。 生活環境保全林の維持管理業務は、地域振興会・ボランティアなど の団体等を活用して、実施する必要がある。 【小規模崩壊地復旧事業】 事業実施箇所については、危険な状況は解消される。しかし ながら、県の予算も減少しており、要望に対して十分に対応で きていない。また、年度により事業箇所数に変動がある。 【県営治山事業】 県営治山事業を実施した箇所については、危険な状況は回避 され、地元の不安も解消された。 生活環境保全林についても、市民の保健休養の場となってい 生活環境保全林の維持管理は、ボランティア等他団体の活用 も考えられる。

事務事業の評価(Check)

資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する休止、廃止	縮小して継続する 売了した	· <mark>主務課長氏名</mark> 佐 々 木 靖
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題
		全てに対応できていない。 、国・県の予算で執行しているので、年間の事業
課題解決	のための改善内容及び予算への反	映
改善項目	予算(大事業)名	改善により予算要求額変更内容
1 詳細調査の継続実施及び受益者との受益者負担の協議による実施可能箇所の再調査。	_	_
2 山林所有者の同意を得る交渉。	_	_
3		

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)

事務事業の概要(Plan) 													
事務事業名		林業用施設災害復旧事業	担	旦当部	朙		長興部 農林水産課	電話	0826				
- 3X X-L			作	成者.	氏名	川森博	専継	-500	(47)4022				
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平成 27 年 3	月		会計名	1	一般会計			1			
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流のまちづくり	主	た	款	11	災害復旧費						
総合計画	主要施策	1 帝举の振廊	関	連	項	1	農林水産施設災害復旧費						
(基本計画)	土安肥宋	1.産業の振興	予算		Ħ	3	林業施設災害復旧費						
体系	施策	****の作品	事業	美 名	大事業	1	林業施設災害復旧に要する網	径費		事務事業の目			
	ル 東	林業の振興			中事業	1	林業施設災害復旧費			的、対象、内			
	梅雨前線やお	台風災害により,林道施設に災害を受1	ナた各受益	益者等	等					容を考えなが			
対 (誰のために)										ら目的妥当性 の評価を行っ			
(02-3/2-3/2)										て下さい。			
目的		台風災害により林道施設に災害を受けた。		者等7	からの	申請に	より、国庫補助事業・単市事	業によ	る災害復旧				
(対象をどのような	上事を美施!	し、林道受益者の維持管理の低減を図る	٥.										
状態にしたいか)													
		からの通報により、災害現場を確認し、				_							
内 容	工事監督・作	検査・分担金の徴集等の事務を行う。 E	□単開助()	U)災t	当によ	つない	场口,早巾による災告復旧	-争で美	€№9る。				
										· V			

					١	事務事業実	施にな	いかるコス	トと業績	(Dc)					
				22	年度			2	4年度				2	5年度		**************************************
	スト	コフト	ト (千円)			(千円)	77	<u>と</u> ト (千円)	財源(千田,)	コフ	<u> </u>		(千円)	事業単位当たり コストなどに留
	A 1	直接事業費		_	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等		17,842			国県補助金等	(113)	意しながら効率
- イン	·プット	人件費			受益者負担	0,22 (人件費		受益者負担		., , ,	人件費	·	受益者負担		性の評価を行って下さい。
i!		合計			一般財源等	15,607	合計	14,541		A	3,301		4	一般財源等	4	C P.GVI.
必要	更人員		(0.45		人		0.20)		人				人	
時間外	勤務手当		5	1.00		千円		11.0	0		千円				千円	N N
		指格	票名	等		23年度		24年度	25年度		今後の (計画	計画値年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
	※字 ==:	查·查定i	及约米加	単位	計画値	3.00		2.00	0.00				計画:災害			事務事業の目
	火吉詢	直 直足	台形女人	路線	泉実績値	1.00		2.00				年度	実績:復旧	元∫路級委	女 2路線	的やその数値
		対 育	前 年 」	比		-		200.00%	-							目標である成 果指標などに
		⊐	ス	 		11,457	円	16,153 円		円						留意しながら
	į	単位当な	こりコス	_		11,457.00	円	8,076.50 円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
活				単位	- 0											(1).
動			<i></i>		実績値				_			年度				
•				比		_			_							· ·
結果		以	ス	<u> </u>			円	円		円						
果指		単位 3/3	こりコス	単化	対計画値		円	円	_	円						
標				半17	実績値							年度				
		対前	前 年 」	 - - -	人順心	_			_			十反				
アウト			<u>ス</u>	<u> </u>			円	円		円						
プット			こりコス	<u>+</u> 3			円	円	-	円						
()				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
еß		指	標名			23年度		24年度	25年度	:	目標	票値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
果		旧路線数		単位	計画値	3.00		3.00	0.00							
成果指標	18	ᄍᄱᄱᄺ	^	路線	J.	1.00		3.00	_			年度				
· 襟				単位	計画値											
アウト					実績値	++ 	- 0#1+1	空田に トル			H > ±	年度	****************	カルフィー	7	
力厶	1	指標化で	できないが	成果		外週の良好を	よ維持で	管理により、	事故も発生	U (i	からず	、利用	百の女全を	世保し(い	1る。	

	事務事業の評価	面 (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	〇災害が発生した箇所について、調査し復旧を行い市民の安全
	市民のニーズが適正に反映されている	0	な通行を確保する。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	_	
妥当	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	○現在は林業の低迷により、所有者の山林に対する意識が低 く、それに伴い林道の受益者を特定することが困難となってい
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	て、それに伴い林垣の安置自る特定することが困難になっている。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	〇市道などのバイパスのための生活関連道として不特定多数が
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	通行する林道もあり、受益者負担を求めることが困難である。
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	×	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	○災害により崩壊した施設の機能回復を行うためとても有効で ある。
	当初予定した実施項目が達成できた	X	<i>め</i> る。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	×	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	×	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	X	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	X	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市民	市民への情報提供を行っている	0	
参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

			改善点や今	後の取り	組みの万回性(Act	tion)					
資源	配分の方向性	優先的に継続する	. 		縮小して継続する	主務課長氏名	佐	√ ;	木	靖	
		他事業と統合する		Lをする	完了した						
	4	年度までに実施した改	善内容			解決できてい	いない課題				
			甲里百品公土	のためのみ	善内容及び予算への反	orth					
		7. * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	休恩胜人				に トルマ笠	#F → ₽ ф2	5 db = 5	ch ch	
		改善項目		<u>ਹੈ</u> :	算(大事業)名	以吾	により予算	安 火 沿	製変史	小谷	
1											
)											
2											
3											

的、対象、内 容を考えなが

ら目的妥当性

の評価を行っ

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率

性の評価を行っ

て下さい。

事務事業の目的やその数値

目標である成果指標などに

留意しながら

有効性の評価

を行って下さ

て下さい。

	事務事業の概要(Plan)														
事務事業名		水産業振興事	業			担当部			長興部 農林水産課	電話	0826				
						作成者		森田	修		(47)4022				
実施期間	平成 16	年 3 月 ~ 平原	25 年	3	月		会計名	1	一般会計						
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流	のまちづく	6	農林水産業費										
総合計画	主な 1 産業の振網 1 産業の振網														
(基本計画)	・ プログログ 1. 生素の振典 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
体系	+/- ^/-	事業名													
	池 束	施 策 水産業の振興													
対 (誰のために)	市内の各漁業	業協同組合等水産業者	が及び水産業	美施設 管	管理	団体。広	島県栽		センター。						
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	水産資源の終	維持増大及び振興を図	る。また、	市が言	设置	した水産	業施設(の管理	運営を図る。						
内容	3漁業協同組合への補助金交付。広島県栽培漁業協会への負担金の納付。市が設置した水産業施設の指定管理業務以外の維持修繕等の事務。														

					Ę	事務事業実施	施に	かかるコス	トと業績	(Do)				_		
				23	年度			2	4年度				2	5年度			
	スト	コス	ト(千円))	財源	(千円)	コフ	スト (千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)		(千円)		
		直接事業費	1,8	366 ቜ	国県補助金等		直接事業	1,279	国県補助金等			直接事業費	1,146	国県補助金等			
ん	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	人件費	1,!	510 🕏	受益者負担		人件費	1,498	受益者負担			人件費		受益者負担			
		合計	•		一般財源等	3,376	合計	,	一般財源等		2,777	合計	1,146	一般財源等	1,146		
	要人員			0.18		人		0.18	-						人		
時間外	勤務手当		2	1.00		千円		10.0	0		千円				千円		
		指	標名	等		23年度		24年度	25年	度	今後の計画:			備 考計算方法、			
	漁業協同	引組合補	前件数	単位		3.00		3.00	3.00)			江の川、可加	愛川、三篠	川の3漁協		
	//K/AC13331-			件	実績値	3.00		3.00	_			年度	, (0)相切亚				
				七		_	_	100.00%	_								
			ス	<u> </u>			円	円		円							
		単似	たりコス	_	1 計画店	1.00	円	1.00	1.00	円			広島県栽培	日学わいり	ー人の定類		
活	栽培漁	培漁業協会負担金				1.00		1.00	1.00			年度	会費		(U)LER		
動・		が 前 年 比 実績		NIQIE	-		100.00%	_		T/X							
結			ス	<u> </u>			円	円		円							
果指	<u>i</u>	単位当	たりコス	\2			円	円	- 円								
指標	水産業施設	设管理運	営助成件	単位	計画値	2.00		2.00	2.00				高宮淡水魚				
1217	数			件	実績値	2.00		2.00	_			年度		では、 これでは、 これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			
/\			前年上	七		_		100.00%	-								
アウト		<u> </u>	ス	<u> </u>			円	円		円							
プット	<u>!</u>	単位当	たりコス	_	- Luzze		円	円	_	円							
				単位	計画値実績値							年度					
				単位					_			牛皮					
				+12	実績値				_			年度					
		指	標名			23年度		24年度	25年	度	目標	標値	(指標の	備考 計算方法、	算式等)		
成里				単位	1 計画値												
成果指					実績値							年度					
標				単位	計画値												
アウト	実績値				実績値				_			年度					
አ ፈ	指標化できない成果																

事務事業の評価(Check) チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 備考欄(留意事項) 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は- 】 市民のニーズを的確に把握している ○ 内水面漁業団体が水産振興の実質活動団体で、内水面事業者へ 補助することにより、自然生態系の維持・河川環境の管理及び 市民のニーズが適正に反映されている 0 特定外来種であるブラックバス、ブルーギルの被害の低減が図 0 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である られている。コイヘルペス病の発生などへの対応は、市民の関 心が高い。カワウの食害による水産資源への被害防止の徹底。 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 水産業施設については、地元の関係団体に維持管理を委託して 0 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 0 国や県と重複のない事務事業である X 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 0 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている 負担金については定額的なものであるため、コスト削減の余地 規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている はない。水産業施設の2施設は、老朽化が激しく、毎年維持修 コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 0 繕費が発生している状況である。 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある X 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 0 単位あたりコストを削減することはできない 0 受益者負担を検証している 事務事業の効果を適正に把握している |外来種の繁殖やコイヘルペスの発生等内水面漁業を取り巻く環 0 境は厳しく、社会的にもこれらへの対応のニーズは高い。 当初予定した実施項目が達成できた 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した X X 目標年度に目標を達成できそうである 0 目的が達成できるような事務事業の内容である 0 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている \times 職員の能力開発のための対策は十分になされている X - 斉清掃等による河川美化活動や漁業協同組合の放流体験な 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ど、市民参加の啓発を行っている。 市民への情報提供を行っている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 画 市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている 0

		改善点や今	後の取り	組みの方向性(Ac	tion)	
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する		とをする	縮小して継続する 完了した	• 主務課長氏名	佐々木 靖
9	年度までに実施した改	善内容			解決でき	ていない課題
		課題解決	のための改	善内容及び予算への反	映	
	改善項目		予	算(大事業)名	2	対善により予算要求額変更内容
1						
2						
3						

										ı		
事務事業の概要(Plan)												
事務事業名		L場立地法に関する	事務事業	担当			長興部 商工観光課	電話	0826 (47)4024			
	TI # 40) [作成者		深井	大輔		(47)4024	ł		
実施期間	平成 19	. , , ,	0++01/10		会計名	-	一般会計			1		
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	かまらつくり	主な	款	/	商工費			1		
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	商工費					
(基本計画)				予算・ 事業名	B	2	商工業費					
体系	施策	商工業の振興		チ末口	大事業	1	商工業に要する経費			事務事業の目		
					中事業	1	商工業振興事業費			的、対象、内		
対 象	安芸高田市	5内に一定規模以上の工	場を立地する企業							容を考えながら目的妥当性		
(誰のために)										の評価を行っ		
	工担力协 过	たに基づき周辺地域の生	活理培との細和なM	i Z						て下さい。		
, 目 的		5に至しる同2212以の土	心界児との調削で区	aつ。								
(対象をどのよう 状態にしたいか												
70BIC 07CV 173		特定工場の新設・増設・変更に係る届出の受理・審査を行う。										
)新設・増設・変更に係 年4月、広島県より権限		さ行つ。						·		
内 容	(+1%,13	ナナバ 心団木のり作的	(SC 1987)									
										l 🗼		

					事務事業実	施にた	かるコス	トと業績	(Do)				_	
			2	3年度			2	4年度				2:	5年度		事業単位当たり
	スト	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コス	ト(千円)	財源	財源(千円)		コス	ト (千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等			直接事業費		国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
イン	/プット	人件費	85:	受益者負担		人件費	848	受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
		合計	851		851	合計	848	一般財源等		848	合計	0	一般財源等	0	
	/要人員 0.10 人 0.10						人				人	, ,			
時間外	勤務手当		24.0	00	千円		21.0	0		千円				千円	\
		指標名等			23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値		備 考 計算方法、		
	F	届出件数	1	並 計画値	_		-	-				特定工場の る届出件数	新設・増設	と・変更に係	事務事業の目
	76			件 実績値			0.00	_			年度	の油山下数			的やその数値 目標である成
			前 年 比		_		0.00%	_							果指標などに
			スト			円	円		円						留意しながら 有効性の評価
		里位当/	たりコスト(_	円	円	_	円			特定工場の領	诉≣小 . 抽≣/	1. 亦田に区	を行って下さ
活	ᡮ	相談件数		単位 計画値 件 実績値			0.00	_			年度	る届出件数	NIOZ JEOZ	2、夕丈に示	4).
動		対前年比			2.00		0.00%	_			十反				
· 結			スト	-		円	円		円						ग
果		単位当たりコスト②				円	円	_	円						
指標			当	色位 計画値											
135				実績値				_			年度				
/·····································		対(前 年 比		_			_							
アウト		⊐	スト			円	円		円						
プット	!	単位当為	たりコスト			円	円	_	円						
			<u> </u>	並 計画値							左曲				
			범	実績値 計画値				_			年度				
			-	実績値				_			年度				
		指	標名		23年度		24年度	25年	度		票値	/ lle lT = -	備考		
成		,0					21110	201	1,0	(目標	年度)	(指標の	計算方法、	算式等)	
果			当	並 計画値											
指標			22	実績値				_			年度				
1示 :····································			<u> </u>	全位 計画値 実続値				_			左中				
アウト				実績値				_			年度				
<i>λ</i> Δ		指標化できない成果													

	事務事業の評	⊞ (C	heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	_	工場立地法の内、広島県から権限移譲を受けた事務を行う。ま
	市民のニーズが適正に反映されている	_	た、広島県への報告事務を行う。(年2回)
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	<u> </u>	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	×	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	工場立地法に基づく事務手続き
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	×	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	_	権限委譲を受けた後、申請件数が少なく十分な能力開発ができ
	当初予定した実施項目が達成できた	_	ていない。 今後実務を通した能力向上を行う必要がある。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	_	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	X	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	X	
市民	市民への情報提供を行っている	0	
参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	X	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	X	
	(

改善点や今	後の取り組みの方向性(Ac	tion)
資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する体止、廃」	が縮小して継続する上をする完了した	· <u>主務課長氏名</u>
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題
申請事務を遅滞なく処理する。	特にない。	
改善項目	予算(大事業)名	改善により予算要求額変更内容
1		
2		
3		

事務事業の概要(Plan)											
事務事業名	大規模小	v売店舗立地法に関	する事務事業	担当部作成者			表興部 商工観光課 大輔	電話	0826 (47)4024		
実施期間	平成 19	年 4 月 ~			会計名	1	一般会計				
	基本方針	№多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	7	商工費			1	
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	商工費				
(基本計画)	土安心尔	1. 生未り派典		予算・	目	2	商工業振興費				
体系	施策	商工業の振興		事業名	大事業	1	商工業に要する経費			事務事業の目	
	虎 宋	向工未の振典			中事業	1	商工業振興事業費			的、対象、内	
対 象 (誰のために)	安芸高田市区	安芸高田市内に一定規模小売店舗を立地する企業									
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	大規模小売店舗立地法に基づき周辺地域の生活環境との調和を図る。										
内容	一定規模以上の小売店舗の新設・増設・変更に係る届け出の受理・審査を行う。 (平成19年4月、広島県より権限移譲)										

					+- -	1,51,5			(5	,					ı \
				Ę	事務事業実	他に	かかるコス	トと業績	(Do)				•	
			23	年度			24	4年度			25年度				事業単位当たり
	スト	コスト(千円))	財源	(千円)	コフ	スト(千円)	財源	(千円)	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
,		直接事業費		国県補助金等		直接事業		国県補助金等			直接事業費	42	国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
イン	/プ [°] ット		_	受益者負担		人件		受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
				一般財源等	426	合計		一般財源等		424	合計	42	一般財源等	42	
	要人員		0.05		人		0.05			人				人	,
時间外	勤務手当	1	2.00		千円		11.00	J		千円				千円	
		指標名	等		23年度		24年度	25年	安		計画値		備 考 計算方法、		
	E	申請件数	単位		-		-	-				一定規模以贈設・変更に		舗の新設・	事務事業の目
	,		件	実績値	3.00		0.00	_			年度	コスト=県の	の事務説明	コーダ 目会に係る出	的やその数値 目標である成
		対 前 年 」			_		0.00%	_				張旅費等			果指標などに
		コス	<u> </u>		2,200		1,100 円		円						留意しながら 有効性の評価
		単位当たりコス	_	5 = 1 = 1 = 1 = 1	733.33	円	#DIV/0! 円	_	円						を行って下さ
活			単位	対 計画値 実績値				_			年度				ų).
動		対 前 年 」	 - -	夫賴胆	_			_			4.6				V
• 約=			<u> </u>			円	円		円						W.
結果指		単位当たりコス				円	円	_	円						
指標			単位	か計画値		1 4	1.4		, ,						
信				実績値				_			年度				
,		対 前 年 」	比		_			_							
アウト		コス	+			円	円		円						
プット		単位当たりコス	K 3			円	円	_	円						
`			単位			T									
				実績値				_			年度				
			単位												
			<u> </u>	実績値				_			年度				
成		指標名			23年度		24年度	25年	芰		票値 年度)	(指標の	備考 計算方法、	算式等)	
果			単位	計画値											
果指標				実績値				_			年度				
// //////////////////////////////////			単位												
アウト			<u> </u>	実績値				_			年度				
አ ለ		指標化できない	成果												

緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 国や県と重複のない事務事業である 市以外が実施主体になりえない事務事業である 他の事務事業と統合できない事務事業である 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている (対別や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている フストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である や他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 受益者負担を検証している () た事例があり、その対応へ時間を要した。 大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。 ス大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。 へ 大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。 へ 大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。 ○ 大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。 ○ 大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		事務事業の評価	置 (C	heck)
中民のニースが適正に反映されている 中民のニースが適正に反映されている 緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 国や側で直撃の対象は適正である 当 国や県と重複のない事務事業である 他の事務事業と終合できない事務事業である 一 地の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている (規則や要縛等に基づいて、適正に業務の処理ができている コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 他の回体等を活用してもメリットが大きくならない 人作費を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない の受益者負担を検証している () 事務事業の效果を適正に把握している コカネとして実施項目が違成できた 成果指標の実練値が前年度と比較して向上した 目標年度に目標を達成できそうである 国的が違成できるような事務事業の内容である を実施標について当初設定した計画値が違成できた の果指標の実練値が前年度と比較して向上した 日間・実施項目できないきなうの容が表す。 事務事業の対策を適正に把握している 事務事業の対策を適正に把握している 事務事業の対策を適正に把握している 事務事業が対策連続ででは衰壊(こつ、の配慮をしている 事務事業が推進過程では衰壊(こつ、の配慮をしている 事務事業が推進過程では衰壊(こつ、の配慮をしている 事務事業が推進過程では衰壊(こつ、の配慮をしている 事務事業が推進過程では衰壊(こつ、の配慮をしている 事務事業が推進過程では衰壊(こつ、の配慮をしている 事務事業が推進過程では衰壊(こつ、の配慮をしている 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 市民への情報提供を行っている こきまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こきまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こきまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまなよ場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまなよ場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまなよ場面で市民に対して参加の機会が提供されている こまさまなよりでは、まずないよりに対しませないませないませないませないませないませないませないませないませないませない	ГИ		チェック	備考欄(留意事項)
中氏の一一人が強圧に反映されている	Ī	市民のニーズを的確に把握している	0	
聚急性が高い又は継続する必要性が高い事業である 利用者、対象者の増減に迅速に対応できている 国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である 国や側に登較し、事務事業である 市以外が実施主体になりえない事務事業である 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 他の事務事業と統合できない事務事業である 社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている (規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である か要を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 世位あたりコストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 中位都発見担と検証している 「 事務事業の効果を適正に把握している 」 可能性のできる。 可能性のできるような事務事業の内容である 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 可能のが違成できたいる 國員の能力開発のための対策は十分になされている でまるまでは環境(エコ)への配慮をしている 可能性の対象が定れている。 できるような事務事業の内容である 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 市民への情報提供を行っている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面でするに対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面でするに対して参加の機会が提供されている。 さまざまな場面でするに対して参加の機会が提供されている。	Ī	市民のニーズが適正に反映されている	0	月 凹で任毛地図集名がら中謂の向言せ。 平成24年度は届出の手続きを経ずに、店舗面積を超過してい
図や他市と比較し、事務事業の対象は適正である □ 国や県と重複のない事務事業である □ 市以外が実施主体になりえない事務事業である □ 市民への情報提供を行っている 地の事務事業と統合できない事務事業である □ 市民への情報提供を行っている 地の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている □ 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている □ 他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている □ 人規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている □ 人別やを綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている □ 人別や変綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている □ 人の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある ○ 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある ○ 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある ○ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ○ 受益者負担を検証している □ 一	B 7	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
世代	利	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている		
中国	妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	_	
他の事務事業と納合できない事務事業である		国や県と重複のない事務事業である	_	
社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている (ff	他の事務事業と統合できない事務事業である	_	
(規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている ○ 大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。 ○ フストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である ○ 他の団体等を活用すると公平性や可秘義務に問題がある ※ 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない ○ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ○ 受益者負担を検証している ○ 受益者負担を検証している ○ での できるようである ○ 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した ○ 目標年度に目標を達成できそうである ○ 日的が定のできるような事務事業の内容である ○ 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ○ 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ○ 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ○ 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ○ 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ○ 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ○ 市民への情報提供を行っている ○ 古民への情報提供を行っている ○ 古民への情報といる ○ 日民への情報といる ○ 日民への情報といる ○ 日民への情報といる ○ 日民への情報といる ○ 日民への情報といる ○ 日民への情報といる ○ 日民へのは、日民へ	礻	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	_	
規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である 効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 単位あたりコストを削減することはできない 受益者負担を検証している (事務事業の効果を適正に把握している 当初予定した実施項目が達成できた 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 目標年度に目標を達成できそうである 目的が達成できるような事務事業の内容である 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 専門性をもった人材を活用できている 職員の能力開発のための対策は十分になされている (第務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 市民への情報提供を行っている 古民への情報提供を行っている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	ff	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
□ストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である ○ 対果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である ○ 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある ※ 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない ○ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ○ 単位あたりコストを削減することはできない ○ 受益者負担を検証している ○ () 事務事業の効果を適正に把握している ○ 当初予定した実施項目が達成できた ○ 成果指標について当初設定した計画値が達成できた ○ 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した ○ 目標年度に目標を達成できそうである ○ 目的が達成できるような事務事業の内容である ○ 専門性をもった人材を活用できている ○ 専門性をもった人材を活用できている ○ 専門性をもった人材を活用できている ○ 本務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ○ 市民への情報提供を行っている ○ 古式でまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ ○ さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		,		
効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である ○ 他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある × 他の団体等を活用してもメリットが大きくならない ○ 人件費を削減しても、コストを削減することはできない ○ 要益者負担を検証している ○ () 事務事業の効果を適正に把握している 一 当初予定した実施項目が達成できた 一 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 一 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 一 目標年度に目標を達成できそうである 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 本 専門性をもった人材を活用できている ※ 職員の能力開発のための対策は十分になされている × () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一	夫	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	大規模小売店舗立地法に基づく事務手続き。
他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	=	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	
他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	交	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
性 人件費を削減しても、コストを削減することはできない 〇 単位あたりコストを削減することはできない 〇 受益者負担を検証している 一 () 事務事業の効果を適正に把握している 一 当初予定した実施項目が達成できた 一 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 一 目標年度に目標を達成できそうである 一 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 一 専門性をもった人材を活用できている ※ 職員の能力開発のための対策は十分になされている ※ () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一	効 化	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある		
大円貨を削減りでも、コストを削減することはできない		他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	_	
受益者負担を検証している 一 事務事業の効果を適正に把握している 一 当初予定した実施項目が達成できた 一 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 一 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 一 目標年度に目標を達成できそうである 一 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 一 専門性をもった人材を活用できている ※ 職員の能力開発のための対策は十分になされている ※ 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ー	性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
事務事業の効果を適正に把握している	È	単位あたりコストを削減することはできない	0	
事務事業の効果を適正に把握している ー 当初予定した実施項目が達成できた ー 成果指標について当初設定した計画値が達成できた ー 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した ー 目標年度に目標を達成できそうである ー 目的が達成できるような事務事業の内容である ー 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ー 専門性をもった人材を活用できている × 職員の能力開発のための対策は十分になされている × 「) 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ー 市民への情報提供を行っている ー さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ー	5	受益者負担を検証している	_	
当初予定した実施項目が達成できた 一 成果指標について当初設定した計画値が達成できた 一 成果指標の実績値が前年度と比較して向上した 一 目標年度に目標を達成できそうである 一 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 一 専門性をもった人材を活用できている × 職員の能力開発のための対策は十分になされている × 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ー		(
成果指標について当初設定した計画値が達成できた	=	事務事業の効果を適正に把握している	_	申請件数が少なく、十分な能力開発ができていない。
	<u></u>	当初予定した実施項目が達成できた	_	
有効性性 目標年度に目標を達成できそうである 一 目的が達成できるような事務事業の内容である 一 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている 一 専門性をもった人材を活用できている × 職員の能力開発のための対策は十分になされている × () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ー	F.	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	
対しては、できるような事務事業の内容である		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
性 目的が達成できるような事務事業の内容である ― 事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている ― 専門性をもった人材を活用できている × 職員の能力開発のための対策は十分になされている × () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている ― 市民への情報提供を行っている ― さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている ―		目標年度に目標を達成できそうである	_	
専門性をもった人材を活用できている X 職員の能力開発のための対策は十分になされている X () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている — 市民への情報提供を行っている — さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている —		目的が達成できるような事務事業の内容である	_	
職員の能力開発のための対策は十分になされている × () 事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている — 市民への情報提供を行っている — さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている —	Ę	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている —	Ę	専門性をもった人材を活用できている	X	
事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている 一 市民への情報提供を行っている 一 さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一	I	職員の能力開発のための対策は十分になされている	X	
市 市民への情報提供を行っている - さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている -		(
さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている 一	٩	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
参 CみCみは場面で中内に対して参加の機会が提供されている ―		市民への情報提供を行っている	_	
		さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
		市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
		(

 資源配分の方向性 地事業と統合する 地林比、廃止をする 完了した				組みの方同性(Act							
届出が無い。	資源配分の方向性	優先的に継続する ● 継続する 他事業と統合する 休止、廃」	上をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	小田 忠					
課題解決のための改善内容及び予算への反映		今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題							
改善項目 予算(大事業)名 改善により予算要求額変更内容 ① ②	届出が無い。										
① ②		課題解決	のための改	京善内容及び予算への反	映						
2		改善項目	予	算(大事業)名	改善	記より予算要求額変更内容					
	1										
3	2										
	3										

事業単位当たり コストなどに留 意しながら効率 性の評価を行って下さい。

事務事業の目 的やその数値 目標である成果指標などに

事務事業の概要(Plan)												
事務事業名		商工業団体支援事業	担当部		産業技	辰興部 商工観光課 恵	電話	0826 (47)4024				
実施期間	平成 16 年 4 月 ~ 継続 会計名 1 一般会計											
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流のまちづくり	主な	款	7	商工費						
総合計画	関連 項 1 商工費											
(基本計画)	・											
体系	施策	商工業の振興	争未行	大事業	1	商工業に要する経費			事務事業の目			
	,,,,			中事業	1	商工業振興費			的、対象、内			
対 象 (誰のために)	安芸高田市商工会(市内の商工業者) ら の で											
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	本市の地域経済団体である商工会が、その機能を活用して、市内商工業者の経営の改善発展を支援するための措置を講する。 そのことにより、市内商工業者の経営基盤の充実を図り、もって本市経済の健全な発達に寄与する。											
内 容	○経営改善普及事業 - 経営指導員(6名)による経営相談窓□巡回・個別・集団指導の実施(金融・税務・経理一般・経営革新・労務・取引・情報化等) ○地域総合振興事業 - 組織拡充強化活動・青年部、女性部活動・情報サイト運営事業・産業活動支援センター運営事業等 ○青色申告会・労働保険事務・経理事務等事業主の事務代行等											

Oらしてログ の関係的学術 配送学術も学業工の学MTVIJで														
				<u> </u>	事務事業実施	施に	かかるコス	トと業績	(Do)				
			23	3年度			2	4年度				25年度		
_	スト	コスト(千月			(千円)	٦.	<u></u> スト (千円)		原(千円)		コス	ト (千円)		(千円)
			_	国県補助金等	(113)	直接事		国県補助金等	(113)	,	直接事業費		国県補助金等	(113)
イン	/フ [°] ット	人件費	3,724	受益者負担		人件	費 3,815	受益者負担			人件費		受益者負担	
4		合計 25	9,829	一般財源等	29,829	合語	29,045	一般財源等	2	9,045	合計	25,760	一般財源等	25,760
必要	要人員		0.45	5	人		0.4	5		人				人
時間外	勤務手当		113.0	0	千円		95.0	0		千円				千円
		指標名	等		23年度		24年度	25年	度	今後の (計画	計画値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)
	4 ∇4	当长学儿	単	位 計画値	4,000.00		4,000.00	4,000.	00	4,000	0.00	経営指導件数		
	作さ	営指導件数	但	実績値	3,788.00		2,581.00	_		H26	年度	コスト=経営る補助金額	含改善普及	事業に対す
		対 前 年	比				68.14%	_				O110231110X		
		コス	+		17,750,000	円	18,000,000 円		円					
		単位当たりコス				円	6,974.04 円	_	円				V A	
活	講習会	受講者延人数	単位		1,200.00		1,200.00	1,200.0	00	1,200		講習会(経濟))受講者延
動			<u>ر</u>	実績値	1,314.00		1,128.00	_		H26	年度	コスト=講習		Ì
•		対 前 年	比		- -	85.84%		_						
結果指		コース	<u>ト</u>	\	,	円	1,682,132 円		円					
指		単位当たりコス	メトビ	_	600.07 100.00	円	1,491.25 円 100.00	100.0	円の	100	00	あっせん件数	约二宝结值	
標	金融の	あっせん件数	上 作		61.00		60.00	100.0	U	H26		コスト=金融		
		対 前 年	比	大顺旭	-		98.36%	_		1120	十尺			
アウト		コス	<u> </u>		411,556	円	382,082 円		円					
プット		単位当たりコス	スト③)	6,746.82	円	6,368.03 円	_	円					
\/	***	₹	単	位 計画値	1,000.00		1,000.00	1,000.0	00	1,000	0.00	商工会登録	会員数	
	周上2	会登録会員数	J	実績値	839.00		796.00	_		H26	年度			
	±	務代行数	単	位計画値	3,000.00		3,000.00	3,000.0	00	3,000	0.00	実績値		
	₹	100 I VIJ \$X	但	実績値	2,637.00		2,232.00	_		H26	年度			
成		指標	ጀ		23年度		24年度	25年	度	目標	年度)		備 考 計算方法、	算式等)
果	産業人材資	育成事業参加者:	単	位 計画値	60.00		50.00	50.00)			参加人数実統	責値	
果指	ニスパのド	J/77×2010	<i>ا</i>	_	99.00		90.00	_			年度			
·標			単							_				
アウト				実績値				_			年度			
<u></u> አለ		指標化できない	/\成果	ļ.										

ı		事務事業の評価	⊞ (C	heck)
	١	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
		市民のニーズを的確に把握している	0	商工会は、半官半民として公共性の高い組織であり、地域社会
		市民のニーズが適正に反映されている	0	からは、商工会の強いリーダーシップと地域振興が望まれ、行 政の財政改革や地域雇用も産業の振興に頼るところである。
		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	商工業者の経営、技術の改善を図り、経営支援や活性化を図
ı		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	るための活動をしている商工会への補助は、妥当と考える。
ı	7 7	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
ı	妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
ı	性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
		他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
ı		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
ı		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
ı		(
		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	商工会会員の申告等の事務代行などを行い自主財源の確保に
ı		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	努めている。また、市内商工業者への経営指導についても事業 者へ出向き行われている。
ı		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	
ı	効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
ı	率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
ı	性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	X	
ı		単位あたりコストを削減することはできない	0	
ı		受益者負担を検証している	_	
L		(
Г		事務事業の効果を適正に把握している	0	〇年々、事業者から商工会への相談内容が多様化している中
ı		当初予定した実施項目が達成できた	0	で、事業者の経営基盤を強化するため、経済社会環境に対応したIT化や経営革新など継続的な助言・指導に取り組むように指
ı		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	導している。
ı		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	 ○経営指導員の県内の商工会同士の人事異動により経営指導の
ı	有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	の限力になっている。
ı	性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
ı		事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	〇小規模事業者の経営の改善発達を支援することが法律で定め られており、本市経済を活性化させていくためには、引き続き
ı		専門性をもった人材を活用できている	X	商工会としての活動は今後も必要である。
ı		職員の能力開発のための対策は十分になされている	×	
		(
		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	事業の性格上、行政は商工会との関係、商工会は事業者との関係であ
ı	市	市民への情報提供を行っている	_	がくめ り、一般の市民との係わりはないものと考える。
	民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
	画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
		(

 資源配分の方向性 慢先的に継続する 他事業と統合する 休止、廃止をする 完了した 一時決できていない課題 商工会への活動支援助成を実施する。 産業活動支援センターを通じ、安芸高田市工業会の活動支援を実施 高される。 	
他事業と統合する 体上、廃止をする 元子した 一	
商工会への活動支援助成を実施する。 ・零細な事業所が後継者の不在等で減少しており、地域活力の	
する。・商工会の更なる自主財源確保の取り組みも必要となっている	7 0
課題解決のための改善内容及び予算への反映	
改善項目 予算(大事業)名 改善により予算要求額変更内	容
<u>3</u>	

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												
事務事業名	商	工業振興施設維持管	理事業		担当部課 「成者氏名		遠興部 商工観光課 大輔	電話	0826 (47)4024			
実施期間	平成 16	年 4 月 ~		11270	会計名	深井 1	一般会計					
	基本方針	№多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	7	商工費					
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	商工費					
(基本計画)	工文元本	1./至未》]瓜六		予算・ 事業名		2	商工業振興費					
体系	施策	商工業の振興		尹未山	大事業 1 商工業に要する経費							
	,,,,				中事業	2	商工業施設管理費			的、対象、内 容を考えなが		
対 象 (誰のために)	象											
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	各施設の集客力を高め、商工振興・地域振興の場とするための措置を講することにより、商業力を挙げ経営基盤の充実を図り、もって本市経済の健全な発達に寄与する											
内 容	○各商業振興施設の市共有部分等の維持管理等を行う。 ○必要に応じ、出店者会議等を開催し、各出店者との連絡調整を図る。											
										1		

事務事業実施にかかるコストと業績(Do)																			
				23	3年度			2	4年度				28	5年度		事業単位当たり			
	スト	コス	ト(千円))	財源	(千円) コスト(千円)			財源(千円)			コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留			
,		直接事業費	1,9	910	国県補助金等		直接事業費	直接事業費 4,699		\$		直接事業費	3,987	国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ			
イン	インプット 人件費 2,553 受益者負				人件費	·	受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。					
		合計	- ,	463	一般財源等	4,463	合計	•	一般財源等		7,242	合計	3,987	一般財源等	3,987				
	要人員			0.30		人		0.30	-		人				人				
時間外	▶勤務手当		/	1.00)	千円		63.0	10		千円				千円				
		指	標名	等		23年度		24年度	25年			計画値(年度)		備考計算方法、					
	店舗利用場	大況 (フ	望位 計画値 (フォルテ)		(¬→ II, -)		(¬⋆॥,∓)		90.00		90.00	90.00)			店舗利用状態 積÷施設利用			事務事業の目
				%	実績値				_			年度	コスト=管理			的やその数値 目標である成			
			前年」			_			_							果指標などに			
		<u>₩</u> #₩	ス	<u> </u>		1,900,000	1 4	1,900,000 円		円						留意しながら 有効性の評価			
			たりコス	_		00.00	円	円 00.00	- 00.00	円			店舗利用状況	コー珀左 ス 「	早庄盆松而	を行って下さ			
活	店舗利用が	用状況(パストラ <mark>単位 計画値</mark> % 実績値			90.00 54.90		90.00 54.90	90.00		年度		積÷施設利用	引計画面積	E T	ψ).				
動	,	対前年比		入順心	94.9%		100.00%	_		千皮		コスト=管理	里費-使用	料	V				
· 結			<u> </u>	<u> </u>		-120.217	円	213,608 円		円						Ţ.			
果		単位当法	たりコス	<u>.</u> [2)	-2,189.74	円	3,890.86 円	_	円									
指標				単作		90.00		90.00	90.00				店舗利用状況						
1示	店舗利用	状况(フ	カボート)	%	5 実績値	43.01		43.01	_			年度	積÷施設利用 コスト=管理						
,		対	前年上	比		87.2%		100.00%	_					IR (X/1)/	197				
アウト			ス	7		679,187	円	759,422 円		円									
プット		単位当	たりコス	K 3)	15,791.37	円 1	17,656.87 円	_	円									
·				単位															
				22/	実績値				_			年度							
				単位								左曲							
				<u> </u>	実績値				_			年度		H+ +v					
成		指	標名			23年度		24年度	25年	度	(目標	票値 年度)	(指標の記	備考 計算方法、	算式等)				
果指				単位	_ 0														
指標				224	実績値				_			年度							
· ;···································				単位								/T dit							
アウト				<u> </u>	実績値				_			年度							
加		指標化	できない。	成果															

	事務事業の評価	面 (C	heck)
ı	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	安芸高田市経済発展のためには、各施設の適正な維持管理を行
	市民のニーズが適正に反映されている	0	い経済活動の活性化を促すことが必要である。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	X	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	×	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	X	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	施設の有効活用と効率的な維持管理のためにも、未利用スペー
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	ス(空き店舗等)を少なくし、賑わいの創出をしていくことが 大切となる。
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	7.49.2.0.00
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	X	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	X	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	X	施設の魅力づくりを行い、商工業だけでなく地域全体の活性化
	当初予定した実施項目が達成できた	X	につなげていくことが必要である。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	X	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	X	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	×	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	X	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	X	
	専門性をもった人材を活用できている	_	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	×	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	0	
市	市民への情報提供を行っている	0	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	×	
	(

		改善点や今後の即	り組みの方同性(Ac	tion)								
資源配分の方向性	優先的に継続する 他事業と統合する	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	縮小して継続する 5 完了した	主務課長氏名	小田 忠							
<u></u>	では 年度までに実施した改		7 T J U/C	解決できていない課題								
	TIZO CICZIII VICUX	⊃r∌	いずれの施設も空き店 いる。		事業者を誘致することが困難となって							
		課題解決のため	の改善内容及び予算への反	映								
	改善項目		予算(大事業)名	改	(善により予算要求額変更内容)							
1												
2												
3												

事務事業の概要(Plan)													
事務事業名		雇用対策事業		担当		産業 兼村	振興部 商工観光課 恵	電話	0826 (47)4024				
実施期間	平成 16	年 4 月 ~ 平成	26 年 3	月	会計名	1	一般会計						
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	7	商工費						
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	商工費						
(基本計画)	工女肥米	1.注未以派與		予算・ 事業名		2	商工業振興費						
体系	施策	商工業の振興		尹未位	大事業	1	商工業に要する経費	要する経費					
					中事業	1	商工業振興事業費			事務事業のE 的、対象、F			
対 象 (誰のために)	市内高校の生徒、市内企業 (((
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	働くことの意義・価値等を理解させ進路意欲を高める啓発活動・人材育成の支援を行うことにより、雇用の安定供給・労働力の市内確保等を図りもって本市経済の健全な発達に寄与する。												
内 容	○市内3高校が開催する職場訪問事業等に対して補助金を支出する。(企業立地推進事業費) ○市内企業等就職内定者に対しての合同研修の開催。												

																ı
					<u> </u>	「 終事業実	施に	かかるコス	ストと業績	(Da	5)					
				22	年度	- 303 3- 2020			24年度					5年度		
_	スト	コスト	ト(千円)			(千円)	Ι	スト(千円)	_	(千円) コス			ト (千円)		(千円)	事業単位当たり コストなどに留
		直接事業費		_	国県補助金等	(113)	直接事業	_	0 国県補助金等	_	/	直接事業費		国県補助金等		意しながら効率
	/プット	人件費	1,7	'02 5	受益者負担		人件	費 1,69	6 受益者負担			人件費		受益者負担		性の評価を行って下さい。
`		合計			一般財源等	1,752	合語		6 一般財源等		1,746	合計	2,229	一般財源等	2,229	
	要人員).20		人			20		人				人	,
時間外	勤務手当		4.	7.00		千円	<u> </u>	42	.00		千円				千円	
		指标	票名等	等		23年度		24年度	25年	度		計画値		備 考 計算方法、	算式等)	
	暗土	易訪問者	坐切	単位		150.00		130.00	130.0	00	130	0.00	参加者数二		(全)	事務事業の目
	HCN/T			人	実績値	129.00		156.00	_		H26	年度	コスト=雇用	おりたはい	3.四个的	的やその数値 目標である成
		対自				_		120.93%	_							果指標などに
		<u>₩/+ W+</u>	ス	<u> </u>		50,000		50,000		円						留意しながら 有効性の評価
		単位 当/	こりコスト	P ① 単位	計画値	387.60	円	320.51	9 –	円						を行って下さ
活				丰匠	実績値				_			年度				ų) ₀
動・		対前	前年上	上 七	NIA!E	_			_			7/2				V
			ス	<u>-</u>			円	F	9	円						η
結果指標	!	単位当な	こりコス	\2			円	F	9 –	円						
担 標				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
		対前				_			_							
アウト・フット・		₩₩₩ <i>‡</i>	ス こりコス l	<u>ا</u>			円円		9 — —	円円						
L				単位	1 計画値	20.00	门	20.00	20.0		20.	00	実績値			
	新入社員台 数	1回研修3	云奓川百	人		11.00	+	14.00	20.0			年度	- C19(1)			
	新入社員合		会参加企	単位		10.00	+	10.00	10.0	0		.00	実績値			
	業数		Z 2 301E	社	実績値	7.00		9.00	_		H26	年度				
_1		指	標名			23年度		24年度	25年	度		票値 年度)	(指標の	備 考 計算方法、	算式等)	
成果				単位	計画値											
果指標					実績値				_			年度				
標				単位	計画値											
アウト					実績値				_			年度				
力厶	:	指標化で	できない原	成果												

	事務事業の評価		neck)
ı	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」はー 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している	0	地域内で雇用システムを確立することは、地場産業の振興と
	市民のニーズが適正に反映されている	0	地域振興のための大きな課題であり、必要不可欠な事業である。
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	0.
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	_	
	()		
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	市内での雇用安定、労働力確保は大きな課題である。より効
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	果を 上げるためには最善の方法について引き続き検討していく必要
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	X	がある。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	0	
	受益者負担を検証している	0	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	人材育成と労働力確保のため、職場訪問や新入社員研修を通
	当初予定した実施項目が達成できた	X	して仕事への理解を深めるとともに、地道な啓発活動を継続す る必要がある。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	_	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	0	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	0	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	X	今後更に高校と企業との連携を雇用対策協議会等開催する中
市	市民への情報提供を行っている	0	で互い の理解を深めていくことが大切。
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	0	372131 CONOS CV . C C 13 / (430)
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	×	
	(

改善点や今	後の取り	組みの方向性(Act	tion)						
資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する休止、廃		縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	小田 忠					
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題							
課題解決	やのための改	善内容及び予算への反	映						
改善項目	予	算(大事業)名	改善	により予算要求額変更内容					
1									
2									
3									

事務事業名		企業誘致促進事	業	作成者		産業が 兼村	長興部 商工観光課 <u></u> 恵	電話	0826 (47)4024		
実施期間	平成 19	年 4 月 ~	継続	117712	会計名 1 一般会計						
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款	7	商工費				
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	商工費				
(基本計画)	工女儿也来	1.注采切派共		予算・ 事業名		2	商工業振興費				
体系	施策	商工業の振興	尹未包	大事業	1	商工業に要する経費			事務		
	7.0				中事業	3	企業立地推進事業費			的、	
対 象 (誰のために)	市内において工場等を新設する者										
目 的 (対象をどのような 状態にしたいか)	所要の奨励措置を講ずることにより、市産業の振興と雇用機会の拡大を図り、もって市経済の発展と市民生活の充実安定に 資することを目的とする。										
内 容	事業者に対して、奨励措置として次に掲げる奨励金を予算の範囲内で交付することができる。										

					=	5.数亩 业 宝	歩 1一	かかるコス	トレ業績	(Dc	.)					
					⋾	P协争未天/	近に	ハンション	17 乙未祺))				1	
				231	年度			24	4年度				25	5年度		事業単位当たり
	スト	コスト((千円)		財源	(千円)	П	スト(千円)	財源	(千円))	コス	ト(千円)	財源	(千円)	コストなどに留
		直接事業費	10,12	26 🗏	県補助金等		直接事業	22,079	国県補助金等			直接事業費	27,256	国県補助金等		意しながら効率 性の評価を行っ
イン	/プ [°] ット	人件費	4,25	56 曼	经益者負担		<mark>人件費</mark> 4,239		受益者負担			人件費		受益者負担		て下さい。
*********		合計	14,38	32 –	-般財源等	14,382	合	+ 26,318	一般財源等	i	26,318	合計	27,256	一般財源等	27,256	
必要	要人員		0.	50		人		0.50)		人				人	
時間外	勤務手当		118	.00		千円		106.0	00		千円				千円	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
		指標	夕 笙			23年度		24年度	25年	#	今後の			備考		
		1日 1示	□ 1			乙〇十戊		乙十十尺	204)	×	(計画	画年度) (指標の計算方法、算式等)				
	F	申請件数		単位 計画値		1.00		1.00	1.00		1.0	00	企業立地奨励コストニ企業			事務事業の目
	件		件 実績値 2.00			1.00	_		H26	年度	ストール 係る奨励金額			的やその数値 目標である成		
			年 比	,		_		50.00%	_				に関する費用			果指標などに
		コス	ζ	 		10,126,000	円	22,079,000 円		円						留意しながら
	!	単位当たり)コスト	1		5,063,000.00	円 2	22,079,000.00 円	_	円						有効性の評価 を行って下さ
汪			計画値	2.00		2.00	2.00		2.0	00	│企業立地奨励条例相談件数実績 │コスト=人件費			(1).		
活動	1			件	実績値	3.00		4.00	_			年度	コストースト	†貝		
•		対 前	年 比	,		_		133.33%	_							, ,
結		コス		 		4,256,000	円	4,239,000 円		円						
果指	!	単位当たり				1,418,666.67	円 1	1,059,750.00 円	_	円						
標				単位	計画値											
					実績値				_			年度				
/\			年 比	,		_			_							
アウト		コス					円	円		円						
プット		単位当たり)コスト	3			円	円	_	円						
	17	地企業数		単位		1.00		1.00	1.00		1.0		立地して3年間ので、申請件			
				件	実績値	1.00		1.00				_	致しない。			
	新規雇用	用者数(市内	5)	単位.		1.00		5.00	3.00		3.0		H24年度のは、申請未満		_, ,	
				人	実績値	1.00		16.00	_			年度	101 TIBN//	¬ • >/ C • >/ FL	JC4A.70	
	指標名			23年度		24年度	25年	宇	目標		(北) im の =	備考	告十年)			
成		- 2 18			I						(目標)			計算方法、		
成 果 指	3	交付件数		単位		2.00	_	3.00	2.00		2.0		企業立地奨励	_加 金 父 付 件	-	
指標				件	実績値	2.00	_	3.00	_		H26	年度				
/崇 				単位												
アウト					実績値	△₩☆₩にハ		/ ₩吕笙∧士宀	半要なる	(+m+⇔-	ブキアリ	年度	がかちへる	いけ田がま	フナハレギ	
አ ለ		指標化でき	ない成	果		企業立地に住 えている。	Fつí	É業員等の市内	消費額寺刀	'恺握	じさい	11201	い、ころの	ルスポンめ	るものと考	
`		TO COLOR WAR														

	事務事業の評		Heck)
	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 「いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)
	市民のニーズを的確に把握している		企業立地奨励金は、製造業と流通業とが主なの適用業種であ
	市民のニーズが適正に反映されている	0	り、市民を新たに雇用すると奨励金が受けられるなどの制度設 計を行っているので、市民の就労の場の確保等が図られるため
	緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	ニーズは高い。
	利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0	
妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0	
妥当	国や県と重複のない事務事業である	0	
性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0	
	他の事務事業と統合できない事務事業である	0	
	社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0	
	他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0	
	(
	規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	・企業立地奨励金を交付しても、その企業の立地が継続するこ
	コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	_	とで税収が増加し、奨励金相当額の回収は可能である。 ・物件によっては総務課・財産管理課との連携が必要であり、
	効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	0	奨励金交付段階では税務課との連携が必要である。
効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	0	
率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	0	
性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	0	
	単位あたりコストを削減することはできない	_	
	受益者負担を検証している	_	
	(
	事務事業の効果を適正に把握している	0	・市内の既存企業と立地企業との間に取引が生まれる可能性が
	当初予定した実施項目が達成できた	0	あり、ビジネスの拡大につながる。
	成果指標について当初設定した計画値が達成できた	_	
	成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	_	
有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	
性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	
	事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	_	
	専門性をもった人材を活用できている	X	
	職員の能力開発のための対策は十分になされている	_	
	(
	事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	
市	市民への情報提供を行っている	_	
民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	
画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	
	(

	以音点やラ俊の取り	組みの万回性(ACT	tion)						
資源配分の方向性 優先的に継続する 他事業と統合する	● 継続する休止、廃止をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	小田 忠					
今年度までに実施した改善	•	解決できていない課題							
・平成24年7月から誘致企業が1社操業を開	始した。	・海外などへの製造拠点の移行など誘致には厳しい環境にある。 ・立地企業の従業員の確保が困難になりつつある。 ・誘致に必要な土地の確保も課題である。 ・今後、経済状況等の変動により奨励金の交付対象業種や条件の見直し も考えていく必要がある。							
	課題解決のためのご	女善内容及び予算への反	映						
改善項目	予	算(大事業)名	章(大事業)名 改善により予算要求額変更内容						
1									
2									
3									

事務事業の概要(Plan)										
事務事業名	5務事業名 農業委員会運営事業			担当部	部課	農業委	電話 0826			
子初子未口	#707 世界 表示		作成者氏名		安田	勝明	400	(47)0425		
実施期間	16	3 月~			会計名	1 一般会計				1
	基本方針	Ⅳ多彩な生産と交流の	まちづくり	主な	款 6 農林水産業費					l I
総合計画	主要施策	1.産業の振興		関連	項	1	農業費			N
(基本計画)	工女肥米	1. 连来仍派央		予算・ 事業名		1	農業委員会費			
体系	施策	曹举 悉吕仝雷尚重举(8	豊地の効率的利用)	争未行	大事業		農業委員会費			事務事業の日
	旭垛	農業委員会運営事業(農地の効率的利用			中事業		農業委員会運営費			的、対象、内
対 象	農地の各種権)を持っている者 権利関係等を設定しよう	うとする者							容を考えながら目的妥当性
(誰のために)	農地を転用し	ンようとする者								の評価を行っ て下さい。
目 的	農業生産力の	の向上及び農業経営者の	D合理化を図り、農	家の地位	向上に	寄与す	る。			
対象をどのような										
状態にしたいか)										
農地法第3条に基づく農地の所有権移転、第4条に基づく農地の転用、第5条に基づく農地の転用と所有権移転 及び許可書の発行、非農地の証明・農業用施設届及び農地改良届の受理、農業経営基盤強化促進法に係る農地の									1	
内 容	設定	リ ル 1J、非辰地ツ証明 ・	· 辰未用肥政佃XU	辰地以及	田(リ)支:	庄、 辰	未社占を溢出した性広に徐る)辰地()	が性例判がの	
○農業委員数 定数37名(3名欠員)										

					=	事務事業実	施にな	かかるコス	トと業績	(Do)				_	
				231	年度	24年度							25	事業単位当たり		
コスト コスト (千円)			財源(千円)		コスト(千円) 財源(千円)			コスト(千円) 財源(千円)			(千円)	コストなどに留				
		直接事業費	17,2	211 🗷	県補助金等	7,692	直接事業費	16,967	国県補助金等		7,901	直接事業費	18,291	国県補助金等	9,067	意しながら効率
イン	/プット	人件費	16,6	90 🕏	受益者負担	87	人件費	24,858	受益者負担		86	人件費	23,100	受益者負担	87	性の評価を行って下さい。
*		合計	33,9	901 -	-般財源等	26,122	合計	41,825	一般財源等	3	33,838	合計	41,391	一般財源等	32,237	
必要	要人員	2.00			人	3.00)	人		Α.					
時間外	勤務手当		13	9.87	'	千円		59.7	9		千円			千円		
		指標名等				23年度		24年度				計画値 年度) (指標の計算方法、算式等)				
	典批計計	って きゅうこう マン・スティング マン・スティン アン・スティン アン	平分子类	単位	計画値	200.00		200.00	200.0	0	200	0.00	平成24年			事務事業の目
	農地法許可	り中間子	F文刊刊十数	件	実績値	148.00		186.00	_		H26	年度	3条許可申記 4条許可申記			的やその数値
		対	前年上	ኒ		-		125.68%	_				5条許可申請 57件		=	目標である成 果指標などに
			ス	1			円	円	円				■農業用施設届 10件 ■農地改良届 4件			留意しながら
		単位当	たりコスト	-1)			円	円	_	円			医地域区周 4件			有効性の評価 を行って下さ
活	農用地利	農用地利用集積計画筆数			計画値	2,500.00		2,500.00	2,500.0	00	-,000.00		│平成24年度実績 │新規設定 796筆			4).
動	120,1370,13				実績値	2,186.00		3,061.00	_		H26	年度	再設定 22			
•		対 前 年 比				_	140.03% —							W.		
結果		コスト					円	円		円						
指		単位当たりコスト②			. l = 1 = 1 +	250.00	円	円 250.00			250					
標	各種証	各種証明書発行件数			250.00		250.00	250.0)	250		耕作証明書		Ė		
		件 実績値			夫領他	263.00		205.00 77.95%	_		H26 年度		履行証明書 13件		Ė	
		対前年比				87,150			円		許可証明書 8件			-		
アウト プット	i	<u>フスト</u> 単位当たりコスト③				331.37	1.4	341.46 円	_	円						
()				単位	計画値	10,000.00	1 3	10,000.00	10,000.	1 4	10,00	00.00	平成24年度		末現在)	
	違反軸	运用解消	面積	m²	実績値	12,912.28		9,189.00	_		.,	年度	追認許可 9 原状回復	189㎡ 0㎡		
	## * ·	· ^ +===	.	単位 計		3.00		3.00	3.00			00		5111		
	農業者年	金新規)	加人者数	人	実績値	1.00		1.00	_		H26	年度				
£		指標名			23年度		24年度	25年	度		票値 年度)	(指標の記	備 考 計算方法、	算式等)		
成果	耕作放棄地把握面積		単位	計画値	170.00		170.00	170.0	0	170	0.00	耕作放棄地全				
指			ha	実績値	175.10		167.00	171.1	6	H26	年度	【緑・黄(復 可能)】				
·····································	利用権設定面積		単位	計画値	30,000.00		30,000.00	30,000.	00	30,00	00.00	平成24年度基盤強化法				
アウト			а	実績値	28,618.46		44,496.86	_			年度	農地法	0.0	0a		
ħΔ	指標化できない成果				農地の平均賃借料や農作業標準賃金を情報提供しているが、これらの情報の活用状況については、数値化による把握ができない。											

	事務事業の評価(Check)										
	٦	チェック項目 【「はい(改善の必要なし)」なら〇、 いいえ(改善の必要あり)」なら×、「該当なし」は— 】	チェック	備考欄(留意事項)							
		市民のニーズを的確に把握している	0	・「農業委員会等に関する法律」により、「市町村に農業委員							
		市民のニーズが適正に反映されている	0	会を置く」とされている。 ・「安芸高田市農業委員会に対する事務委任規則」により、							
		緊急性が高い又は継続する必要性が高い事業である	0	「市長の権限に属する事務」が「委員会」に委任されている。							
ı		利用者、対象者の増減に迅速に対応できている	0								
ı	妥	国や他市と比較し、事務事業の対象は適正である	0								
l	妥当	国や県と重複のない事務事業である	0								
М	性	市以外が実施主体になりえない事務事業である	0								
/		他の事務事業と統合できない事務事業である	0								
		社会環境の変化に対応しているか実施内容の検証をしている	0								
1		他の自治体を参考にし、実施内容の検証をしている	0								
		(_								
ſ		規則や要綱等に基づいて、適正に業務の処理ができている	0	・農振地域の管理、中山間地域直接支払制度、耕作放棄地の							
1		コストを削減させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	把握およびその解消、転用許可における審査についてはそれ それの情報を一体的に管理するシステム又は部署を設けるこ							
ı		効果を向上させる観点からは、現状の実施方法が最適である	×	とで、適正且つ効率的な事務が行えると考える。また、農協							
1	効	他の団体等を活用すると公平性や守秘義務に問題がある	×	が実施するアンケート等、他団体との情報交換が行えれば事 務の効率性が上がるものと考える。							
1	率	他の団体等を活用してもメリットが大きくならない	×	物の効率性が主がるものと考える。							
1	性	人件費を削減しても、コストを削減することはできない	×	受益者負担については、耕作証明手数料							
1		単位あたりコストを削減することはできない	×								
I		受益者負担を検証している	0								
) L		(_								
Н		事務事業の効果を適正に把握している	0	・耕作放棄地全体調査によると、地域に密着した農業委員34							
П		当初予定した実施項目が達成できた	0	名の活動により、営農の再開に至ったものによって約8 h a の 耕作放棄農地が解消された。							
Н		成果指標について当初設定した計画値が達成できた	0	・利用権設定面積をみると、昨年度の286haから今年度は							
Н		成果指標の実績値が前年度と比較して向上した	0	444.9haへと大幅に増加している。 ・来年度は農家の意向調査結果を活用して、遊休農地・耕作放							
1	有効	目標年度に目標を達成できそうである	0	棄地を利用権設定に結び付ける活動を推進し、更に耕作放棄を							
1	性	目的が達成できるような事務事業の内容である	0	減少させる。							
1		事務事業の推進過程では環境(エコ)への配慮をしている	0								
1		専門性をもった人材を活用できている	×								
N		職員の能力開発のための対策は十分になされている	×								
<u>) </u>		(_								
Ħ		事務事業の計画段階から市民参画を得る手段をとっている	_	・市民参加については、農家意向調査を実施し、利用権設定の							
П		市民への情報提供を行っている	0	┫参考にしている。 ・「農業委員会だより」を年2回発行し全戸へ情報提供を行							
	民参	さまざまな場面で市民に対して参加の機会が提供されている	_	ている。その他農地利用状況実施案内の回覧チラシ及び市内墓							
- [画	市民組織、NPO、ボランティア等との協働ができている	_	石業者・市内建設業者へ農地転用の手続き案内チラシを提供し ている。							
		(_								
	-										

改善点や今後の取り組みの方向性(Action)									
資源配分の方向性優先的に継続する他事業と統合する休止、廃」	上をする	縮小して継続する 完了した	主務課長氏名	山根 厚志					
今年度までに実施した改善内容		解決できていない課題							
・農地パトロール(農用地利用状況調査及び耕作放棄地全の実施 ・耕作放棄地(遊休農地)意向調査―担い手用―の実施 ・農地の利用等に関する意向調査(農地所有者用)の実施		・耕作放棄地(遊休農地)の解消 ・農地法、民法等の専門性を高める研修への参加 ・法改正により遊休農地調査に関する事務量が大きく、事務の効率化及 び人員の適正配置 ・市地域営農課が管理する中山間事業管理システムへ1筆ごとの荒廃農 地情報を入力しているが、中長期的には更に連携を進め、利用状況調査 図面が出力できるようシステムの改修を働きかける。							
課題解決	いための改	(善内容及び予算への反	映						
改善項目	予	算(大事業)名	改善により予算要求額変更内容						
1 耕作放棄地(遊休農地)全体把握及びその解消	農業委員会	会の運営に要する経費	・耕作放棄は	農業委員)報酬 499,500円 也データ入力 333,700円 也調査用図面印刷 1,281,000円					
② 農家および認定農業者への農地の利用等に関するアンケートの実施	農業委員会	会の運営に要する経費		7,640円(既存消耗品費で対応) 円(選挙人名簿登載申請書に同封)					
農地利用状況調査及び耕作放棄地全体調査対策事務に非常 勤職員の雇用 ・臨時職員による調査準備・入力処理	農業委員会	会の運営に要する経費	・一般賃金	388千円					